

令和 4 年度
事業報告

目 次

I 総括	1
II 法人運営	
第1 法人組織	5
第2 施設概要	7
第3 事務局	9
III 施設の事業概要	
第1 特別養護老人ホーム	15
第2 在宅ケア多機能センター	40
第3 ケアプランセンター	53
第4 心身障害者センター	60
第5 かみよん工房（就労継続支援B型）	71
第6 大橋えのき園（生活介護）	78
第7 下目黒福祉工房（就労継続支援B型）	84
第8 みどりハイム	91
第9 西部包括支援センター	98
別紙 事業報告の附属明細書について	

I 総括

当事業団では、平成30年2月に策定した第三次経営計画（平成30年度～令和10年度）に基づき、多様に変化する地域のニーズや福祉事業を取り巻く環境の変化を的確に捉え、自立に向けた事業の拡大や新たな課題への取り組みを積極的に進め、目黒区の地域福祉の増進に努めています。

令和4年度は、年初来より発生した新型コロナウイルス（以下、「新型コロナ」という。）のオミクロン株等による爆発的な感染拡大が続く中、当事業団においても、特別養護老人ホーム（以下、「特養」という。）等で感染者及び集団感染（クラスター）が発生したこと、また、国際情勢の変化等に伴う光熱費等の急激な物価高騰などがあり、事業運営、収支状況に多大な影響を受けることとなりました。

このような状況下ではありましたが、各施設、事業におきましては、感染予防対策を継続するとともに、利用者への通常のサービスの提供に努め、必要な場合は代替措置を講じるなど、創意・工夫により利用者サービスの質の維持に努めました。

建物の改修工事のため令和3年8月から事業を休止していた特養中目黒の事業再開に向け、4月に準備室を立ち上げ、目黒区と連携して再開準備及び人員の確保を行い、予定どおり令和5年3月1日、事業を再開することができました。この再開に伴い、令和3年8月1日からさんホーム目黒へ一時移動して頂いていた利用者には、同ホームにお戻りいただきました。

また、新規事業の立ち上げ、新型コロナの影響による稼働率の低迷等により、収支計画が予定どおり進捗していないため、収支状況の改善に向けたPTを立ち上げ検討を開始するとともに、目黒区とも対応について協議を行いました。

上記の他、「第三次経営計画」で重点的な課題として掲げた4つの事項についての主な取り組みの成果及び新型コロナの発生の経緯及び対応については以下のとおりです。

1 個人の尊厳を大切に、満足していただける安全・安心なサービスの提供

第三次経営計画の経営目標に従って、それぞれの施設・事業において「人権尊重の理念に基づいたサービス提供」や「一人ひとりの立場や個性を大切に、自立した生活につながる支援」への取り組みを進めました。

特養では、コロナ禍でも利用者が要望される冠婚葬祭やお墓参りなどは、ご家族にも協力いただき可能な限り外出していただく等、要望に沿った対応に努めました。

心身障害者センターでは、個別のショートリハビリを強化したところ、利用者が効果を実感され、リハビリへの目的意識が高まり、積極的に行う方が増えるなどの効果がありました。

みどりハイムでは、全ケースのミニケースカンファレンスを週1回開催し、具体的な支援内容を確認することで、質の高い支援の実施につなげました。

その他の施設・事業でも、定期的な人権研修の実施などにより、虐待防止を含めた人権尊重への取り組みを継続しました。

2 区立施設としての役割を果たすとともに、地域共生社会の実現を目指す取り組み

新型コロナの影響等はありませんでしたが、次のとおり計画の実現に向け取り組みました。

建物改修のため休業していた特養中目黒の改修工事対応と事業再開へ向け、4月に準備室を設置

し、目黒区や事業団内の他の特養と連携・協力して準備を進めました。3月1日には予定どおり事業を再開し、休業期間中さんホーム目黒に一時移動されていた利用者には帰所して頂きました。

他の特養では、地域交流スペースでの「地域はつらつセミナー」や「地域交流サロン」等の交流事業は、新型コロナの影響により中止、縮小しましたが、家族介護教室は、感染対策を講じたうえで実施しました。

在宅ケア多機能センターでは、定期的に運営推進会議を開催し、ご家族や地域の方、関係機関の方々からご意見をいただき、業務改善に反映することができました。認知症デイサービスでは、利用者ご家族毎の見学・相談会を開催し、利用中の様子を見学され、「自宅とは違う活動的な様子を知れて良かった」とご家族に評価していただきました。

心身障害者センターでは、新型コロナ対応も含めた健康管理に努め、医療的ケアの利用者を含めて体調不良での長期欠席者はなく、年間を通じて90%を超える安定した利用率となりました。

かみよん工房では、パン販売でフードロスの削減を意識し、販売方法の工夫や製造量の調整を行ったところ、廃棄するパンはほぼゼロとなり、売上増につながりました。

大橋えのき園では、毎月1回、外部委員を招いて、権利擁護・利用者支援研究会の開催を継続し、利用者毎の適切な支援の方法の研究、実践をすすめ、虐待予防に努めました。

下目黒福祉工房では、施設のPR用として活動を紹介する動画作成したほか、行事での様子を毎回写真付きプリントにしてご家族に配付するなど、より分かりやすい情報提供に努めました。

みどりハイムでは、施設機能の地域還元として、地域で生活するひとり親家庭への支援である子どもの居場所、母親の居場所及び食支援の3つを企画していることを、目黒区社会福祉協議会主催のイベントに参加し、地域の関係団体の皆様に紹介することができました。

西部包括支援センターでは、令和4年度から新たに自由が丘住区での定期的な出張相談を開始しました。また、独立行政法人東京医療センターの医療相談室と、院内での出張相談会等の定期開催について継続的に話し合いの機会を持ち、次年度の活動につながる協議を行うことができました。

ケアプランセンターでは、利用率を向上させることができましたが、サービスの充実、効率化に向けた各センター職員1名増の4名体制とすることはできませんでした。

3 質の高いサービスを安定的に提供できる人材の確保・定着・育成

令和5年3月の特養中目黒の事業再開に向けた人材の確保のため、人材確保PTを継続するとともに、前年度に引き続き、Webを活用した採用活動を行いました。就職フェアへの参加、Web形式の学生向け説明会や内定者懇談会などの実施等、積極的に活動した結果、令和5年4月には、法人全体で31名（新卒21名）の新規採用職員を迎えることができました。

また、特定技能（介護）や在留資格（介護）に該当する海外人材の採用も引き続き行いました。

令和4年4月に採用した新卒介護士のうち、資格や介護経験のない11名に対し、介護職員初任者研修、実務者研修及び既存施設での実習を行い、安心して仕事に従事できるようにしました。

新規採用職員には、配属先施設において個々の能力に応じたOJTを実施し早期戦力化を図りました。9月には新卒職員を対象とした先輩職員との懇談会等を実施し早期離職の防止に努めました。

職層研修は、職員の職層や経験のほか、年齢等に応じたプログラムを選定し、受講者のモチベーションアップや能力の向上を目指しました。受講に際しては、新型コロナの影響によりライブ配信による受講などを活用しました。

4 効率的で安定した事業運営と法人の経営基盤の強化

第三次経営計画では、本部運営費補助金等の見直しや高齢者施設の指定管理料の見直しなどを盛り込んだ収支計画を作成し、この収支計画に沿った財務運営を進め、各施設運営における事業収益の向上、人件費の見直し等に取り組むこととしていましたが、新型コロナによる影響や新規に開始した事業の稼働率の伸び悩み等に加え、光熱費等の急激な物価高騰により、法人全体の収支状況に大きな影響が生じたことから、補助金、指定管理料の見直しに向け、区と協議、検討を行いました。また、事業団内部においても、収支計画の見直しに係る PT を立ち上げ、収入増加策、支出削減策の検討、組織・人員配置の見直し、人事給与制度の見直しなどの検討を開始しました。令和 5 年 7 月を目途に収支計画を改定する予定です。

自主事業のケアプランセンターについては、利用者サービスの充実と収支改善を図るため、3 か所の事業所を 2 か所に集約することとし、令和 5 年 5 月末で東が丘ケアプランセンターを廃止する手続きを開始しました。

◎ 新型コロナウイルス感染症の発生数及び対応状況等

令和 2 年当初に発生した新型コロナにつきましては、同年 4 月に当事業団の施設でも集団感染が発生したため、嘱託医並びに目黒区所管課、保健所、目黒区医師会、都の即応支援チームへの相談、指導のもと、感染対策を実施するとともに、その後も感染予防、拡大防止に努めてきました。

また、感染対策として、令和 2 年の 11 月に感染予防や感染後の対応方針を検討し、「新型コロナウイルス感染症等対応事業継続計画」を策定し、以後の対応の指針としています。

その後、令和 4 年 1 月以降、同感染症のオミクロン株による爆発的な感染拡大により、当事業団の施設においても集団感染が発生したほか、家庭内感染等による職員の感染者が急増しました。

こうした経過の中、施設で集団感染の恐れがある場合には、早期に嘱託医による利用者、職員への一斉 PCR 検査を実施し、感染拡大の防止に努めてきました。また、利用者、職員のワクチン接種については、目黒区医師会の医師による巡回接種を実施しました。

予防的な措置として、高齢者施設では、従事職員全員に令和 3 年 3 月からは都が勧奨する簡易 PCR 検査を月 1 回、同年 7 月からは毎週 1 回実施しています。また、障害者通所施設においても、従事職員全員に対して、令和 4 年 3 月から毎週、抗原検査を実施しています。

さらに、令和 4 年 3 月から高齢及び障害者施設の短期入所介護（ショートステイ）サービスの利用者に対して、利用を開始する前に抗原検査を実施し予防に努めています。

なお、これまでの感染者の発生状況及びワクチン接種、PCR 検査の実施状況は以下のとおりです。

1 感染者数

令和 2 年 4 月 1 日からの発生から令和 5 年 3 月末までの、感染者数は、下表のとおりです。

区分	年度別	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	合 計
	高齢施設	利用者	14	38	150
	職員	8	44	139	191
障害施設	利用者	0	15	37	52
	職員	2	15	32	49
合 計	利用者	14	53	187	254
	職員	10	59	171	240

※上表の内、同感染症のオミクロン株等による令和4年1/1～12/31の感染者数は、利用者217名、職員189名です。

※感染者の発生に関する情報は、発生の都度、区及び当事業団のホームページに掲載しています。

2 ワクチン接種の状況

目黒区医師会による巡回接種を、特養及び障害者施設の利用者に次のとおり行いました。

なお、巡回接種日に接種できなかった利用者には個別に対応しています。

1回目及び2回目を高齢者施設の利用者、職員に対し、令和3年5月29日から開始し、7月下旬に終了しました。障害施設は8月5日に開始し9月中旬に終了しました。

3回目は、高齢者施設の利用者に令和4年1月下旬～2月中旬に順次実施しました。障害者施設は、2月下旬から順次実施し3月下旬に終了しました。

4回目は、高齢者施設の利用者に令和4年7月下旬～8月中旬に順次実施しました。障害者施設は、同8月下旬から9月初旬に順次実施し終了しました。

5回目は、高齢者施設の利用者に令和4年11月下旬から順次開始し、施設内感染の影響もあり令和5年2月初旬に終了しました。障害者施設は、12月17、24日、令和5年1月28日に実施しました。

3 PCR検査等の実施状況

(1) 高齢者施設

東京都が勧奨する高齢者施設の従事職員に対する簡易PCR検査(唾液採取による検査)を各施設で令和3年3月下旬から月1回ペースで開始し、現在は以下のとおり毎週実施しています。

ひがしがおかホーム	7月から毎週、施設従事職員全員(委託先社員等も対象)に実施
ひがしやまホーム	8月から毎週、施設従事職員全員(委託先社員等も対象)に実施
さんホーム目黒	8月の第3週から毎週、施設従事職員全員(委託先社員等も対象)に実施

(2) 障害者施設

障害者施設(4施設)では、東京都が勧奨している職員に対する抗原検査を令和4年3月中旬から毎週実施しています。

(3) 短期入所生活介護(ショートステイ)の利用者

高齢及び障害者施設の、短期入所(ショートステイ)サービスの利用者には、令和4年3月中旬から、同サービスの利用開始前に、目黒区から施設での新型コロナの感染拡大防止策の一環として配付された抗原検査キットを使用して、検査を開始しました。

その後、検査キットの配付は6月末で中断されましたが、12月に再度配付があり、検査を再開しています。

Ⅱ 法人運営

第1 法人組織

1 法人登記

(1) 設 立 平成元年10月2日

(2) 資産総額 1,846,116,269円 (令和4年3月31日変更登記現在)

2 理事会・評議員会

(表1) 理事・評議員の構成 (令和5年3月31日現在)

区分	定数	現員	欠員
理事	6～10	8	0
監事	2	2	0
評議員	7～11	9	0

(表2) 役員名簿 (令和5年3月31日現在)

役職名	氏名	就任年月日	現就任年月日	任期終了年月日	職業等
理事長	鈴木 勝	令和3年10月19日	令和3年10月19日	令和5年度の定時評議員会終結の時	元目黒区副区長
常務理事	田淵 一裕	平成27年4月1日	令和3年6月22日	令和5年度の定時評議員会終結の時	(福)目黒区社会福祉事業団経営本部長
理事	森 葉子	平成23年10月4日	令和3年6月22日	令和5年度の定時評議員会終結の時	弁護士 (目黒区法曹会幹事)
理事	長崎 隆	令和3年10月19日	令和3年10月19日	令和5年度の定時評議員会終結の時	(福)目黒区社会福祉協議会事務局長
理事	松崎 ひろ子	令和元年6月11日	令和3年6月22日	令和5年度の定時評議員会終結の時	民生児童委員 (目黒区民生児童委員協議会会長)
理事	渡邊 英章	令和3年8月31日	令和3年8月31日	令和5年度の定時評議員会終結の時	医師 (社団法人目黒区医師会会長)
理事	横山 享子	令和2年4月1日	令和3年6月22日	令和5年度の定時評議員会終結の時	(福)目黒区社会福祉事業団ひがしやまホーム施設長
理事	白濱 利一	令和3年4月1日	令和3年6月22日	令和5年度の定時評議員会終結の時	(福)目黒区社会福祉事業団心身障害者センター施設長
監事	石橋 一	平成29年6月12日	令和3年6月22日	令和5年度の定時評議員会終結の時	税理士
監事	海老原 敏	平成27年10月4日	令和3年6月22日	令和5年度の定時評議員会終結の時	元(福)三交会理事長

(表3) 評議員名簿 (令和5年3月31日現在)

氏名	就任年月日	現就任年月日	任期終了年月日	職業等
石渡 和実	平成29年4月1日	令和3年6月22日	令和7年度の定時評議員会終結の時	東洋英和女学院大学名誉教授
澤 節子	平成29年4月1日	令和3年6月22日	令和7年度の定時評議員会終結の時	元保健所長
井手 俊文	平成29年4月1日	令和3年6月22日	令和7年度の定時評議員会終結の時	目黒区町会連合会常任理事
山田 秀昭	令和3年6月22日	令和3年6月22日	令和7年度の定時評議員会終結の時	目黒区住区住民会議連絡協議会委員

氏名	就任年月日	現就任年月日	任期終了年月日	職業等
東川 邦昭	平成 29 年 4 月 1 日	令和 3 年 6 月 22 日	令和 7 年度の定時評議員会終結の時	目黒区民生児童委員協議会 南部第 2 地区民生児童委員協議会会長
脇山 博之	平成 29 年 4 月 1 日	令和 3 年 6 月 22 日	令和 7 年度の定時評議員会終結の時	目黒区医師会副会長
吉田 敏英	令和元年 10 月 21 日	令和 3 年 6 月 22 日	令和 7 年度の定時評議員会終結の時	目黒区歯科医師会会長
小林 富佐子	平成 29 年 4 月 1 日	令和 3 年 6 月 22 日	令和 7 年度の定時評議員会終結の時	東京商工会議所目黒支部 情報・卸分科会 分科会長
白鳥 千恵子	平成 29 年 4 月 1 日	令和 3 年 6 月 22 日	令和 7 年度の定時評議員会終結の時	元目黒区社会福祉事業団心身障害者センター施設長

(表 4) 運営協議会委員名簿 (令和 5 年 3 月 31 日現在)

氏名	就任年月日	現就任年月日	任期終了年月日	所属団体等
坂元 達也	令和 3 年 7 月 1 日	令和 3 年 7 月 1 日	令和 5 年 6 月 30 日	芳窪町会副会長
中井 澄子	令和元年 7 月 1 日	令和 3 年 7 月 1 日	令和 5 年 6 月 30 日	東山三丁目自治会副会長
高津 肇	平成 29 年 9 月 1 日	令和 3 年 7 月 1 日	令和 5 年 6 月 30 日	中目黒五丁目町会会長
小林 雅子	平成 29 年 9 月 1 日	令和 3 年 7 月 1 日	令和 5 年 6 月 30 日	八雲町会副会長
佐熊 とよ子	平成 29 年 9 月 1 日	令和 3 年 7 月 1 日	令和 5 年 6 月 30 日	上四町会会長
辻 弘	令和 3 年 7 月 1 日	令和 3 年 7 月 1 日	令和 5 年 6 月 30 日	駒場町会副会長
二ノ宮 啓吉	平成 30 年 7 月 1 日	令和 3 年 7 月 1 日	令和 5 年 6 月 30 日	不動前町会会長
木村 秀利	平成 29 年 9 月 1 日	令和 3 年 7 月 1 日	令和 5 年 6 月 30 日	下二南町会副会長
金島 裕子	令和 3 年 7 月 1 日	令和 3 年 7 月 1 日	令和 5 年 6 月 30 日	高齢者施設利用者家族
川名 明夫	令和 3 年 7 月 1 日	令和 3 年 7 月 1 日	令和 5 年 6 月 30 日	障害者施設利用者家族
大島 良子	令和 3 年 7 月 1 日	令和 3 年 7 月 1 日	令和 5 年 6 月 30 日	施設ボランティア
おのせ 康裕	令和 4 年 7 月 1 日	令和 4 年 7 月 1 日	令和 5 年 6 月 30 日	目黒区議会議員
いいじま 和代	令和 3 年 7 月 1 日	令和 3 年 7 月 1 日	令和 5 年 6 月 30 日	目黒区議会議員
鴨志田 リエ	令和 4 年 7 月 1 日	令和 4 年 7 月 1 日	令和 5 年 6 月 30 日	目黒区議会議員
石川 恭子	令和元年 7 月 1 日	令和 3 年 7 月 1 日	令和 5 年 6 月 30 日	目黒区議会議員
中山 直子	令和 3 年 7 月 1 日	令和 3 年 7 月 1 日	令和 5 年 6 月 30 日	中央第 2 地区民生児童委員協議会会長
城市 恵子	令和 3 年 7 月 1 日	令和 3 年 7 月 1 日	令和 5 年 6 月 30 日	南部第 1 地区民生児童委員協議会会長
久保 ミヨ子	令和 3 年 7 月 1 日	令和 3 年 7 月 1 日	令和 5 年 6 月 30 日	目黒区老人クラブ連合会書記
岸井 泰子	令和 3 年 7 月 1 日	令和 3 年 7 月 1 日	令和 5 年 6 月 30 日	目黒区障害者団体懇話会会計
深山 キクエ	令和 3 年 7 月 1 日	令和 3 年 7 月 1 日	令和 5 年 6 月 30 日	目黒区女性団体連絡会会員
土方 公久	令和 4 年 7 月 1 日	令和 4 年 7 月 1 日	令和 5 年 6 月 30 日	目黒区職員労働組合福祉支部 支部長

第2 施設概要（令和5年3月31日現在）

1 施設の概要

(表 5-1) 特別養護老人ホーム

施設名称	目黒区立特別養護老人ホーム東が丘	目黒区立特別養護老人ホーム東山	目黒区立特別養護老人ホーム中目黒	さんホーム目黒
所在地	目黒区東が丘 1-6-4	目黒区東山 3-24-6	目黒区中目黒 5-7-35	目黒区目黒 3-20-8
敷地面積	3,854.33 m ²	3,728.85 m ²	1,990.12 m ²	2,921.81 m ²
建物	鉄筋コンクリート造 地上3階地下1階 (5,771.81 m ²)	鉄筋コンクリート造 地上4階地下1階 (7,396.20 m ²)	鉄筋コンクリート造 地上2階地下1階 (2,973.08 m ²)	鉄筋コンクリート造 地上3階地下1階 (4,454.74 m ²)
床面積	特養部分 4,493.10 m ²	特養部分 6,534.88 m ²	特養部分 2,690.07 m ²	特養部分 3,629.45 m ²
特養定員	100人	130人	55人	96人
ショート定員	10人	10人	5人	10人
受託年月日	平成7年4月1日	平成12年4月1日	平成2年4月1日	—
開設年月日	平成7年4月28日	平成12年4月1日	平成2年5月7日	令和4年8月1日

(表 5-2) 在宅ケア多機能センター

施設名称	目黒区立東が丘在宅ケア多機能センター	目黒区立東山在宅ケア多機能センター
所在地	特別養護老人ホーム東が丘に併設	特別養護老人ホーム東山に併設
敷地面積		
建物		
床面積	在宅ケア多機能センター部分 641.28 m ²	在宅ケア多機能センター部分 792.40 m ²
小規模多機能	東が丘多機能ホームあすなろ 登録29人	東山多機能ホームけやき 登録29人
認知症対応デイ	東が丘デイホームしいの木 1日12人	東山デイホームいちょう 1日12人
受託年月日	平成30年3月1日	平成29年3月1日
開設年月日	平成30年3月1日	平成29年3月1日

(表 5-3) ケアプランセンター（居宅介護支援事業所）

施設名称	目黒区社会福祉事業団 東が丘ケアプランセンター	目黒区社会福祉事業団 東山ケアプランセンター	目黒区社会福祉事業団 さんホーム目黒ケアプランセンター
所在地	特別養護老人ホーム 東が丘に併設	特別養護老人ホーム 東山に併設	さんホーム目黒に併設
敷地面積			
建物			
床面積	ケアプランセンター部分 30.57 m ²	ケアプランセンター部分 68.92 m ²	ケアプランセンター部分 9.03 m ²
受託年月日	—	—	—
開設年月日	平成29年4月1日 (自主事業化)	平成28年4月1日 (自主事業化)	令和2年4月1日

(表 5-4) 心身障害者センター

施設名称	目黒区心身障害者センターあいアイ館
所在地	目黒区八雲 1-1-8
敷地面積	めぐろ区民キャンパス敷地の一部
建物	

床面積	2,775.66 m ²
利用定員	<ul style="list-style-type: none"> ・生活介護（週5日）21人 ・障害者活動訓練 デイサービスコース Aコース（週3日）15人、Bコース（週2日）15人 機能訓練コース Aコース（週3日）8人、Bコース（週2日）8人 ・短期入所 1日2名 [利用定員に定めのない事業] <ul style="list-style-type: none"> ・特定相談支援（基本相談・計画相談）・訪問食事サービス ・入浴サービス（機械入浴、介助入浴、巡回入浴）
受託年月日	平成13年4月1日（開設4月1日）

（表5-5）就労継続支援（B型）施設

施設名称	目黒区立かみよん工房
所在地	目黒区上目黒4-1-26
敷地面積	423.10 m ²
建物・床面積	鉄筋コンクリート造地上3階地下1階・796.88 m ²
利用定員	40人
受託年月日	平成6年7月1日（法内施設平成8年8月1日）

（表5-6）生活介護施設

施設名称	目黒区立大橋えのき園
所在地	目黒区大橋2-19-38
敷地面積	1,141.37 m ²
建物・床面積	鉄筋コンクリート・一部鉄骨鉄筋コンクリート造地上6階地下1階の内1階の一部及び2階・大橋えのき園部分1,040.64 m ²
利用定員	57人
受託年月日	平成9年4月1日（開設5月1日）

（表5-7）就労継続支援（B型）施設

施設名称	目黒区立下目黒福祉工房
所在地	目黒区下目黒3-10-2
敷地面積	645.4 m ²
建物・床面積	鉄筋コンクリート造地上3階塔屋付・895.54 m ²
利用定員	40人
受託年月日	平成30年4月1日（開設昭和63年5月）

（表5-8）母子生活支援施設

施設名称	目黒区みどりハイム
敷地面積	1,395.24 m ² （隣接の公園含む）
建物・床面積	鉄筋コンクリート5階建て・1,594.61 m ²
利用定員	20世帯60人
受託年月日	平成2年4月1日（移転平成17年4月1日）

（表5-9）地域包括支援センター

施設名称	目黒区西部包括支援センター
所在地	目黒区柿の木坂1-28-10
床面積	70.2 m ²
受託年月日	平成18年4月1日

第3 事務局

事務局は、理事会及び評議員会等の開催等法人運営に関する事務のほか、各施設の小口現金管理を除く経理処理を一括して行うとともに、法人全体の人事、給与及び健康管理等の管理業務を行いました。また、各施設の事務処理について、施設から支援・応援要請があったものへの対応を行いました。

1 令和4年度の重点項目の具体的な取り組み

事業計画	具体的な取り組みと結果
(1) 計画期間の収支計画に基づき、財務運営の自立化を進めていきます	<p>新型コロナの影響及び新規に開始した事業の稼働率の伸び悩み、契約職員の安定した確保ができず派遣社員の活用等による人件費増の他、光熱費等の急激な物価高騰などにより、収支状況に大きな影響が生じました。そのため、補助金、指定管理料の見直しに係る検討を区と行いました。また、法人内でも、収支改善に向けたPTを立ち上げ、収入増、支出削減策及び実施時期等について検討を行いました。</p>
(2) 事業収益による本部運営への転換を図っていきます	
(3) 将来の退職手当支払いに必要な資金を確保していきます	<p>経営計画に定めた退職給付引当資産の計上については、会計監査人の助言に基づき、変更時の必要額を令和元年度から15年以内の定額で積み立てることとしており、収支状況に合わせて対応しました。</p>
(4) 特別養護老人ホーム中目黒の改修後の事業再開に向けた準備を着実に進めていきます	<p>建物の改修工事のため令和3年8月から事業を休止していた特別養護老人ホーム中目黒の事業再開に向け、4月に準備室を設置し、目黒区と連携して再開準備及び人員の確保を行い、予定どおり令和5年3月1日、事業を再開することができました。</p> <p>この再開に伴い、令和3年8月1日から「さんホーム目黒」へ移動して頂いていた利用者には、同ホームに帰所していただきました。</p>
(5) 自主事業である「さんホーム目黒」（特別養護老人ホーム）の安定的な事業運営を進めていきます	<p>令和3年8月に開設した自主事業の「さんホーム目黒」（特別養護老人ホーム）は2年目を迎えましたが、他の施設と同様に新型コロナ及び光熱費等の急激な物価高騰の影響により見込んでいた収支状況に達しないため、改善に向けた見直しを行いました。</p>
(6) 介護人材の確保に努めます	<p>特別養護老人ホーム中目黒の事業再開に向け、人材確保PTを継続し、人材確保に努めました。Instagram等のSNSを活用した情報発信の継続や就職サイト、フェアへの出展等、広報活動も積極的に実施しました。また、新型コロナの影響を踏まえ、WEBを活用したオンライン説明会や面接を実施し、ニーズに応える活動を実施しました。特定技能（介護）や在留資格（介護）に該当する海外人材を新たに3名（中国3名）採用しました。</p> <p>さんホーム目黒においては、東京都や目黒区の「介護職員宿舎借上げ支援事業」を活用し、職員が賃貸住宅に住む際の支援を行いました。</p>

事業計画	具体的な取り組みと結果
(7) 職員の定着・育成に努めます	<p>新卒や未経験者でも安心して仕事に従事できるよう、配属前に初任者・実務者研修の受講を実施しました。新規採用職員には、配属後、個々の能力に応じたOJTを行いました。また、新卒介護士を対象として先輩職員との懇談会を実施するなど、勤務における不安を払拭し、離職の防止に努めました。</p> <p>職層研修は、職員の職層や経験のほか、年齢等に応じたプログラムを選定し、受講者のモチベーションアップや能力の向上を目指しました。</p> <p>新型コロナの影響により対面式の研修が難しく、ライブ配信による受講を活用しました。</p>
(8) ストレスコントロール、腰痛防止など職員の心身の健康管理に努めます	<p>労働安全衛生法に基づきストレスチェックを実施しました。職員にストレスへの気づきを促すとともに、変化のあった職員に対し、産業医との連携を行い、面談の機会を設けるなど、職員のメンタルヘルス不調の未然防止に努めました。</p>
(9) ホームページの活用等、情報を可能な限り提供し、タイムリーな情報の発信を行います	<p>職員募集や採用活動に関して、ホームページから募集サイトやインスタグラムを直接見に行けるようにするなどタイムリーな情報提供に努めました。</p> <p>新型コロナの感染者が発生した場合は、影響のある利用者、ご家族等への連絡を速やかに行うとともに、ホームページに発生の都度情報を掲載し発信しました。</p>
(10) 「新型コロナウイルス感染症等対応事業継続計画」の見直しを行います	<p>令和2年11月に作成した同計画を、現状に合わせて見直す予定でしたが、同感染症のオミクロン株による爆発的な感染拡大への対応を優先したため、着手することができませんでした。</p>
(11) 法人の経営状況・財務状況を正確に把握し、透明性の高い財務管理を行います	<p>会計監査人により、今年度も監査計画に基づく、拠点訪問、固定資産・現金等の実査、事業未収金、事業未払金の確認並びに期末監査を実施しました。また、特別養護老人ホーム中目黒の再開に伴う会計処理を適正に処理しました。</p>
(12) 職員の経営感覚・コスト意識の徹底を図ります	<p>毎月開催の経営会議において、従来から実施してきた各施設の稼働状況及び介護報酬収納実績の報告及び水道光熱費の管理に加え、各施設別の収支状況の把握・分析を徹底し、収支状況の改善に努めました。</p> <p>また、収支計画見直しPTを立ち上げ、収支改善の検討を行い、外部委託している建物管理(設備管理・清掃)、給食について、仕様の見直しを行い、経費削減を図りました。</p>

2 運営管理

(1) 理事会・評議員会等

理事会・評議員会及び運営協議会を次のとおり開催しました。

(表 6-1) 理事会の開催状況

回	開催年月日	議案等
1	令和 4 年 6 月 3 日	議案第 1 号 令和 3 年度事業報告 議案第 2 号 令和 3 年度決算報告 議案第 3 号 定時評議員会の開催について 報告事項 理事長及び常務理事の職務執行状況報告 苦情解決第三者委員の委嘱について
2	令和 4 年 10 月 11 日	議案第 4 号 令和 4 年度補正予算書 (第 1 号) 議案第 5 号 特別養護老人ホーム中目黒運営規程の一部 改正について 議案第 6 号 評議員会の招集 報告事項 理事長及び常務理事の職務執行状況報告 新型コロナウイルス感染症の発生状況及び 対応状況等について 令和 4 年度施設別利用実績中間報告
3	決議の省略(決議があった ものとみなされた日 令和 5 年 2 月 22 日)	議案第 7 号 特別養護老人ホーム中目黒施設長の任命
4	令和 5 年 3 月 17 日	議案第 8 号 令和 4 年度補正予算書 (第 2 号) 議案第 9 号 令和 5 年度事業計画書 議案第 10 号 令和 5 年度予算書 議案第 11 号 東が丘ケアプランセンターの廃止 議案第 12 号 役員賠償責任保険契約 議案第 13 号 組織運営規程の一部改正 議案第 14 号 経理規程の一部改正 議案第 15 号 下目黒福祉工房日中一時支援運営規程の 制定 議案第 16 号 東が丘多機能ホームあすなろ運営規程の 一部改正 議案第 17 号 東山多機能ホームけやき運営規程の一部 改正 議案第 18 号 東が丘デイホームしいの木運営規程の一部 改正 議案第 19 号 東山デイホームいちょう運営規程の一部 改正 議案第 20 号 東が丘ケアプランセンター運営規程の一部 改正 議案第 21 号 東山ケアプランセンター運営規程の一部 改正 議案第 22 号 さんホーム目黒ケアプランセンター運営 規程の一部 議案第 23 号 西部包括支援センター運営規程の一部改正 議案第 24 号 評議員の招集 議案第 25 号～議案第 27 号 施設長の任命 報告事項 理事長及び常務理事の職務執行状況報告 新型コロナウイルス感染症の発生状況及び 対応状況等について 令和 4 年度施設別利用実績中間報告

回	開催年月日	議案等
5	決議の省略（決議があったものとみなされた日 令和5年3月27日）	議案第28号 評議員会議案の決議の省略に係る提案について

(表 6-2) 評議員会の開催状況

回	開催年月日	議案等
1	令和4年6月20日 (定時評議員会)	議案第1号 令和3年度事業報告 議案第2号 令和3年度決算報告
2	令和4年10月24日	議案第3号 令和4年度補正予算書（第1号） 報告事項 新型コロナウイルス感染症の発生状況及び対応状況等について 令和4年度施設別利用実績中間報告
3	決議の省略（決議があったものとみなされた日 令和5年3月30日）	議案第4号 令和4年度補正予算書（第2号） 議案第5号 令和5年度事業計画書 議案第6号 令和5年度予算書 報告事項 事業団の運営状況について

(表 6-3) 運営協議会の開催状況

回	開催年月日	内容
1	中止 ※例年7月開催	送付資料 資料1 令和3年度事業報告及び令和4年度事業計画のあらまし 資料2 令和3年度決算のあらまし 資料3 令和4年度予算のあらまし 令和3年度事業報告 令和4年度事業計画書
2	令和5年2月13日	・令和4年度の事業実施状況と令和5年度の予定 ・意見交換

注1) 第1回目は、新型コロナウイルス感染症まん延防止の観点から、開催中止とし、資料送付を行いました。

(2) 監事監査

(表 7) 監事監査の状況

開催年月日	内容
令和4年5月23日・24日	・令和3年度事業に関する事項及び理事の職務執行の状況 ・令和3年度決算に関する事項（会計監査人の会計監査報告）

(3) 会議

事業運営の一体性を確保し施設間相互の調整等円滑な事業執行を図るため経営会議を月1回定例で開催するとともに、臨時経営会議を随時開催しました。

(4) 経理

本部に集中化した会計処理については、取り扱いの共通化や本部と施設の連携の取り組みを継続し、効率的に処理を行いました。

また、高齢者施設における利用料金の収納に伴う請求書、領収書の作成、発送等を行いました。

3 職員育成・管理

(1) 研修（職層研修）

事業団職員として、共通的に求められる職務遂行上必要な知識、能力の向上、また、人事考課制度の精度向上及び定着化を図るため、毎年、下表の職層研修及び人事考課研修を外部委託して実施しています。新型コロナの影響により対面式の研修が難しい時は、ライブ配信による受講スタイルなども活用しました。

(表 8) 研修実施状況

研修名	内容	対象
新人職員研修	経営理念並びに事業団職員の役割及び組織人としての在り方	新規採用者 前年度中途採用者
入社2年目研修	被考課者研修 ビジネスマナー研修	採用2年目及び2年目研修 未受講者
総合職転換研修	仕事の進め方研修	総合職転換者
中堅職員研修	中堅職員の能力向上研修 主体性の発揮 キャリアデザイン研修（20代30代向け） 問題解決研修 キャリアデザイン研修（40代以上向け）	サービス専門職4年目 総合職一般4年目 サービス専門職7年目 サービス専門職9年目 総合職9年目
指導職研修	OJT指導者研修 コーチング研修 現場マネージャー研修 交渉力向上研修 組織のタイムマネジメント研修	指導職2級昇格者 指導職1級昇格者 指導職1級3年目 指導職2級7年目 指導職2級5年目
管理職研修	段取り研修	管理職昇格者

(2) 職員の福利厚生

① 健康診断

(表 9) 健康診断実施状況

種別	対象者	実施時期
定期健康診断	全職員	6月
婦人科健診	女性職員	8月～11月
夜勤者健康診断	夜勤に従事している職員	11月～12月
腰痛健診	介護士・生活支援員	6月、11～12月
ストレスチェック	週30時間以上勤務の全職員	8月

(3) 職員の採用・退職状況（令和4年4月1日～令和5年3月31日）

(表 10) 採用・退職状況

区分別	職種	介護士	保看 健師	支生 援員活	PT OT ST	包括	幹部	その他	計
		採用	26	1	3	0	0	0	6
	契約	3	1	3	0	0	0	3	10
退職	正規	21	2	7	0	1	1	2	34
	契約	1	2	0	0	0	0	1	4

4 介護・福祉人材育成事業

新型コロナの影響により、昨年度に引き続き ZOOM（オンライン）での開催とし、予定どおり実施することができました。アンケート等を活用し地域で活動する介護職員のニーズに合う研修事業を実施しました。

(1) 研修事業

区内介護事業所の職員を対象に、「介護職員のためのスキルアップ研修」を 11 回開催しました。研修内容は、認知症や障害の特性に応じたケアを学ぶためのものや職員の育成について学ぶものなどのテーマを定めて実施しました。

(2) 介護職員相談事業

区内介護事業所の職員を対象に、職場での悩みなどの相談を受ける相談事業を実施しました。毎週水曜日の午後に電話で受け付けるほか、メールや FAX でも常時受け付けを行っています。令和 3 年度は 3 件でしたが、今年度は相談の申し込みはありませんでした。

Ⅲ 施設の事業概要

第1 特別養護老人ホーム

特別養護老人ホーム（以下、「特養」という。）は、介護保険法に基づく指定介護老人福祉施設として施設サービスを提供するとともに、指定短期入所生活介護事業を行いました。

また、今年度は特養中目黒の改修工事が終了し、この間、さんホーム目黒に一時移動して頂いていた利用者には帰所していただきました。

新型コロナの感染予防対策については、年間を通して徹底して実施しました。

1 令和4年度重点項目の具体的な取り組み

事業計画	具体的取り組みと結果
(1) サービスの提供にあたっては、利用者の意思確認を徹底します	対人援助、マナー研修等において利用者の意思の尊重の大切さを再確認しました。また、意思決定の考え方、プロセスの理解を深めるため、施設長が意思決定支援にかかる講演会、シンポジウムに参加しました。次年度、同講演会等に基づいた研修等を開催していきます。
(2) 感染症の予防対策を徹底し、発生と蔓延を防ぎます	基本的対応を徹底し、新型コロナの蔓延防止に取り組みました。また、毎週 PCR 検査を全職員（委託業者等含む）に実施したことにより、感染者の早期発見、早期対応を図ることができました。 ショートステイの受け入れにあたっては、できる限り入所前の抗原検査を実施し、施設内への同感染症の持ち込みを未然に防ぐようにしました。しかしながら感染を完全に防ぐことはできませんでした。 感染拡大時は、保健所や都の即応支援チームの支援を受け、事業継続計画、マニュアル等に基づき対応しました。
(3) 区内の介護サービス基盤を支える役割を積極的に担っていきます	特養中目黒の改修工事への協力と事業再開へ向け、4月に再開準備室を設置し、区や事業団内の3特養ホームと連携、協力して準備を進めました。また、事業再開に向けた準備室への人員配置も計画的に行いました。 令和5年3月1日には事業を再開し、休業期間中、さんホーム目黒に一時移動して頂いていた利用者には帰所していただきました。なお、事業再開前には、内覧会やホームページ等で利用者家族、地域住民、関係機関へ向けて情報提供を行いました。 事業再開後、計画的に新規利用者の受け入れを開始しています。（令和5年4月中旬には満床にする予定です。）
(4) 各種業務委託の効率化や省エネなどにより施設運営経費の縮減に努めます	業務委託は仕様書の見直しの上、入札を行い委託経費の削減につながりました。 光熱費については、省エネに取り組みましたが、電気、ガス料金の価格高騰の影響を受け、大幅な支出増となりました。

事業計画	具体的取り組みと結果
(5) 介護人材の確保に努めます	各施設より、法人の「人材確保 PT」に若手職員を参加させ、人材確保に向けた活動を進めました。新卒者はおおむね予定通りの人員を確保できましたが、契約職員等の確保は難しい状況が続きました。
(6) 利用率の向上の取り組み	特養の空床ベッドをショートステイで活用するなど利用率の向上に取り組みましたが、空床を埋めるまでの期間に時間を要し、また、施設内にて新型コロナの集団感染発生時はショートステイの受け入れを中止せざるを得ず、目標稼働率の達成ができませんでした。

(表 11) 利用率 (%)

施設別 年度別	特養東が丘		特養東山		特養中目黒		さんホーム目黒	
	特養	短期入所	特養	短期入所	特養	短期入所	特養	短期入所
令和 4 年度	91.6 (92.5)	93.2	92.9 (93.5)	89.4	60.9 (60.9)	56.1	89.9 (90.0)	92.7
令和 3 年度	94.7 (95.6)	100.0	95.3 (95.7)	95.7	97.5 (97.6)	98.0	87.4 (87.4)	79.1
令和 2 年度	94.1 (95.4)	98.0	93.6 (93.9)	95.2	92.6 (93.9)	93.9		

注 1) () は短期入所の空床利用を含む利用率

注 2) さんホーム目黒：令和 3 年 8 月からの実績

注 3) 令和 4 年度は 3 月 (1 か月間)、令和 3 年度は 4 月～7 月の実績

2 第三者評価・利用者アンケート等からの改善結果

(1) 特養東が丘

改善事項	具体的な取り組みと結果
施設の様子、利用者の様子を定期的に発信します	行事、食事の様子をホームページに公表しました。入居者フロアへインターネット環境の整備、利用者等へ画像の公開の可否の確認を書面で行い情報発信の環境を整えました。普段の様子や行事での様子を、LINE 機能を使用して写真を送る試みを行いましたが、十分に活用するまでに至りませんでした。 次年度は年間予定を立て確実に発信できるようにします。
コロナ禍での行事、クラブ活動の充実	昨年度は多くの行事を中止せざるを得ませんでした。今年度は、感染症対策の観点から内容を変更又は規模を縮小するなど工夫をしながら行事を行いました。

(2) 特養東山

改善事項	具体的な取り組みと結果
利用者の生活上の様々な要望を、できる限り実現していきます	コロナ禍でも、利用者が要望される冠婚葬祭やお墓参りなどは、ご家族にも協力いただき可能な限り外出していただきました。また、お花見や公園への散歩なども制約がある中でも予防対策を講じたうえで行いました。
利用者の生活の様子を写真で紹介するなど、見やすく楽しいホームページになるよう定期的に更新します	施設内での生活や行事の様子、お食事の様子などホームページに掲載しました。また、利用者と家族等向けに毎月発行している『ひがしやま通信』もホームページに掲載するようにしました。

(3) 特養中目黒

改善事項	具体的な取り組みと結果
利用者一人ひとりに楽しんでいただける行事やレクリエーションを提供します	事業再開後、利用者がさんホーム目黒から帰所されるにあたり、利用者毎に同ホームでの過ごし方や興味あることなど情報を確認しました。また、再開後は早期の安定したサービス提供に努めながら、新入所者の方には家族等から今までの生活の様子など伺い、行事や個別活動をできるだけ行いました。
利用者が安全で安心して生活できるようにします	事業再開に伴い、さんホーム目黒から帰所された利用者や新たに入所された利用者は生活環境に大きく変化が生ずることになるため、利用者毎に事前に調査や対応の検討、調整を行い、安全に生活できるように準備、実施しました。また、再開後の利用者の状態や生活リズムに合わせて声をかけ、離床や食事、入浴の時間を変更するなどして、落ち着いて過ごしていただけるようにしました。

(4) さんホーム目黒

改善事項	具体的な取り組みと結果
個々の意向や思いに沿った個別活動を支援します	お一人おひとりの一日を「24 時間シート」を活用して把握し、できる限り同シートに合わせた生活を支援しました。今後も更に個別対応を進めていきます。
個々の生活の様子を発信する機会を増やします	ホームページでは、毎月の「予定表」「献立表」「前月の様子」を掲載し、「その他の活動」を随時作成、掲載しました。 お一人おひとりの日常生活の様子を写真に撮り、定期的にご家族等へお送りしました。今後は SNS 等を活用した発信方法の構築に取り組みます。

3 特養のサービス

介護保険法に基づく指定介護老人福祉施設として、令和 4 年度事業計画に沿って施設サービスを提供しました。

(表 12) 入退所状況及び利用状況

[特養東が丘] 定員：100 名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計	
新規入所者数	2	2	2	4	1	4	3	3	4	2	4	3	34	
退所者数	2	2	3	3	3	4	3	1	1	4	2	3	31	
理由	死亡	1	0	2	3	3	2	3	0	1	3	1	3	22
	長期入院	1	2	1	0	0	2	0	1	0	1	1	0	9
	他施設入所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	在宅復帰	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
月末利用者数	95	95	95	95	93	93	93	95	98	96	98	98		
延利用可能床数	3,000	3,100	3,000	3,100	3,100	3,000	3,100	3,000	3,100	3,100	2,800	3,100	36,500	
特養利用床数	2,769	2,869	2,704	2,812	2,757	2,637	2,768	2,748	2,905	2,962	2,572	2,945	33,448	
利用率 (%)	92.3	92.5	90.1	90.7	88.9	87.9	89.3	91.6	93.7	95.5	91.9	95.0	91.6	
空床利用数	17	55	30	17	0	32	33	45	26	11	45	20	331	
延利用床数	2,786	2,924	2,734	2,829	2,757	2,669	2,801	2,793	2,931	2,973	2,617	2,965	33,779	
空床利用を含む利用率 (%)	92.9	94.3	91.1	91.3	88.9	89.0	90.4	93.1	94.5	95.9	93.5	95.6	92.5	

[特養東山] 定員：130名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
新規入所者数	4	1	5	4	6	4	2	0	6	5	4	5	46
退所者数	3	2	3	6	6	4	0	5	3	4	7	1	44
理由	死亡	3	2	1	5	5	4	0	4	3	2	7	37
	長期入院	0	0	1	1	1	0	0	1	0	2	0	6
	他施設入所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	在宅復帰	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
月末利用者数	128	127	129	127	127	127	129	125	127	128	125	129	
延利用可能床数	3,900	4,030	3,900	4,030	4,030	3,900	4,030	3,900	4,030	4,030	3,640	4,030	47,450
特養利用床数	3,745	3,625	3,604	3,793	3,802	3,733	3,529	3,431	3,739	3,774	3,450	3,834	44,059
利用率(%)	96.0	90.0	92.4	94.1	94.3	95.7	87.6	88.0	92.8	93.6	94.8	95.1	92.9
空床利用数	46	0	46	75	73	44	0	0	34	8	0	0	326
延利用床数	3,791	3,625	3,650	3,868	3,875	3,777	3,529	3,431	3,773	3,782	3,450	3,834	44,385
空床利用を含む利用率(%)	97.2	90.0	93.6	96.0	96.2	96.8	87.6	88.0	93.6	93.8	94.8	95.1	93.5

[特養中目黒] 定員：55名 ※新規入所者数には、さんホーム目黒からの帰所者を含む。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
新規入所者数													46
退所者数													1
理由	死亡												1
	長期入院												0
	他施設入所												0
	在宅復帰												0
月末利用者数													45
延利用可能床数													1,705
特養利用床数													1,039
利用率(%)													60.9
空床利用数													0
延利用床数													1,039
空床利用を含む利用率(%)													60.9

[さんホーム目黒] 定員：96名 ※退所者数には、特養中目黒への帰所者を含む

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
新規入所者数	1	1	3	1	1	3	2	4	0	3	6	4	29
退所者数	1	4	3	3	5	0	0	3	2	4	3	27	55
理由	死亡	1	3	3	3	2	0	0	3	2	3	3	25
	長期入院	0	1	0	0	2	0	0	0	0	1	0	4
	他施設入所	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	25	26
	在宅復帰	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
月末利用者数	96	93	93	91	87	90	92	93	91	90	93	70	
延利用可能床数	2,880	2,976	2,880	2,976	2,976	2,880	2,976	2,880	2,976	2,976	2,688	2,976	35,040
特養利用床数	2,792	2,836	2,644	2,620	2,559	2,584	2,729	2,708	2,762	2,689	2,497	2,090	31,510
利用率(%)	96.9	95.3	91.8	88.0	86.0	89.7	91.7	94.0	92.8	90.4	92.9	70.2	89.9
空床利用数	0	0	0	0	0	0	7	10	9	4	1	0	31
延利用床数	2,792	2,836	2,644	2,620	2,559	2,584	2,736	2,718	2,771	2,693	2,498	2,090	31,541
空床利用を含む利用率(%)	96.9	95.3	91.8	88.0	86.0	89.7	91.9	94.4	93.1	90.5	92.9	70.2	90.0

注1) 延利用可能床数：定員×各月の日数

注2) 特養利用床数：各月の特養利用者延べ数

注3) 利用率（％）＝特養利用床数÷延利用可能床数×100

注4) 空床利用数＝特養利用者の入院等による空きベッドを短期入所として活用した数

注5) 延利用床数＝特養利用床数＋空床利用数

注6) 空床利用を含む利用率（％）＝延利用床数÷延利用可能床数×100

（表13）平均入所期間

施設別 年度別	特養東が丘	特養東山	特養中目黒	さんホーム目黒
令和4年度	3年2月	3年6月	0年1月	1年1月
令和3年度	3年5月	3年7月	3年1月	0年6月
令和2年度	3年4月	3年11月	3年0月	

注1) 特養中目黒：令和4年度は、令和5年3月の事業再開後の実績（さんホーム目黒からの帰所者は新入所者として計算）

注2) さんホーム目黒：令和3年度は8月からの実績

（1）入所前の事前説明

入所後安心して生活ができるように、入所に際して、施設が提供できるサービス内容及びサービス提供体制等説明を行いました。

（2）施設サービス計画の立案

介護支援専門員とサービス提供職員が連携し、利用者個々の心身の状態に応じた自立支援と生活の質の向上の観点から、本人の要望、課題、目標、サービス内容と達成時期を設定した施設サービス計画原案を作成し、各専門職が参加するサービス担当者会議において施設サービス計画を決定しました。

施設サービス計画について利用者と家族等に説明し、同意を受けサービスを提供し、サービス提供後にはモニタリング（評価）を実施しました。退院時や利用者の状況に変化があった場合は、随時、計画を見直しました。

（3）介護

介護にあたっては人権に配慮し、施設サービス計画に沿って、入浴・排泄・食事・移動等の必要なサービスを提供しました。自立支援の観点から、利用者で行える行為は利用者自身が行うように支援し、残存能力の維持回復に努めました。

① 入浴の介護

プライバシーや同性介助に十分配慮し、利用者の状態に応じて、個々の施設サービス計画に基づき週2回以上の入浴サービスを提供しました。

② 排泄の介護

プライバシーや同性介助に十分配慮し、利用者の状態に応じて、個々の施設サービス計画に基づき排泄ケアを実施しました。

③ 食事の介護

利用者の嚥下能力に応じて、安全に自立して食事ができるように、個々の施設サービス計画に基づき食事の援助を実施しました。

管理栄養士が定期的に開催する食事懇談会や、個別に聞き取った利用者の嗜好に関する情報を献立に反映させ、季節感があり楽しめる変化に富んだ食事づくりを心がけました。行事食に加え、イベント食や選択食の日を設けるなど、利用者の食生活の充実を図りました。

(表 14) 利用者の要介護状態区分 (令和 5 年 3 月 31 日現在)

介護区分	特養東が丘		特養東山		特養中目黒		さんホーム目黒	
	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)
要介護 1	0	0.0	3	2.3	0	0.0	1	1.4
要介護 2	1	1.0	1	0.8	1	2.2	2	2.8
要介護 3	9	9.2	12	9.3	4	9.0	19	27.1
要介護 4	40	40.8	55	42.6	20	44.4	32	45.8
要介護 5	48	49.0	58	45.0	20	44.4	16	22.9
合 計	98	100.0	129	100.0	45	100.0	70	100.0

(表 15) 利用者平均介護度の推移 (令和 5 年 3 月 31 日現在)

施設別	年度別	特養東が丘	特養東山	特養中目黒	さんホーム目黒
	令和 4 年度	4.4	4.3	4.3	3.9
	令和 3 年度	4.5	4.2	4.3	4.1
	令和 2 年度	4.4	4.2	4.4	

(表 16) 利用者の年齢構成 (令和 5 年 3 月 31 日現在)

年齢層別	施設別		特養東が丘		特養東山		特養中目黒		さんホーム目黒	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
55～59 歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
60～64 歳	0	0	2	0	0	0	1	0	0	0
65～69 歳	0	0	0	1	0	0	1	2	0	0
70～74 歳	2	1	3	1	0	1	0	0	0	0
75～79 歳	1	3	2	7	2	0	2	1	2	1
80～84 歳	3	7	7	13	3	5	5	8	5	8
85～89 歳	9	20	7	25	4	12	4	12	4	12
90～94 歳	4	21	4	27	1	15	6	19	6	19
95～99 歳	2	17	3	18	0	0	0	6	0	6
100 歳～	0	8	0	9	0	2	0	3	0	3
合 計	21	77	28	101	10	35	19	51	19	51
最低年齢	72	72	61	69	75	74	63	68	63	68
最高年齢	95	109	98	104	90	101	93	104	93	104
平均年齢	86.0	91.0	84.0	91.0	83.7	88.9	84.1	89.1	84.1	89.1
	90.1		87.5		87.7		87.9		87.9	

注 1) 平均年齢は小数点第 2 位四捨五入

(表 17) 入退所者数の推移 (令和 5 年 3 月 31 日現在)

年度別	施設別		特養東が丘		特養東山		特養中目黒		さんホーム目黒	
	入所	退所	入所	退所	入所	退所	入 所	退所	入 所	退所
令和 4 年度	34	31 (22)	46	44 (37)	46	1 (1)	29	55 (25)	29	55 (25)
令和 3 年度	23	26 (23)	34	37 (32)	2	2 (1)	104	8 (7)	104	8 (7)
令和 2 年度	34	32 (23)	32	29 (27)	16	13 (12)				

注 1) () 内は死亡退所者数で内数

注 2) 特養中目黒：令和 4 年度入所者数には、事業再開に伴うさんホーム目黒からの帰所者を含む。
令和 3 年度は 4 月～7 月分実績 (令和 3 年 8 月～5 年 2 月迄事業休止のため)

注 3) さんホーム目黒：令和 4 年度の退所者数には、特養中目黒への帰所者を含む。

(表 18) 利用者の日常生活動作等の状況 (令和 5 年 3 月 31 日現在)

区分・状況		施設別		特養東が丘		特養東山		特養中目黒		さんホーム目黒	
		人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)		
食事介助	自立	27	27.6	61	47.3	14	31.2	29	41.4		
	一部介助	36	36.7	32	24.8	20	44.4	29	41.4		
	全介助 (経管栄養含む)	35	35.7	36	27.9	11	24.4	12	17.2		
口腔ケア	自立	8	8.2	28	21.7	3	6.7	13	18.6		
	一部介助	46	46.9	55	42.6	22	48.9	38	54.3		
	全介助	44	44.9	46	35.7	20	44.4	19	27.1		
入浴介助	自立	1	1.0	4	3.1	0	0.0	0	0.0		
	一部介助	29	29.6	41	31.8	21	46.7	39	55.7		
	全介助	68	69.4	84	65.1	24	53.3	31	44.3		
	機械浴	49	50.0	74	57.4	18	40.0	10	14.3		
	リフト浴	46	46.9	40	31.0	26	57.8	51	72.9		
体位交換	自立	21	21.4	51	39.5	19	42.2	37	52.8		
	一部介助	31	31.6	29	22.5	6	13.4	16	22.9		
	全介助	46	47.0	49	38.0	20	44.4	17	24.3		
移乗介助	自立	3	3.1	14	10.9	3	6.7	17	24.3		
	一部介助	37	37.7	61	47.3	17	37.8	34	48.6		
	全介助	58	59.2	54	41.8	25	55.6	19	27.1		
	リフト使用者	30	30.6	41	31.8	12	26.7	17	24.3		
着脱介助	自立	0	0.0	11	8.5	0	0.0	6	8.6		
	一部介助	24	24.5	33	25.6	23	51.1	46	65.7		
	全介助	74	75.5	85	65.9	22	48.9	18	25.7		
排泄介助	自立	0	0.0	15	11.6	3	6.7	6	8.6		
	一部介助	14	14.3	23	17.8	20	44.4	42	60.0		
	全介助	84	85.7	91	70.6	22	48.9	22	31.4		
	おむつ使用者	97	98.9	128	99.2	36	80.8	68	97.1		
認知症日常生活自立度	自立	1	1.0	3	2.3	0	0.0	1	1.4		
	I (ほぼ自立)	5	5.1	5	3.9	4	8.9	8	11.4		
	II (見守りが必要)	16	16.3	21	16.3	11	24.4	19	27.1		
	III (介護が必要)	41	41.8	54	41.9	15	33.3	26	37.3		
	IV (常時介護)	32	32.7	40	31.0	14	31.2	15	21.4		
	M (専門医療が必要)	3	3.1	6	4.6	1	2.2	1	1.4		

(表 19) 利用者の年間外泊件数の推移

施設別	特養東が丘	特養東山	特養中目黒	さんホーム目黒
令和 4 年度	0	2	0	0
令和 3 年度	0	0	0	0
令和 2 年度	0	1	0	

注 1) 特養中目黒：令和 4 年度は 3 月 (1 か月間)、令和 3 年度は 4 月～7 月の実績

(表 20) 年間面会者数の推移

施設別 年度別	特養東が丘	特養東山	特養中目黒	さんホーム目黒
令和4年度	2,161	1,354	34	875
令和3年度	1,280	1,136	113	608
令和2年度	557	448	384	

注1) 特養中目黒：令和4年度は3月（1か月間）、令和3年度は4月～7月の実績

注2) さんホーム目黒：令和3年度は8月からの実績

※面会は、新型コロナウイルスの感染予防のため予約制とし、距離を保ちアクリル板を活用した面会の他、施設内及び施設と自宅間のWEB面会も行いました。

(4) 栄養ケアマネジメント

栄養ケア計画に基づき、低栄養状態の利用者に対しては高栄養食等の付加食の提供、摂食・嚥下困難な利用者に対してはソフト食やゼリー食等で対応することにより栄養状態の改善に努めました。また、疾病による食事の指示が医師より出された利用者へは療養食の提供を行いました。

(表 21) 利用者の食事形態と療養食の状況（令和5年3月31日現在）

施設別 区分・種類		特養東が丘		特養東山		特養中目黒		さんホーム目黒	
		人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)
主食	米飯	36	36.8	34	26.3	16	35.6	25	35.7
	全粥	35	35.7	38	29.5	14	31.1	33	47.1
	全粥・ミキサー	16	16.3	33	25.6	9	20.0	7	10.0
	パン	1	1.0	5	3.9	1	2.2	3	4.3
	パン粥・ミキサー	1	1.0	7	5.4	0	0.0	2	2.9
副食	常食	12	12.2	21	16.3	12	26.7	10	14.3
	刻み	24	24.5	25	19.4	10	22.2	29	41.4
	極刻み	33	33.7	30	23.2	9	20.0	22	31.4
	ミキサー食	20	20.4	41	31.8	10	22.2	9	12.9
経管栄養		9	9.2	12	9.3	4	8.9	0	0.0
療養食		2		0		0		0	

注1) 副食のミキサー食にはソフト食、ペースト食が含まれる

注2) 療養食＝糖尿病、腎臓病等を考慮した食事（介護報酬の療養食加算対象）

(5) 健康管理

嘱託医師（内科・精神科）及び看護師が専門性を活かし、利用者の状態に応じた健康管理を行いました。

- ① 全ての特養において夜間看護師1名を配置し医療的ケアの必要な利用者が安心して生活できるよう対応しました。
- ② 定期健康診断を実施し疾病の早期発見に努めました。
- ③ 感染症予防及び発生時の適切な対策を実施するために「感染症・食中毒の予防蔓延防止に関する指針」に基づき、定期的に感染症対策のための会議を開催しました。また、利用者・職員等に新型コロナが発生した場合、マニュアル等に基づき対応を行いました。

④ インフルエンザの感染予防及び発病時の軽症化を図るために、利用者と職員を対象に予防接種を実施しました。

⑤ 新型コロナに対する予防対策や感染症対策を「新型コロナウイルス感染症等対応事業継続計画」に基づき実施を徹底しました。

特養入所にあたっては、家族等の同意を得たうえで可能な限りPCR検査を実施しました。

また、ショートステイ利用者にも同意を得たうえで、可能な限り利用開始まえに抗原抗体検査を実施するようにしました。

目黒区医師会の巡回接種による新型コロナのワクチン接種を希望する利用者には、接種を実施しました。

高齢者施設で業務する全従業者を対象にPCR検査を毎週、抗原検査を適宜実施しました。

⑥ 協力病院と連携して、利用者の緊急対応や入院・通院の便宜を図りました。

(表 22) 利用者の受診科目状況

施設・ 区分 科目	特養東が丘				特養東山				特養中目黒				さんホーム目黒			
	通院		往診		通院		往診		通院		往診		通院		往診	
	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延
歯科	1	1	79	521	2	2	55	390	0	0	14	16	5	13	66	580
内科	41	57	0	0	33	76	0	0	4	6	0	0	78	135	0	0
神経科	2	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	29	0	0
外科	1	4	0	0	17	27	0	0	0	0	0	0	7	18	0	0
整形外科 (形成含)	8	11	0	0	30	57	0	0	1	4	0	0	25	87	0	0
眼科	2	4	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	4	6	0	0
皮膚科	7	8	90	200	1	3	19	50	1	1	0	0	10	24	36	71
耳鼻科	1	1	0	0	3	8	0	0	0	0	0	0	5	9	0	0
泌尿器科	3	8	0	0	14	81	0	0	1	2	0	0	9	35	0	0
婦人科	0	0	0	0	2	3	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0
精神科	0	0	0	0	2	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
救命救急	2	2	0	0	2	2	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0
その他	13	19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		123		721		263		440		14		16		358		651

注1) 「実」は実人員、「延」は延人数

注2) 特養中目黒：令和4年度は3月分（1か月間）実績

(表 23) 利用者の入院状況推移

施設別 年度別	特養東が丘			特養東山			特養中目黒			さんホーム目黒		
	実人数	延人数	延日数	実人数	延人数	延日数	実人数	延人数	延日数	実人数	延人数	延日数
令和4年度	43	56	1,380	84	129	2,212	1	1	2	60	80	1,471
令和3年度	43	56	1,650	47	66	1,118	7	8	94	21	29	620
令和2年度	45	56	1,477	55	76	1,781	16	21	423			

注1) 特養中目黒：令和4年度は3月（1か月間）、令和3年度は4月～7月の実績

注2) さんホーム目黒：令和3年度は8月からの実績

(表 24) 利用者のうち医療的ケアの必要者 (令和 5 年 3 月 31 日現在)

種別 \ 施設別	特養東が丘	特養東山	特養中目黒	さんホーム目黒
経管栄養	9	12	4	0
常時吸引	15	5	3	4
バルーンカテーテル留置	2	9	2	1
人工肛門	1	1	1	0
ペースメーカー	4	0	1	1
褥そう処置者	1	0	0	0
インスリン	1	1	1	2
難病	1	1	3	4
在宅酸素	0	0	1	1
その他	0	0	0	0

(表 25) 感染症の発生状況 (延人数)

種類別 \ 施設別	特養東が丘		特養東山		特養中目黒		さんホーム目黒	
	特養	短期入所	特養	短期入所	特養	短期入所	特養	短期入所
新型コロナ	28	5	69	2	0	0	32	2
インフルエンザ	0	0	0	0	0	0	0	0
ノロウイルス	0	0	0	0	0	0	0	0
疥癬	0	0	0	0	0	0	0	0
結核	0	0	0	0	0	0	0	0

注 1) 特養中目黒：令和 4 年度は 3 月分 (1 か月間) 実績

(表 26) 職員の新型コロナ感染症発生状況 (延人数)

特養東が丘	特養東山	特養中目黒	さんホーム目黒
22	35	0	45

注 1) 特養中目黒：令和 4 年度は 3 月分 (1 か月間) 実績

(6) 口腔ケア・マネジメント

歯科医や歯科衛生士と連携して、利用者の口腔機能や嚥下機能に応じた口腔ケア計画を作成し、個別の口腔ケアを実施しました。歯科衛生士による口腔ケア指導を特養東が丘、特養東山及びさんホーム目黒では月 2 回実施、特養中目黒は月 1 回実施しました。

(7) 看取りケア

「看取りケア指針」に基づいて、利用者・家族等の意向に沿った看取りケア計画を作成し、「その人らしい尊厳のある看取り」を実施しました。

(表 27) 看取りケア実施実績

種別 \ 施設別	特養東が丘	特養東山	特養中目黒	さんホーム目黒
令和 4 年度	6	19	0	15
令和 3 年度	4	23	1	6
令和 2 年度	10	8	7	

注 1) 特養中目黒：令和 4 年度は 3 月 (1 か月間)、令和 3 年度は 4 月～7 月の実績

注 2) さんホーム目黒：令和 3 年度は 8 月からの実績

(8) 機能訓練

利用者の意向と生活状況を踏まえて個別機能訓練計画を作成し、機能訓練指導員と多職種が共同・連携し生活場面で以下の機能訓練(生活リハビリ)を行いました。

- ① 心身機能と生活能力の維持に努めました。
- ② 利用者の持つ生活能力を活かした自立支援を行いました。
- ③ 行事への参加や利用者に合わせてコミュニケーション等、精神面及び生活の活性化を図りました。
- ④ 安心して過ごせるように居室のベッド周辺や車いす等の生活環境の調整をしました。

(表 28) 機能訓練の実施件数 (%) (令和 5 年 3 月 31 日現在)

施設・区分 機能訓練の目的	主な実施内容 実施者	特養東が丘 (在籍 98 人)		特養東山 (在籍 129 人)	
		多	機	多	機
関節拘縮の進行を予防し、安楽に着替えや排泄の介助を受けられる	・関節可動域訓練	91 (92.9)	72 (73.5)	111 (87.4)	99 (78.0)
離床して、生活リズムを維持する 居室から出て周囲の人と交流する	・座位訓練	94 (95.9)	87 (88.8)	123 (96.9)	99 (78.0)
安全に食事が出来るように座位姿勢を整える	・嚥下訓練	71 (72.4)	67 (68.4)	77 (60.6)	75 (59.1)
食事や移乗、トイレ等、生活場面で出来る事を自分で行う	・ADL 訓練 ・移乗訓練 ・筋力訓練 ・立位訓練 ・バランス訓練	71 (72.8)	66 (67.3)	104 (81.9)	81 (63.8)
歩行する機会をもつ	・歩行訓練 ・筋力訓練 ・バランス訓練	18 (18.4)	32 (32.7)	27 (21.3)	48 (37.8)
自発的に交流を広げる	・グループ訓練	94 (96)	42 (43)	95 (74.8)	5 (3.9)
その他	・発声発語訓練など	35 (36)	19 (19)	122 (96.1)	121 (95.3)

施設・区分 機能訓練の目的	主な実施内容 実施者	特養中目黒 (在籍 45 人)		さんホーム目黒 (在籍 70 人)	
		多	機	多	機
関節拘縮の進行を予防し、安楽に着替えや排泄の介助を受けられる	・関節可動域訓練	26 (57.8)	36 (80.0)	7 (10.0)	48 (68.6)
離床して、生活リズムを維持する 居室から出て周囲の人と交流する	・座位訓練	42 (93.3)	35 (77.8)	49 (70.0)	32 (45.7)
安全に食事が出来るように座位姿勢を整える	・嚥下訓練	30 (66.7)	21 (46.7)	18 (25.7)	3 (4.3)

施設・区分 機能訓練の目的	主な実施内容 実施者	特養中目黒 (在籍 45 人)		さんホーム目黒 (在籍 70 人)	
		多	機	多	機
食事や移乗、トイレ等、 生活場面で出来る事を 自分で行う	・ADL 訓練 ・移乗訓練 ・筋力訓練 ・立位訓練 ・バランス訓練	39 (86.7)	35 (77.8)	64 (91.4)	34 (48.6)
歩行する機会をもつ	・歩行訓練 ・筋力訓練 ・バランス訓練	14 (31.1)	15 (33.3)	28 (40.0)	41 (58.6)
自発的に交流を広げる	・グループ訓練	7 (15.6)	2 (4.4)	30 (42.9)	0 (0)
その他	・発声発語 訓練など	34 (75.6)	35 (77.8)	44 (62.9)	43 (61.4)

注1) 多：介護士、看護師、管理栄養士、機能訓練指導員等多職種協働で実施

注2) 機：機能訓練指導員で実施

(9) 身体拘束

利用者の人権を尊重するとともに、生命または身体を保護するため緊急やむを得ない場合を除き、身体拘束は行わないサービスの提供に取り組みました。

(表 29) 身体拘束件数

施設別 年度別	特養東が丘		特養東山		特養中目黒		さんホーム目黒	
	特養	短期入所	特養	短期入所	特養	短期入所	特養	短期入所
令和4年度	0	0	0	0	0	0	0	0
令和3年度	0	0	1	0	0	0	0	0
令和2年度	0	0	0	0	0	0		

注1) 特養中目黒：令和4年度は3月（1か月間）、令和3年度は4月～7月の実績

注2) さんホーム目黒：令和3年度は8月からの実績

(10) レクリエーション等

新型コロナ感染予防の観点から、行事等は規模を縮小し職員が工夫を凝らし実施しました。

また、ボランティアの受け入れについては、直接利用者とするボランティアは理美容のみの受け入れとなり、他のボランティア受け入れは年間を通して殆どの活動を中止としました。

(表 30) 主な実施工事

月	特養東が丘	特養東山	特養中目黒	さんホーム目黒	行事食
4	・創立記念日 (祝い膳、おやつ)	・お花見	事業休止中	・お花見	・お花見御膳
5	・端午の節句 (菖蒲湯)	・端午の節句 (菖蒲湯) ・風船バレーボール 大会		・端午の節句 (菖蒲湯) ・母の日	・端午の節句膳
6		・映画鑑賞会		・父の日	
7	・七夕飾り ・お盆供養 (迎え火・送り火) ・初夏のおやつ会	・七夕 ・お盆供養 (迎え火・送り火)		・七夕 ・お盆供養	・七夕メニュー ・土用の丑の日

月	特養東が丘	特養東山	特養中目黒	さんホーム目黒	行事食
8	・夏祭り (各フロア開催)	・花火を楽しむ会 ・映画鑑賞会 ・昭和週間	事業休止中	・開所記念日	・夏祭りメニュー
9	・敬老会 (各フロア開催)	・敬老会 ・花火を楽しむ会		・敬老会 ・花火 ・月見の会	・敬老祝い膳
10	・運動会 (各フロア開催)	・映画観賞会 ・風船バレーボール 大会		・秋祭り ・運動会	
11	・お買い物サロン	・香り湯 ・焼き芋会		・お寿司の日 ・映画会	
12	・望年会 ・柚子湯 ・デザートバイキング ・大晦日	・望年会 ・柚子湯 ・映画鑑賞会 ・ケーキバイキング ・大晦日		・望年会 ・柚子湯 ・クリスマス ・大晦日	・望年会メニュー ・年越しそば
1	・お正月 ・七草	・お正月 ・七草		・お正月 ・書初め会 ・初詣(ホーム内) ・七草 ・鏡開き	・おせち料理 ・七草粥 ・お汁粉
2	・節分(豆まき)	・節分(豆まき)		・節分(豆まき)	・福内膳
3	・桃の節句 (雛人形飾り) ・リラクゼーション バスタイム ・お花見	・ひな祭り (雛人形飾り) ・お花見ドライブ	・ひな祭り (雛人形飾り)	・ひな祭り (雛人形飾り) ・映画会	・桃の節句膳

(表 31) ホーム喫茶等の行事

特養東が丘	特養東山	特養中目黒	さんホーム目黒
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者集会 (毎月開催) ・選択食(毎月) ・イベント食(毎月) 郷土料理食「日本全 土を巡る食の旅」 ・新茶を楽しむ会 ・おやつ作り (チョコレート蒸しパン) (スイートポテト) ・和菓子選択食(2回) ・洋菓子選択食(1回) ・ホーム喫茶「花水木」 (7回) 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者集会 (毎月開催) ・選択食(毎月) ・イベント食(毎月) 「季節の行事食」 ・手作りプリンを 食べる会 ・新茶を味わう会 ・焼き芋を食べる会 ・お汁粉を食べる会 ・お好み焼きを食べる会 ・出前を楽しむ会 ・桃の節句 ・桃を食べよう会 ・スイカを食べよう会 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者集会 ・選択食 ・イベント食 「戦国武将物語」 	<ul style="list-style-type: none"> ・誕生会 (ユニット毎) ・選択食(毎月) ・イベント食(毎月) 「戦国武将物語」 ・コーヒーを楽しむ 会(随時) ・おやつ作り (かき氷・きんつば・ おにぎりを食べる会 等)

注1) 特養中目黒：令和4年度は3月分(1か月間)実績

(表 32) クラブ活動

特養東が丘		特養東山		特養中目黒		さんホーム目黒	
クラブ活動	参加数	クラブ活動	参加数	クラブ活動	参加数	クラブ活動	参加数
0	0	0	0	0	0	0	0

注 1) 参加者数は 1 回の活動の参加者

注 2) 特養中目黒：令和 4 年度は 3 月分（1 か月間）実績

(1 1) 生活相談

生活相談員が中心になり、利用者やその家族に介護に関する相談をはじめ日常生活全般に関する相談に応じ、適切な助言・援助を行いました。

(1 2) 利用者・家族等の声を反映

利用者及び家族の生活に対する意向を聴き、施設サービス計画書に反映させました。

- ① 利用者集会、食事懇談会等を開催し、利用者の意見・要望を直接聴きました。
- ② 利用者及び家族等に満足度調査を実施しました。
- ③ 家族懇談会は、新型コロナの影響により特養東が丘、特養東山では開催できませんでした。さんホーム目黒では、3 回実施しました。

(1 3) その他生活支援

希望される利用者に対してサービスの提供や手続の代行を行いました。

・理美容サービス ・行政手続きなどの代行 ・日用品などの購入

(1 4) 預貯金などの保管及び管理

利用者本人又は家族等において利用者の預貯金等の保管を行うことが困難な場合、申し出により必要な範囲で預かり、出納管理を行いました。

(表 33) 利用者預かり金状況（令和 5 年 3 月 31 日現在）

施設名	特養東が丘	特養東山	特養中目黒	さんホーム目黒	合計
人数（人）	2	0	0	0	2
総額（千円）	2,214	0	0	0	2,214
平均（千円）	1,107	0	0	0	1,107

4 短期入所生活介護事業（ショートステイ）

短期入所生活介護(ショートステイ)の介護サービスは一部を除き、特養と同様に提供しました。介護者の急な疾病などに対応するため特養東山で整備している緊急ショートステイ 1 床で、対象となる利用者の受入れを行いました。また、特養の利用者の入院等で生じた空床を利用した受け入れも実施しました。

新型コロナの影響により、利用者及び利用者家族の感染等によるキャンセル等が発生しました。

また、施設内で新型コロナ発生時には、一時、受け入れを停止しました。

(表 34) 短期入所の要介護度別利用状況（空床利用分を含む）

施設別 区分別	特養東が丘		特養東山		特養中目黒		さんホーム目黒	
	延人数	割合(%)	延人数	割合(%)	延人数	割合(%)	延人数	割合(%)
非該当	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0
要支援 1	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0
要支援 2	5	0.1	0	0	0	0.0	103	3.0
要介護 1	444	11.9	419	11.9	16	18.4	540	15.8

施設別 区分別	特養東が丘		特養東山		特養中目黒		さんホーム目黒	
	延人数	割合(%)	延人数	割合(%)	延人数	割合(%)	延人数	割合(%)
要介護2	977	26.2	502	14.3	25	28.7	601	17.6
要介護3	814	21.8	929	26.4	20	23.0	931	27.2
要介護4	884	23.7	981	27.9	0	0.0	449	13.2
要介護5	607	16.3	687	19.5	26	29.9	791	23.2
合計	3,731	100.0	3,518	100.0	87	100.0	3,415	100.0
平均介護度	3.0		3.3		2.9		3.0	

注1) 平均介護度計算 要支援1・2は0.375、として計算します。

注2) 特養中目黒：令和4年度は3月分(1か月間)実績

(表35) 短期入所の利用状況

[特養東が丘] 定員：10名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	66	69	67	60	16	65	72	66	64	66	65	68	
送迎件数	111	115	118	104	16	110	120	107	109	111	110	116	1,247
延利用可能床数	300	310	300	310	310	300	310	300	310	310	280	310	3,650
延利用床数	300	310	300	310	60	300	310	300	310	310	280	310	3,400
利用率(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	19.4	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	93.2

[特養東山] 定員9名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	47	34	48	44	48	49	35	12	54	35	41	42	
送迎件数	85	49	83	81	81	74	54	9	84	51	65	71	787
延利用可能床数	270	279	270	279	279	270	279	270	279	279	252	279	3,285
延利用床数	270	224	270	279	279	270	242	50	279	279	247	247	2,936
利用率(%)	100.0	80.3	100.0	100.0	100.0	100.0	86.7	18.5	100.0	100.0	98.0	88.5	89.4

[特養中目黒] 定員：5名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数												20	
送迎件数												41	41
延利用可能床数												155	155
延利用床数												87	87
利用率(%)												56.1	56.1

[さんホーム目黒] 定員：10名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	50	57	57	53	47	56	59	56	60	54	56	53	
送迎件数	99	104	108	106	90	114	117	112	119	109	111	100	1,289
延利用可能床数	300	310	300	310	310	300	310	300	310	310	280	310	3,650
延利用床数	263	281	268	260	239	274	310	300	310	310	280	289	3,384
利用率(%)	87.7	90.6	89.3	83.9	77.1	91.3	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	93.2	92.7

〔特養東山 緊急ショートステイ〕 定員：1名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	2	4	3	3	6	5	2	1	5	4	6	3	44
送迎件数	2	5	2	1	6	6	2	1	4	4	2	2	37
延利用可能床数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
延利用床数	25	17	26	22	25	21	18	6	25	29	21	21	256
利用率 (%)	83.3	54.8	86.7	71.0	80.6	70.0	58.1	20.0	80.6	93.5	75.0	67.7	70.1

注1) 延利用可能床数：定員×各月の日数

注2) 延利用床数：各月の利用者延べ数（空床利用は除く）

注3) 利用率 (%) = 延利用床数 ÷ 延利用可能床数 × 100

(表 36) 空床利用の状況 (延利用床数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
特養東が丘	17	55	30	17	0	32	33	45	26	11	45	20	331
特養東山	46	0	46	75	73	44	0	0	34	8	0	0	326
特養中目黒												0	0
さんホーム目黒	0	0	0	0	0	0	7	10	9	4	1	0	31

5 緊急一時保護

目黒区からの緊急の保護の要請により、その家庭で介護を受けることが困難な在宅の高齢者を積極的に受け入れました。

(表 37) 緊急一時保護

施設別 年度別	特養東が丘	特養東山	特養中目黒	さんホーム目黒	合計
令和4年度	1	4	0	0	5
令和3年度	4	10	0	5	19
令和2年度	6	4	6		16

注1) 特養中目黒：令和4年度は3月（1か月間）、令和3年度は4月～7月の実績

注2) さんホーム目黒：令和3年度は8月からの実績

6 地域との連携

地域に開かれた施設となるよう近隣の保育園、小中学校等や地元町会とも連携するとともに、地域行事の参加や家族の施設行事への参加を予定していましたが、新型コロナウイルスの感染状況が落ち着かず、地域や家族との連携が難しい状況が続きました。その中、初めての試みとしてWEBを活用した講座を開催しました。

(1) ボランティア

① ボランティアの受け入れ状況

感染予防対策を講じ、理美容のみ受け入れました。また、年間を通してボランティアの受け入れは原則中止としました。

(表 38) ボランティアの受け入れ状況

種別	特養東が丘		特養東山		特養中目黒		さんホーム目黒	
	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数
生活支援	1	104	0	0	4	4	6	108
クラブ活動支援	0	0	0	0	0	0	0	0

種別	施設別	特養東が丘		特養東山		特養中目黒		さんホーム目黒	
		実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数
技術支援		2	35	8	48	3	3	3	36
定例行事支援		1	1	0	0	0	0	0	0
行事支援		0	0	0	0	0	0	0	0
合計		4	140	8	48	7	7	9	144

注1) 生活支援：散歩、話し相手、清掃、洗濯たたみ等

注2) 技術支援：理美容等

注3) 定例行事支援：夏祭り等

注4) 特養中目黒：令和4年度は3月分（1か月間）実績

② ボランティア懇談会

毎年3月に開催していますが、新型コロナの影響により中止としました。

(2) 地域貢献活動

地域包括ケアシステムの一翼を担い、地域との連携を深めると共に、特養の特徴を生かして地域に必要とされ、地域に貢献できる施設運営に努めましたが、新型コロナの影響により活動の中止・縮小等せざるを得ませんでした。

① 地域交流サロン(いきいきサロン)・会食サービス事業の実施

週1回、地域交流スペースを地域に開放し、希望するひとり暮らし等高齢者に食事を提供する地域交流サロン(いきいきサロン)・会食サービス事業については、新型コロナの感染状況が拡大したため、区と協議のうえ前期・後期ともに中止となりました。

(表 39) 会食サービス延べ参加者数(登録人数) (人)

施設別 区分	特養東が丘	特養東山	特養中目黒	さんホーム目黒
前期	中止	中止		中止
後期	中止	中止		中止

② 地域はつらつセミナー

地域交流スペース活用の一環として、各施設が持つ資源を地域に還元するために、介護・福祉・医療に関する講座や、交流を目的としたアクティビティなどのセミナーは、新型コロナの影響により、予定していた開催を中止としました。

③ 地域交流サロン

特養東山では、地域包括支援センター、民生委員、町会等と共催で「地域交流サロン」として、バイオリン演奏会を3回実施しました。(他施設は未実施)

④ 「ふれあいの居場所」

特養中目黒が改修工事中であったため中止としました。

⑤ 目黒区の「めぐろシニアいきいきポイント事業」

同事業のサポーターに、各施設において活動の場を提供する予定でしたが、新型コロナの影響により、ほとんど実施できませんでした。

⑥ 実習生、研修生、中学生の体験学習等の受け入れ

各施設において、実習生、研修生及び中学生の体験学習等の受け入れを新型コロナの感染状況を見極め可能な限り受け入れを行いました。

⑦ 家族介護教室

在宅で高齢者を介護する家族や援助者及び介護技術や知識の習得を希望される地域の方などに対し感染症防止対策を講じながら開催しました。

(表 40) 家族介護教室の実施状況

開催場所	開催日	内容	定員	実参加人数	延参加人数
特養東が丘	10/30	午前：ベッド上での介護	10人	4人	7人
		午後：ベッドからの移乗	10人	3人	
	12/10	午前：楽しく安全な食事介助	10人	7人	14人
		午後：在宅での介護予防	10人	7人	
特養東山	1/28	午前：排泄・更衣介助	10人	7人	15人
		午後：移動・移乗介助	10人	8人	
	3/5	午前：移動・移乗介助	10人	5人	9人
		午後：排泄・更衣介助	10人	4人	
さんホーム目黒	11/26	午前：認知症のある方へのケア「身体の動き」	10人	6人	13人
		午後：認知症のある方へのケア「食事について」	10人	7人	
	2/26	午前：認知症のある方へのケア「食事について」	10人	7人	14人
		午後：認知症のある方へのケア「身体の動き」	10人	7人	

注 1) 特養中目黒は、事業休止中のため未実施。

⑧ 施設見学会

例年 11 月 11 日の介護の日にちなみ施設を見学できるよう、目黒区民を対象に送迎バスを活用した「高齢 3 施設見学バスツアー」を計画していますが、新型コロナの影響により各施設で少人数、短時間で「講座：特養ホームでの暮らしとは」を計画し、実施しました。

(表 41) 施設見学会参加人数

施設別 年度別	特養東が丘	特養東山	特養中目黒	さんホーム目黒
令和 4 年度	3	中止		9
令和 3 年度	0	4		16
令和 2 年度	9	4	9	

⑨ 講師派遣

施設に配置している福祉・医療の専門職員を、地域で開催される講座等に講師として派遣しました。

(表 42) 講師派遣実績表

講座名等	実施日	テーマ	主催	派遣職員
移乗・移動介助の基本	11/24	腰痛予防	目黒区	理学療法士
第 2 回デジタルシンポジウム in 東京 '22 夏	8/18	特養におけるデジタル化 推進について	東社協	施設長

⑩ 地域交流スペース貸出支援事業

新型コロナの影響で貸し出しは休止としました。

⑪ 車いす貸出事業

施設資源を地域に提供するため、1 回 1 週間を原則として車椅子を無料で貸出しています。

(表 43) 貸出回数

施設別 年度別	特養東が丘	特養東山	特養中目黒	さんホーム目黒
令和4年度	12回	0回	2回	2回
令和3年度	21回	4回	1回	2回
令和2年度	18回	2回	1回	

注1) 特養中目黒：令和4年度は3月（1か月間）、令和3年度は4月～7月の実績

注2) さんホーム目黒：令和3年度は8月からの実績

7 運営管理

(1) 会議

利用者サービスと合理的な施設運営を円滑に行うため、各職種間、職員相互間で必要に応じて各種会議を開催しました。なお、新型コロナウイルスの感染予防のため、会場や開催時間・方法を変更して開催しました。また、施設間の会議はWEB会議を導入して開催しました。

(表 44-1) 施設合同会議

会議名	内容	開催回数
施設長連絡会議	特養3施設の運営について共通課題の検討、情報の交換をしました。	年5回
特養担当者会議	特養3施設共通の課題の検討、統一マニュアルの作成と定期的見直しを実施しました。	年5回

(表 44-2) 施設共通会議

会議名	内容	開催回数
サービス担当者会議	利用者のニーズに基づいて施設サービス計画の立案と決定、評価をしました。	月2～6回
課長会議	事業計画の方針、実施結果の評価など施設運営全般に関する事項を協議、決定しました。	月1～2回
施設運営会議	施設運営全般に関する事項の具体的な審議、事業計画・方針に基づく具体的な内容の検討をしました。	月1回
特養会議	新規入所者調整、各職種間の連携調整及びサービス提供における懸案事項の検討・計画・実施・評価をしました。	月1回
防災会議	防災訓練の計画立案・実施・評価をしました。 施設内の防災点検を実施しました。	月1回
感染症対策会議	感染症の予防対策と発生時の対応を検討しました。 定期的、臨時に会議を開催し、感染症拡大を未然に防ぐ為の対策を検討し実施しました。	3月に1回
介護サービス課調整会議	介護サービス課間のサービス、職員管理などの調整及び事業計画の進捗管理をしました。	月1回
介護サービス課・係長会議 (ユニットリーダー会議)	課の課題の把握と改善策の検討並びにサービス提供状況の確認・検討及び職員や業務の管理をしました。	月1回
介護サービス課職員会議 (ユニット会議)	サービス提供の進捗管理、課題の検討、連携・チームワーク強化、業務見直し及び評価、連絡調整などを行いました。	月1回

(2) 委員会

施設サービスの向上と業務の見直しをするために各種の専門委員会を設置し、問題解決に向けて各委員会の担当職員が主体的に検討・企画・実施しました。

(表 45) 特別養護老人ホームの委員会活動（共通）※開催回数は、施設毎で設定

委員会名	内容
サービス向上委員会	利用者サービスの向上を図るため、サービス内容の見直しや点検、企画と環境整備等の検討・実施・評価をしました。
行事委員会	利用者の声を聞き取りニーズに合った年間計画を作成し、企画・実施・評価をしました。
研修委員会	年間計画に基づき、施設内研修を実施、参加者に対して研修アンケートを実施、次年度の研修計画に反映しました。
実習生・新人育成委員会	新人職員の育成を効果的に実施するために、委員が個別の育成計画を作成し OJT を実施しました。実習生は年間受入計画を作成し計画に基づいて受け入れました。受け入れマニュアルを見直しました。
事故防止委員会	発生した事故やヒヤリハットを分析し、介護事故防止のための対策を検討し、防止策を周知・実施し再発防止に努めました。
人権委員会	身体拘束、高齢者虐待、個人情報など人権に関して検討しました。
苦情解決委員会	申し出のあった苦情・要望について調査し、改善案を検討・実施しました。
褥瘡予防委員会	褥瘡予防策の検討並びに褥瘡治療中の利用者の把握と改善策を検討しました。
広報委員会	利用者、家族、地域の方に向けた広報誌を発行しました。
省エネ委員会	施設における省エネ対策を検討し実施しました。
衛生委員会	職員の安全と健康を確保するため、労働安全衛生の管理に関し、産業医の助言を受けて検討実施しました。産業医の健康相談を実施しました。
医療ケア委員会	介護職員が喀痰吸引等を安全に行うための施設内の実施体制の整備、喀痰吸引業務の実施計画や実施状況の管理を行いました。
腰痛予防対策委員会	厚労省「職場における腰痛予防対策指針」（改訂版）に基づき、介護現場における腰痛リスクを低減するために、介護方法の見直し、福祉機器の活用方法、職員への腰痛予防の啓発を行いました。
身体的拘束適正化委員会	身体拘束等の適正化のための対策や、身体的拘束につながる不適切な援助がないか等を検討しました。

(3) 研修

職員の資質向上のため、施設内で年間研修計画を作成し、感染症予防対策を講じて計画的に研修を実施するとともに、日常の業務を通しての OJT を実施しました。都、目黒区及び東京都社会福祉協議会、その他の関係団体が実施する外部の研修（WEB 研修を含む）に参加しました。

また、当事業団が例年行う職層研修へは、対象職員が参加しました。

(表 46-1) 外部研修

[特養東が丘]

研修名	主催者	参加人数
高齢者虐待防止研修	東京都福祉保健財団	1
右肩下がりの人の運動～シルバーリハビリ体操～ (WEB 研修)	東京都社会福祉協議会	1
リスクマネジメント研修 (WEB 研修)	日本慢性期医療協会	2
介護報酬請求事務に関する研修会《応用編》 (WEB 研修)	東京都社会福祉協議会	1
介護職員のためのスキルアップ研修 「パーソン・センター・ケアとは」	目黒区	1

研修名	主催者	参加人数
介護職員のためのスキルアップ研修 「リスクマネジメントの実践で事故のリスクを減らそう」	目黒区	1
介護職員のためのスキルアップ研修 「さまざまな高齢者が楽しめるレクリエーション」	目黒区	2
介護職員のためのスキルアップ研修 「介護従事者のストレス対策」	目黒区	1
介護職員のためのスキルアップ研修 「くすりの基礎知識と服薬介助」	目黒区	1
介護職員のためのスキルアップ研修 「ケアプランについて知ろう」	目黒区	1
認知症介護基礎研修	東京都	1
認知症介護実践者研修	東京都	1
認知症対応型サービス事業管理者研修	東京都	1
認知症対応型サービス事業開設者研修	東京都	1

[特養東山]

研修名	主催者	参加人数
労働災害再発防止講習会	品川労働基準監督署	1
栄養ケア・マネジメント研修会	東京都社会福祉協議会	1
給食施設において災害時に備え平常時準備しておくこと	目黒区保健予防課	1
高齢者虐待防止研修	東京都福祉保健財団	1
介護報酬事務に関する研修会	東京都社会福祉協議会	2
介護職員のためのスキルアップ研修 「介護職員ができるレクリエーション」	目黒区	1
認知症介護実践者リーダー研修	東京都福祉保健局	1
介護職員のためのスキルアップ研修 「介護職員のマナー・接遇」	目黒区	1
介護職員のためのスキルアップ研修 「コミュニケーションスキルを高めよう」	目黒区	2

[特養中目黒]

研修名	主催者	参加人数
採用担当者研修・情報交換会	東京都社会福祉協議会	1
安全対策体制加算対応研修	一般社団法人全国個室ユニット型施設推進協議会	1
特定給食管理講習会	目黒区	1
介護職員のためのスキルアップ研修 「中堅職員に求められる役割」	目黒区	1

注1) 令和5年1月～3月までの実績

[さんホーム目黒]

研修名	主催者	参加人数
栄養ケア・マネジメント研修会	東京都社会福祉協議会	1
災害に関する研修 ～熊本地震を体験した介護職員の生の声に学ぶ～ (WEB)	東京都社会福祉協議会	1
感染症対策指導者養成研修	東京都福祉保健局	1
高齢者虐待防止研修	東京都福祉保健財団	1

研修名	主催者	参加人数
介護職員のためのスキルアップ研修 「介護士が行うレクリエーション」(WEB)	目黒区	5
介護職員のためのスキルアップ研修 「介護士のストレス対策」(WEB)	目黒区	1
介護職員のためのスキルアップ研修 「介護サービスに対する苦情への対応」(WEB)	目黒区	3

(表 46-2) 主な施設内研修

[施設内研修]

研修名	研修内容	特養東が丘	特養東山	特養中目黒	さんホーム 目黒
新規職員研修	人権、個人情報、接遇マナー、 認知症、事故防止、プライバシー保護	個別1回	1回	1回	1回
	他職種研修(移乗・ポジショニング、 自立支援、腰痛予防、栄養、感染症、ケアプラン作成)	個別1回	1回	0回	1回
職層研修	中堅職員研修、指導職員研修 管理職員研修	2回	4回	0回	1回
人権研修	人権・虐待防止・個人情報保護、 ハラスメント	2回	2回	0回	4回
身体的拘束適正化研修	身体的拘束の適正化、指針に 基づいた研修内容	2回	2回	0回	2回
リスクマネジメント研修	事故防止・大規模災害、苦情対応等	4回	2回	0回	2回
感染症予防研修	食中毒予防、感染性胃腸炎や インフルエンザへの対応	2回	3回	0回	3回
介護技術研修	口腔ケア、自立支援、「認知症 の人のためのケアマネジメント センター方式」研修、サービスマナー研修	6回	1回	2回	1回
看取り研修	看取りの対応について	1回	1回	1回	1回
緊急対応研修	緊急対応(事例検討含む)	1回	個別	0回	個別

注1) 特養中目黒：令和5年2月～3月までの実績

[専門研修]

研修名	研修内容	特養東が丘	特養東山	特養中目黒	さんホーム 目黒
職員の健康管理研修	メンタル・腰痛予防・産業医 研修	1回	0回	0回	1回
ユニットリーダー研修	ユニットリーダーについて	0回	0回	1回	1回
ユニットケア研修	ユニット型特養について	0回	0回	1回	1回
看護師研修	中止(合同)				
栄養士研修	中止(合同)				
機能訓練指導員研修	中止(合同)				

注1) 特養中目黒：令和5年2月～3月までの実績

(4) 施設間評価

例年実施している施設間評価については、新型コロナの感染防止のため、施設訪問とオンラインを交えた委員会を開催しました。各施設の「良いと思う取り組み」や「課題」について事前に書面で調査を行い、会議にて現状の情報を共有、自施設で取り組める内容をそれぞれ検討しました。

(表 46-3) 施設間評価

対象施設	調査日	調査者
さんホーム目黒	12月1日	特養東が丘介護士1人
特養東山	12月2日	特養東が丘介護士1人・さんホーム介護士1人
特養東が丘	12月6日	特養東山介護士1人・さんホーム介護士2人

(5) 苦情・要望

施設ごとに、苦情の窓口及び責任者を設置し、申し出があった場合、調査のうえ苦情解決委員会等で検討し、規程に基づき速やかに対応し、内容を施設内に掲示しました。なお、「権利擁護センターめぐろ」等の外部機関に相談できることを重要事項説明書や掲示物にて示しています。

(表 47) 苦情・要望の件数（短期入所含む）

区分	特養東が丘		特養東山		特養中目黒		さんホーム目黒	
	特養	短期入所	特養	短期入所	特養	短期入所	特養	短期入所
苦情件数	1	1	1	0	0	1	1	0
処理件数	1	1	1	0	0	1	1	0
要望件数	0	0	0	0	0	0	4	0

注1) 特養中目黒：令和4年度は3月分（1か月間）実績

(6) 拘束をしない事故防止対策と事故発生時の緊急対応

各施設において、身体拘束することなく事故防止に努めました。また、「事故防止指針」に基づいて、事故防止のための定期的な委員会の開催、研修の実施等により事故の分析、防止に努めました。事故発生時は速やかに緊急対応を実施しました。

(表 48) 事故等の状況

区分	特養東が丘		特養東山		特養中目黒		さんホーム目黒	
	特養	短期入所	特養	短期入所	特養	短期入所	特養	短期入所
事故総数	536 (6)	38 (2)	525 (8)	62 (2)	14 (1)	1 (0)	212 (1)	31 (1)
ヒヤリハット	512	60	905	91	7	0	262	40

注1) ()内は事故総数のうち通院に至った事故

注2) ヒヤリハット・・・事故ではないが事故になりそうな状態など

注3) 特養中目黒：令和4年度は3月分（1か月間）実績

(7) 個人情報保護

当事業団における個人情報保護規程に基づいて、個人情報の利用目的を明示し全利用者に対して説明の上、同意を得て個人情報を取り扱いました。また、個人情報保護について研修を行い、基本的な知識・取り扱い方法を周知徹底するように努めました。

(表 49) 個人情報開示実施数（短期入所含む）

区分	特養東が丘		特養東山		特養中目黒		さんホーム目黒	
	特養	短期入所	特養	短期入所	特養	短期入所	特養	短期入所
個人記録	0	0	28	4	0	0	2	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0

注1) その他は、健康診断結果

注2) 特養中目黒：令和4年度は3月分（1か月間）実績

(8) 情報発信

① 施設毎に広報誌を作成しました。また、ホームページ上で施設のPRに努めました。

(表 50) 広報誌発行実績

施設別 年度別	特養東が丘	特養東山	特養中目黒	さんホーム目黒
令和4年度	5回	11回	3回	8回
令和3年度	4回	11回	4回	4回
令和2年度	5回	12回	12回	
令和元年度	4回	14回	12回	

注1) 特養中目黒：令和5年1月～3月、令和3年度4月～7月の実績

注2) さんホーム目黒：令和3年度は8月からの実績

② 介護サービス情報の公表

介護サービス情報公表制度の調査を受け、インターネットで施設の情報を公表しています。

(9) 防災対策

消防法の規定により策定した消防計画に基づき、感染症予防のため規模を縮小するなど内容を変更し、職員及び利用者による避難、通報、消火等の訓練を行いました。地域の町会・自治会、消防署、消防団等の参加による総合訓練は中止しました。

消防署と区内特養ホームが防災対策等について連携していくための防災連絡協議会は、WEB会議で行いました。

(表 51) 防災訓練実施状況

施設別 訓練別	特養東が丘	特養東山	特養中目黒	さんホーム目黒
避難訓練	6回	2回	0回	8回
火災想定訓練	8回	7回	0回	8回
地震想定訓練	4回	6回	0回	2回
夜間(想定)訓練	4回	7回	0回	2回
通報訓練	4回	3回	0回	3回
図上訓練	1回	2回	0回	2回
その他の訓練	4回	4回	2回	4回
その他の訓練の内容 (各施設の状況に応じ実施)	防災設備・自火報設備について、継走網訓練・地震体験・煙体 験・AED操作訓練等			

注1) 特養中目黒：令和5年2月～3月の実績

(10) 衛生管理

居室の清掃、消毒を実施し、衛生的な環境を提供しました。また、寝具は週1回の交換を原則とし、年に1回のマット消毒と合わせ、清潔な寝具環境を提供しました。

新型コロナの感染予防のためマニュアル等に基づいた対応を行いました。

(11) 職員の健康管理

衛生委員会を定期的開催し、職員のメンタル面を含めた健康管理の向上に努めました。

(12) 福祉サービス第三者評価

質の高い利用者サービスの実現に向けて、指定管理施設は各施設において3年毎に第三者評価を受審、さんホーム目黒は毎年度受審しています。

評価結果については下表のとおりで、内容の分析を行い、指摘事項の改善に取り組みました。

評価実施機関：特定非営利活動法人市民シンクタンクひと・まち社

(表 52-1) さんホーム目黒 評価結果

特に良い点	<ul style="list-style-type: none">・ 事業所の機能を活かして地域貢献に取り組んでいる (セミナー「特養の暮らしとは」開催、家族介護教室共催、地域活動グループ〔手ぬぐい体操〕へのスペース提供等)・ 日常生活やレクリエーションに機能訓練の要素を取り入れ、利用者のADLの維持・回復を図っている (廊下や屋上までの歩行練習や風船バレー、輪投げ、トランプ等レクリエーションに機能訓練の要素を取り入れている)・ 通信や利用者一人ひとりの家族に宛てたレターを送付し家族懇談会を開催するなど、家族との連携を大切にしている
更なる改善点	<ul style="list-style-type: none">・ 職員へのキャリアパスの理解が深まるような説明を工夫するとよい・ インフラがダウンした時のシミュレーションを行いBCP（事業継続計画）の実行性を高めるとよい・ 車いすの整備・点検は、担当者を決めチェック表を作るなどして定期的に行うとよい

第2 在宅ケア多機能センター

在宅ケア多機能センターでは、介護保険法に基づく指定事業所として、小規模多機能型居宅介護サービス（以下、「多機能」という。）及び認知症対応型通所介護サービス（以下、「認知デイ」という。）を実施しました。

また、令和4年度も事業全般にわたり新型コロナの感染予防対策を徹底して継続し、事業を行いました。

1 令和4年度重点項目の具体的な取り組み

事業計画	具体的な取り組みと結果
(1) 人権意識の徹底を図り、身体拘束のない介護・支援を継続し、虐待防止に取り組みます	サービス評価表を実施し、毎月の職員会議では、虐待を疑われる場面や身体拘束を疑われる介護を行っていないかを確認しました。 施設の高齢者虐待に係る委員会では、日常的な介護の場面を振り返り、身体拘束や虐待に繋がる場面がなかったか、情報を共有しました。 全職員が虐待の芽チェックリストを年2回実施し、目標管理面接時に各自の課題を確認し、自身のサービス提供について見直しました。
(2) 全職員が個人情報の管理を徹底します	荷物の返却間違いを起こさない工夫をし、連絡帳を含めて返却ミスを防ぐようにしました。 排泄表など開いたままにならないようにし、デイホーム内でも、個人情報の保護を意識した対応を行いました。
(3) 感染症の予防対策を徹底し、発生と蔓延を防ぎます	毎日、定時に決められた方法で消毒や換気を行い、新型コロナの予防とまん延防止に努めました。 毎日のミーティングで日々の対応を周知、徹底したほか、感染症予防マニュアルに基づいて、全職員を対象に研修を行いました。 全職員を対象に週1回のPCR検査を実施し、利用者を含めて体調不良時には抗原検査を実施しました。陽性者が発生した場合でも事業が継続できるようにしました
(4) 連絡帳や電話で情報共有に努め、家庭と施設が一貫した支援となるよう努めます	連絡帳などを通してデイホームでの様子を伝えるだけでなく、ご家庭での様子を職員が把握できるようにご家族と情報交換し、統一したケアができるようにしました。

(表 53) 構成施設と定員

事業構成 施設名等	東が丘在宅ケア多機能センター		東山在宅ケア多機能センター	
	多機能	認知デイ	多機能	認知デイ
各施設名	東が丘多機能ホームあすなろ	東が丘デイホームしいの木	東山多機能ホームけやき	東山デイホームいちよう
利用定員	登録定員 29人 通い定員 18人 泊り定員 7人	12人	登録定員 29人 通い定員 18人 泊り定員 7人	12人

2 令和4年度の利用実績

(表 54) 利用率 (%)

年度別	施設別	東が丘		東山	
		多機能	認知デイ	多機能	認知デイ
令和4年度		77.9	60.8	82.1	71.7
令和3年度		80.0	59.3	79.3	70.0
令和2年度		67.6	52.5	52.8	81.7

注1) 多機能は登録定員に対する1日あたりの登録者数の割合

(表 55) 新規契約者数と契約終了者数 (人)

区分		東が丘		東山	
		多機能	認知デイ	多機能	認知デイ
新規	介護	10	14	8	11
	予防	1	0	0	0
終了	介護	12	8	8	10
	予防	0	0	0	0

3 第三者評価・利用者アンケート等からの改善結果等

(1) 東が丘多機能ホームあすなろ (多機能)

改善事項	具体的な取組みと結果
家族との連携を強化し、利用者、家族が安心してサービスを利用できるよう情報を発信していきます	発熱者が出た際はすぐに家族連絡を行い適切に対応できました。 急なサービス変更やスポット利用の希望にも随時対応しました。 午後の来所、午前中の帰宅、毎週のスポット利用などの送迎調整は難しい面もありますが、時刻表の更新を出来る限り速やかに行い時刻表に組み込みました。
コロナ禍での運営推進会議の開催方法を検討し実施します	7月の会議は新型コロナ感染拡大のため書面開催となりましたが、5月は対面とWebの併用、9月からは対面で開催できました。 11月からは利用者と家族も参加して開催でき、3月には合計5名の利用者や家族の参加があり、様々な意見をいただきました。

(2) 東が丘デイホームしいの木 (認知デイ)

改善事項	具体的な取組みと結果
送迎方法、送迎時間について、利用者の生活状況に合わせて対応します	ご利用者の生活状況とご家族の要望を考慮し、できる限りニーズに合わせて対応しました。 車椅子の方で玄関から階段を降りる介助が必要な方にはご家族と協力することで利用を可能にしました。 皮膚トラブルのある方の送迎時間を短くする工夫や、遅い時間まで利用希望の方にはできる限り希望に沿うよう対応しました。
家族からの相談体制を充実し、在宅で安心して介護できるよう支援します	日々の連絡ノートで情報を共有し、相談やアドバイスを行いました。必要時は電話や訪問で相談できる機会を持ち、安心して在宅生活を送れるよう支援に努めました。

(3) 東山多機能ホームけやき (多機能)

改善事項	具体的な取組みと結果
コロナ禍における家族懇談会や運営推進会議の開催方法を検討し実施します	定期的に運営推進会議を開催し、ご家族や地域の方、関係機関の方々からご意見をいただき、業務改善に反映することができました。運営推進会議を活用した外部評価により、課題を把握し、次年度の改善計画を設定しました。
送迎を含めた全職員に対して、サービスマナー研修を定期的に実施します	送迎職員を含む全職員に虐待の芽チェックリストを二回実施して普段の接遇を振り返る機会とし、面談を行いました。また送迎職員には家族、同僚へのマナーチェックシートを実施し、チェック内容を確認しながら面談を行いました。

(4) 東山デイホームいちょう (認知デイ)

改善事項	具体的な取組みと結果
一人ひとりの「できること」に着目し、興味・関心をもてる活動を提供します	個別レクリエーションの内容を3ヶ月毎に評価し、ジグソーパズル、塗り絵、将棋、囲碁、歌唱活動時の歌の披露など、趣味活動の充実を図りました。 自発的な活動参加が難しい利用者への関りを充実できるよう取り組みました。 活動時の様子をご家族へ報告し、「楽しかった」との声を頂くことができました。
在宅での生活状況やデイルームでの様子などを家族と情報を共有し、安心して在宅生活が継続できるように支援します	6月にご家族個別の見学・相談会を開催しました。利用中の様子を見学され、「自宅とは違う活動的な様子を知れて良かった」「介助方法など相談できて良かった」と評価していただきました。 日々の身体機能の変化、興奮・不穏症状にて急ぎ対応の検討が必要な利用者に対しては、小まめにご家族、ケアマネへ報告し情報共有を行いながら、支援方法の見直しを行いました。

4 在宅ケア多機能センターの事業

小規模多機能サービスの提供に当たっては居宅サービス計画書及び小規模多機能型居宅介護計画書を作成した上で、認知症対応デイの提供に当たっては居宅介護支援事業者または利用者(家族等)が作成した居宅サービス計画書に基づき認知症対応型通所介護計画書を作成した上で、利用者(家族等)に内容を説明して提供しました。

(表 56) 小規模多機能の利用状況

[東が丘多機能] 登録定員：29人・通い定員：18人・泊まり定員：7人

項目 月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開所日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
契約者数	25	25	24	24	28	28	28	27	26	24	24	24	307
延契約者数	750	748	720	660	656	653	754	665	679	669	560	727	8,241
1日平均契約者数	25.0	24.1	24.0	21.3	21.2	21.8	24.3	22.2	21.9	21.6	20.0	23.5	22.6
登録率 (%)	86.2	83.1	82.8	73.4	73.1	75.2	83.8	76.6	75.5	74.5	69.0	81.0	77.9
通い利用者数	25	24	23	23	22	23	21	22	22	23	24	23	275
延通い利用者数	406	443	425	373	359	369	380	351	347	364	313	423	4,553

項目 月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
1日平均通い利用者数	13.5	14.3	14.2	12.0	11.6	12.3	12.3	11.3	11.2	11.7	11.2	13.6	12.4
通い利用率 (%)	75.0	79.4	78.9	66.7	64.4	68.3	68.3	62.8	62.2	65.0	62.2	75.6	68.9
宿泊利用者数	17	16	16	17	16	14	16	14	13	12	13	16	180
延宿泊利用者数	196	205	202	162	190	168	203	162	152	166	136	183	2,125
1日平均宿泊利用者数	6.5	6.6	6.7	5.2	6.1	5.6	6.5	5.4	4.9	5.4	4.9	5.9	5.8
宿泊利用率 (%)	93.3	94.5	96.2	74.7	87.6	80.0	93.5	77.1	70.0	76.5	69.4	84.3	83.2
訪問利用者数	8	7	8	8	8	13	10	8	9	8	10	11	108
延訪問回数 (回)	108	103	90	80	111	88	84	31	63	39	95	117	1,009
短期入所者数	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
延短期利用日数	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3

[東山多機能] 登録定員：29人・通い定員：18人・泊まり定員：7人

項目 月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開所日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
契約者数	27	27	27	26	26	25	25	25	23	24	24	25	304
延契約者数	708	789	774	736	762	743	757	721	690	698	650	667	8,695
1日平均契約者数	23.6	25.5	25.8	23.7	24.6	24.8	24.4	24.0	22.3	22.5	23.2	21.5	23.8
登録率 (%)	81.4	87.9	89.0	81.7	84.8	85.5	84.1	82.8	76.9	77.6	80.0	74.1	82.1
通い利用者数	25	25	26	25	25	25	22	25	21	24	24	24	291
延通い利用者数	427	453	457	438	473	454	455	443	418	397	402	448	5,265
1日平均通い利用者数	14.2	14.6	15.2	14.1	15.3	15.1	14.7	14.8	13.5	12.8	14.4	14.5	14.4
通い利用率 (%)	78.9	81.1	84.4	78.3	85.0	83.9	81.7	82.2	75.0	71.1	80.0	80.6	80.0
宿泊利用者数	12	12	12	13	13	12	13	14	12	13	15	13	154
延宿泊利用者数	163	175	181	190	207	191	197	190	163	156	163	184	2,160
1日平均宿泊利用者数	5.4	5.6	6.0	6.1	6.6	6.3	6.3	6.3	5.2	5.0	5.8	5.9	5.8
宿泊利用率 (%)	77.6	80.6	86.2	87.6	95.4	91.0	90.8	90.5	75.1	71.9	83.2	84.8	84.5
訪問利用者数	13	13	13	15	14	14	14	14	16	14	14	12	166
延訪問回数 (回)	190	173	154	183	207	186	214	207	197	203	208	207	2,329
短期入所者数	0	2	2	2	1	1	2	0	0	1	0	0	11
延短期利用日数	0	12	5	7	2	3	5	0	0	4	0	0	38

注1) 契約者数＝各月内に有効な契約期間が1日でも含まれていた契約者の数

注2) 延契約者数＝各月の開所日ごとの契約者の月の延べ数

注3) 1日平均契約者数＝延契約者数÷開所日数

注4) 登録率 (%)＝1日平均契約者数÷登録定員×100

注5) 利用者数＝各サービスを各月に1日でも利用した利用者の数

注6) 延利用者数＝各サービスの各日の利用者の月の延べ数

注7) 1日平均利用者数＝各サービスの延べ利用者数÷開所日数

注8) 利用率 (%)＝1日平均利用者数÷定員×100

注9) 延訪問回数＝各月に訪問サービスを行った延回数

注10) 介護予防小規模多機能居宅介護の利用者はない

(表 57) 認知デイの利用状況

[東が丘認知デイ] 定員：12人

項目 月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
	開所日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31
契約者数	21	21	21	20	21	21	22	23	24	24	26	28	272
延契約者数	282	277	303	298	310	282	277	272	279	272	259	312	3,423
1日平均契約者数	9.4	8.9	10.1	9.6	10.0	9.4	8.9	9.1	9.0	8.8	9.3	10	9.4
利用者数	21	21	21	20	21	23	22	23	22	24	26	28	272
延利用者数	204	213	228	202	261	232	247	178	209	214	212	263	2,663
1日平均利用者数	6.8	6.9	7.6	6.5	8.4	7.7	8.0	5.9	6.7	6.9	7.6	8.5	7.3
利用率(%)	56.7	57.5	63.3	54.2	70.0	64.2	66.7	49.2	55.8	57.5	63.3	70.8	60.8

[東山認知デイ] 定員：12人

項目 月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
	開所日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31
契約者数	25	27	31	31	32	30	30	28	26	25	25	27	337
延契約者数	290	327	353	358	360	348	350	319	301	291	254	283	3,834
1日平均契約者数	9.7	10.5	11.8	11.5	11.6	11.6	11.3	10.6	9.7	9.4	9.1	9.1	10.5
利用者数	24	27	28	30	30	30	27	26	24	23	24	24	317
延利用者数	252	274	315	291	306	285	285	263	236	191	208	218	3,124
1日平均利用者数	8.4	8.8	10.5	9.4	9.9	9.5	9.2	8.8	7.6	6.2	7.4	7.0	8.6
利用率(%)	70.0	73.3	87.5	78.3	82.5	79.2	76.7	73.3	63.3	51.7	61.7	58.3	71.7

注1) 契約者数＝各月内に有効な契約期間が1日でも含まれていた契約者の数

注2) 延契約者数＝各月の開所日ごとにその日を利用日とする契約者の月の延べ数

注3) 1日平均契約者数＝延契約者数÷開所日数

注4) 利用者数＝各月に1日でも利用をした利用者の数

注5) 延利用者数＝各日の利用者の月の延べ数

注6) 1日平均利用者数＝延べ利用者数÷開所日数

注7) 介護予防通所者数はいない

注8) 利用率(%)＝1日平均利用者数÷定員×100

(表 58) 利用者の年齢構成 (令和5年3月31日現在)

施設別 年齢層別	東が丘				東山			
	多機能		認知デイ		多機能		認知デイ	
	男	女	男	女	男	女	男	女
40～59歳	0	0	0	0	0	0	0	1
60～64歳	0	0	0	0	0	0	0	0
65～69歳	0	0	0	0	1	0	0	1
70～74歳	0	0	0	3	0	0	2	0
75～79歳	0	2	2	2	1	0	0	3
80～84歳	4	2	2	1	2	5	1	1
85～89歳	1	7	2	6	0	4	0	3
90～94歳	1	6	1	5	1	5	6	3
95～99歳	0	1	1	2	1	3	0	3

施設別 年齢層別	東が丘				東山			
	多機能		認知デイ		多機能		認知デイ	
	男	女	男	女	男	女	男	女
100歳～	0	0	0	1	0	1	0	0
合計	6	18	8	20	6	18	9	15
最低年齢	80	79	76	70	65	82	73	58
最高年齢	91	95	98	100	99	100	94	97
平均年齢	84.0	88.0	85.0	86.0	83.3	89.6	86.0	83.5
	86.0		85.5		86.4		84.5	

(表 59) 利用者の要介護状態区分 (令和 5 年 3 月 31 日現在)

施設別 区分別	東が丘				東山			
	多機能		認知デイ		多機能		認知デイ	
	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)
現在申請中	0	0.0	0	0.0	1	4.1	0	0.0
要支援 1	1	4.2	0	0.0	0	0	0	0.0
要支援 2	1	4.2	0	0.0	2	8.3	0	0.0
要介護 1	6	25.0	1	3.6	3	12.5	1	4.1
要介護 2	5	20.7	1	3.6	9	37.6	3	12.5
要介護 3	4	16.7	7	25.0	3	12.5	9	37.5
要介護 4	4	16.7	9	32.1	3	12.5	0	0.0
要介護 5	3	12.5	10	35.7	3	12.5	11	45.9
合計	24	100.0	28	100.0	24	100.0	24	100.0

(表 60) 平均介護度の推移

施設別 年度別	東が丘		東山	
	多機能	認知デイ	多機能	認知デイ
令和 4 年度	2.5	3.9	2.5	3.7
令和 3 年度	2.9	3.6	2.5	3.3
令和 2 年度	2.5	3.5	2.6	3.0

注 1) 平均介護度計算 要支援 1・2 は 0.375、として計算します。

(1) 介護サービス

利用者の心身の状況、心理状況に応じた援助を行いました。

(表 61) 日常生活動作等の状況 (令和 5 年 3 月 31 日現在)

施設別 状況別	東が丘				東山				
	多機能		認知デイ		多機能		認知デイ		
	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	
契約者数	24		28		24		24		
内訳	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	
食事介助	自立	20	83.3	2	7.5	17	70.9	6	25.0
	見守り等	2	8.3	10	37.0	2	8.3	5	20.8
	一部介助	2	8.3	10	37.0	3	12.5	7	29.2
	全介助	0	0.0	5	18.5	2	8.3	6	25.0

施設別 状況別		東が丘				東山			
		多機能		認知デイ		多機能		認知デイ	
契約者数		24		28		24		24	
内訳		人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)
口腔ケア	自立	18	75.0	2	7.0	16	66.7	7	29.2
	一部介助	6	25.0	12	43.0	5	20.8	6	25.0
	全介助	0	0.0	14	50.0	3	12.5	11	45.8
入浴介助	自立	5	20.8	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	一部介助	15	62.5	9	45.0	17	85.0	9	42.8
	全介助	4	16.7	11	55.0	3	15.0	12	57.2
	(機械浴)	0	0.0	1	5.0	2	10.0	9	42.9
	(リフト浴)	4	16.7	18	90.0	2	10.0	4	16.7
移動介助	自立	8	33.3	1	3.0	10	41.7	0	0.0
	見守り等	9	37.5	5	18.0	4	16.7	10	41.7
	一部介助	4	16.7	10	36.0	6	25.0	3	12.5
	全介助	3	12.5	12	43.0	4	16.6	11	45.8
	(車椅子使用者)	3	12.5	12	43.0	4	16.6	11	45.8
移乗介助	自立	12	50.0	1	3.0	12	50.0	1	4.2
	見守り等	7	29.2	3	11.0	7	29.2	10	41.6
	一部介助	5	20.8	12	43.0	3	12.5	1	4.2
	全介助	0	0.0	12	43.0	2	8.3	12	50.0
着脱介助	自立	16	66.7	0	0.0	4	16.7	1	4.2
	見守り等	3	12.5	2	7.0	3	12.5	5	20.8
	一部介助	0	0.0	0	0.0	14	58.3	6	25.0
	全介助	5	20.8	26	93.0	3	12.5	12	50.0
排泄介助	自立	10	41.7	1	3.0	13	54.2	3	12.5
	見守り等	3	12.5	2	7.0	2	8.3	4	16.7
	一部介助	8	33.3	7	25.0	7	29.2	5	20.8
	全介助	3	12.5	18	65.0	2	8.3	12	50.0

(2) 入浴サービス

入浴を希望される利用者に週1~2回実施しました。入浴ではプライバシーに配慮し、利用者の障害や健康状態に応じて、機械浴・リフト浴・一般浴により行いました。

(3) 食事サービス

食事は、管理栄養士が作成したメニューに基づき常食のほか、主食では粥・ミキサー食等、副食では刻み食・極刻み食・ミキサー食等、利用者の咀嚼（そしゃく）機能、消化・吸収機能等の身体状況に合わせて提供しました。

なお、アレルギーなどで食べられない食品がある場合は、他の食品に代えて提供しました。

(表 62) 利用者の食事形態 (令和 5 年 3 月 31 日現在)

形態別		東が丘		東山	
		多機能	認知デイ	多機能	認知デイ
主食	米飯	19	16	19	12
	全粥	5	8	5	6
	パン	19	0	0	1
	パン・粥ミキサー	3	3	0	2
副食	常食	17	8	17	9
	刻み	7	10	5	7
	極刻み	0	6	1	5
	ミキサー食	0	3	1	2
経管栄養		0	1	0	3
その他 (持参)		0	0	0	0

注 1) 糖尿病・腎臓病等については別に個別対応

(4) 機能訓練サービス

利用者が日常生活を営むのに必要な筋力の維持・向上を図るための訓練を実施し、在宅で主体的な生活を送り、また、社会参加ができるよう援助を行いました。

機能訓練の実施には、看護師や機能訓練指導員が関わる機会を作り、機能訓練の質の向上を図りました。

(5) アクティビティサービス

レクリエーション・趣味活動・体操・行事などの活動を通して、利用者相互の交流を深め、生きがいのある快適で豊かな日常生活を送れるよう支援しました。活動内容については利用者にアンケートを実施し、利用者自身が活動を選択し希望の活動に参加することにより、精神的満足度を高められる体制を整えました。新型コロナの感染予防のため、行事計画を見直し、内容の変更や規模を縮小して実施しました。また、ボランティアの受け入れについては理美容のみとし、他の受け入れは年間をとおして中止としました。

(表 63) 主な実施行事

月	東が丘		東山	
	多機能	認知デイ	多機能	認知デイ
4	・お花見 ・防災訓練	・お花見 ・中庭散歩	・お花見 ・お花見弁当	・お花見
5	・菖蒲湯 ・防災訓練	・菖蒲湯 ・音楽レクリエーション	・香り湯 ・端午の節句 ・園芸 ・防災訓練	・菖蒲湯 ・壁掛け作品作り
6	・近隣ドライブ (駒沢公園) ・防災訓練	・しいの木喫茶 &おやつ作り ・近隣散歩(区民キャンパス内公園)	・バイオリンコンサート ・防災訓練	・避難訓練(火災想定) ・小外出(中目黒) ・家族見学、相談会 ・壁掛け作品作り ・防災訓練
7	・七夕 ・防災訓練	・七夕 ・書道 ・音楽レクリエーション	・七夕ウィーク ・バイオリンコンサート ・防災訓練	・七夕 ・壁掛け作品作り
8	・夏祭り ・防災訓練	・夏祭り ・音楽レクリエーション	・けやき夏祭り (3日間)	・納涼会(3日間) ・壁掛け作品作り

月	東が丘		東山	
	多機能	認知デイ	多機能	認知デイ
9	・敬老会 ・防災訓練	・敬老会 ・音楽レクリエーション ・防災訓練	・敬老週間 ・バイオリンコンサート ・防災訓練	・敬老会 ・壁掛け作品作り
10	・運動会 ・防災訓練	・中庭キャンプ ・バーチャル散歩 ・音楽レクリエーション ・防災訓練	・貝塚祭り ・防災訓練	・ドライブ(東京タワー) ・壁掛け作品作り
11	・秋を感じる会 (近隣公園へドライブ) ・防災訓練	・歌声喫茶 ・おやつ作り ・音楽レクリエーション ・防災訓練	・運動会 ・天空公園収穫祭 ・防災訓練	・ドライブ(神宮外苑) ・運動会 ・壁掛け作品作り ・避難訓練(火災想定)
12	・望年会 ・ゆず湯 ・防災訓練	・望年会 ・ゆず湯 ・音楽レクリエーション ・アロマの会 ・防災訓練	・ゆず湯 ・望年会 ・出前を楽しむ会 ・防災訓練	・ゆず湯 ・望年会 ・壁掛け作品作り
1	・新年会 (マジックショー) ・初詣 ・防災訓練	・初詣 ・新年会 ・書き初め ・歌声喫茶 ・アロマの会 ・防災訓練	・初詣(祐天寺等周辺 神社) ・紅白雪合戦とお汁粉 ・新春バイオリン コンサート ・防災訓練	・初詣外出(祐天寺) ・お正月 ・お汁粉作り(中止) ・ドライブ (駒沢公園) ・壁掛け作品作り
2	・節分 ・防災訓練	・節分 ・音楽レクリエーション ・アロマの会 ・防災訓練	・節分 ・バイオリンコンサート ・防災訓練	・節分 ・壁掛け作品作り
3	・ひな祭り ・お花見 ・防災訓練	・ひな祭り ・茶話会 ・お花見 ・アロマの会 ・防災訓練	・ひな祭り ・そして100年の 音楽会 ・お花見ウィーク ・お花見弁当 ・防災訓練	・ひな祭り ・家族懇談会 ・お花見

(6) 生活相談

利用者・家族が安心して在宅生活を継続できるよう、認知デイでは居宅介護支援事業所のケアマネジャー等とも連携を図り、介護、健康、栄養等について個別に助言を行い相談に応じました。

(7) 健康状態の確認

活動前のバイタルチェック、月1回の体重測定を実施しました。また、利用中の体調変化等の疾病の早期発見に努め、健康状態に変化があった場合は家族へ連絡しました。

新型コロナに対する予防対策や感染症対策を「新型コロナウイルス感染症等対応事業継続計画」に基づき実施を徹底しました。また、大規模接種会場場で新型コロナのワクチンを希望する利用者の送迎を実施しました。

高齢者施設の施設内で業務する全従業者を対象にPCR検査を毎週実施しました。

(表 64) 新型コロナ感染症発生状況 (延人数)

区分	東が丘		東山	
	多機能	認知デイ	多機能	認知デイ
利用者	8	7	2	6
職員	5	5	3	10

(8) 家族との連携の充実

在宅介護の支援と情報提供を行うとともに、連絡ノート等を活用し利用者の在宅生活の状況や体調変化を共有できるよう家族との連絡を密にしました。新型コロナの影響により家族懇談会は開催できませんでしたが、懇談会の代わりに家族アンケートを実施し、ご希望のある方には個別面談を実施しました。

5 運営管理

(1) 会議・委員会

特別養護老人ホーム、居宅介護支援事業所等が併設されている施設機能を有効に活用し、職員相互の理解と協力により利用者のニーズに応えるとともに、合理的な施設運営を行うための意見交換ならびに検討の場として各種会議・委員会を開催しました。

施設間の会議については、感染症予防対策のためWEB会議も活用しながら開催しました。

(表 65) 各種会議・委員会

施設合同会議		
会議名	内容	開催回数
在宅担当者会議	2 施設共通の課題の検討、事業の報告等を実施しました。	年 5 回（紙面 3 回、関係機関のみ 1 回、WEB と対面を活用 1 回）

施設共通会議・委員会		
会議名	内容	開催回数
課長会議	事業計画の方針、実施結果の評価など施設運営全般に関する事項を協議、決定しました。	月 1～2 回
施設運営会議	施設運営全般に関する事項の具体的な審議、事業計画方針に基づく具体的な内容の検討をしました。	月 1 回
防災会議	毎月 1 回防災巡回を実施し、改善点の検討、訓練の具体的な内容の検討、意見調整等を行い、効果的な訓練を実施	月 1 回
感染症対策会議	感染症の予防対策と発生時の対応を検討しました。定期的、臨時に会議を開催し感染症拡大を未然に防ぐ為の対策を検討・実施	3 月に 1 回
多機能会議	利用者サービス・業務に関すること	月 1 回
デイホーム会議（認知）	利用者サービス・業務に関すること	月 1 回
ケース会議	通所介護計画の作成・検討・評価	月 1～2 回
サービス担当者会議	小規模多機能居宅介護計画書の作成・検討・評価	月 1～2 回
研修委員会	研修開催についての検討実施	月 1 回
苦情解決委員会	苦情要望の内容について検討実施	月 1 回
衛生委員会	職員の安全と健康を確保するため、労働安全衛生の管理に関し、産業医の助言を受けて検討・実施	月 1 回
人権委員会	虐待防止・個人情報保護・成年後見人について実施	月 1 回
事故防止委員会	発生した事故やヒヤリハットを分析し、介護事故防止のための対策を検討し、防止策を周知・実施	2 月に 1 回
腰痛予防委員会	職員の安全と健康を確保するため、労働安全衛生の管理に関し、産業医の助言を受けて検討・実施	2 月に 1 回
省エネ委員会	施設における省エネ対策を検討・実施	年 3 回

(2) 研修

職員の資質向上のため、施設内で年間研修計画を作成し、感染症予防対策を講じて計画的に研修を実施するとともに、日常の業務を通しての OJT を実施しました。また、多くの研修が中止等になりましたが、東京都社会福祉協議会、官公署その他の関係団体が実施する外部の研修（WEB 研修を含む）に参加しました。

事業団が毎年委託にて実施する職層研修は、今年度も予定通り実施され対象職員が参加しました。

(表 66-1) 外部研修

[東が丘]

研修名	主催等	参加人数
介護職員のためのスキルアップ研修	目黒区	4
認知症対応型サービス事業管理者研修	東京都社会福祉協議会	1
東京都認知症介護実践者研修	東京都社会福祉協議会	1
高齢者虐待防止研修	東京都福祉保健財団	1
西部地区ケアマネジャー研修会	西部包括支援センター	2
認知症研修会	西部包括支援センター	2
機能訓練オンライン研修	東京都社会福祉協議会	1
体圧分散ポジショニング研修	株式会社モルテン	1

[東山]

研修名	主催等	参加人数
在宅療養研修	北部包括支援センター	1
居宅介護支援専門員 専門研修Ⅰ 専門研修Ⅱ	東京都福祉保健財団	3 3
高齢者虐待防止研修	高齢者権利擁護支援センター	1
小規模多機能、看護小規模多機能について	目黒区事業所連絡会 短期入所・地域密着型分科会	1
介護職員のためのスキルアップ研修	目黒区	16
発達障害を正しく知り、事例を通し本人そして 家族への支援方法を学ぶ	ケアマネ分科会	1
BPSD ケアプログラム研修	目黒区健康福祉部福祉総合課	1

(表 66-2) 主な施設内研修実施回数（全職員対象）

研修名	研修内容	東が丘	東山
新規職員研修	人権、個人情報、接遇マナー、認知症、 事故防止、プライバシー保護	0回	1回
	他職種研修（移乗・ポジショニング、 自立支援、腰痛予防、栄養、感染症、 ケアプラン作成	0回	1回
職層研修	中堅職員研修、指導職員研修 管理職員研修	3回	4回
人権研修	人権・虐待防止・個人情報保護、ハラス メント	2回	2回
身体的拘束適正化研修	身体的拘束の適正化、指針に基づいた 研修内容	2回	2回
リスクマネジメント研修	事故防止・大規模災、苦情対応害等	2回	2回

研修名	研修内容	東が丘	東山
感染症予防研修	食中毒予防、感染性胃腸炎やインフルエンザへの対応	2回	3回
介護技術研修	サービスマナー研修、ポジショニング研修、食事介助・栄養研修	2回	2回
緊急対応研修	緊急対応（事例検討含む）	1回	個別
認知症研修	認知症についての理解、周辺症状等について	2回	個別
レクリエーション研修	各状況に応じたレクリエーションの紹介、各フロアでの情報交換等	2回	0回
個人情報保護研修	個人情報保護について	1回	1回
申し送り・報連相研修	マニュアルを使用しポイントを確認する	1回	0回

(3) 苦情・要望

事業所ごとにサービス内容に関する相談や苦情の窓口及び責任者を設置し、規程により要望・苦情等に速やかに対応できる体制を整えています。

(表 67) 苦情・要望の件数

施設別 区分	東が丘		東山	
	多機能	認知デイ	多機能	認知デイ
苦情件数	4	0	1	0
処理件数	4	0	1	0
要望件数	0	0	1	0

(4) 安心、安全なサービス提供

各施設において身体拘束を行うことなく、また、事故の防止に努め安心で安全な環境を提供しました。

高齢者を介護・支援する過程においては、事故が起こる可能性が常にあるため、安全な環境かどうか常に見直しを行い、介助方法の統一を図りケアプランに基づいた安心・安全なサービス提供を行いました。

(表 68) 事故件数

施設別 区分	東が丘		東山	
	多機能	認知デイ	多機能	認知デイ
事故総数（転倒・外傷等）	10 (4)	3 (0)	13 (2)	5 (1)
ヒヤリハット	21	23	9	8

注1) () 内は事故総数のうち、通院し医療機関で治療検査受けかつ目黒区に届け出た件数

注2) ヒヤリハット・・・事故に至らないが、事故になりそうな状態

(5) 個人情報保護

当事業団における個人情報保護規程に基づいて個人情報の利用目的を明示し、全利用者に対して説明の上、同意を得て個人情報を取り扱いました。

情報開示については、事業団の情報開示規程に基づき行います。

(表 69) 情報開示申請数

施設別 申請数	東が丘		東山	
	多機能	認知デイ	多機能	認知デイ
情報開示申請数	0	0	0	0

(6) 利用前の事前説明

利用にあたっては、利用前に自宅へ訪問し、契約書・重要事項説明書、サービス内容やサービス提供体制などについて、理解していただけるように説明しました。また、小規模多機能型居宅介護計画書や認知症対応型通所介護計画書の作成に当たっては、利用者の要望に沿って作成し、丁寧に説明を行い利用者の承諾を得る等、利用者が利用に際して意思決定がスムーズにできるように支援しました。

小規模多機能型居宅介護の利用開始にあたっては、サービスに関しての説明を十分に行い、利用がスムーズに移行できるように、利用前のケアマネジャーや利用事業所からの引継ぎ等を密に行い、居宅サービス計画書を作成しました。

(7) 防災対策

消防法の規定により策定した消防計画に基づき、感染症予防のため規模を縮小するなど内容を変更し、職員及び利用者による避難、通報、消火等の訓練を行いました。地元の町会・自治会、消防署、消防団等の参加による総合訓練は中止しました。

(8) 地域との交流・ボランティアの受入

新型コロナへの感染予防対策を講じ、理・美容、バイオリン演奏や、夏体験ボランティアなどを受け入れました。

(表 70) ボランティアの受入状況

施設別 内容別	東が丘				東山			
	多機能		認知デイ		多機能		認知デイ	
	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数
生活支援	0	0	0	0	0	0	0	0
クラブ活動支援	0	0	0	0	0	0	0	0
技術支援	1	11	1	15	1	16	1	24
定例行事支援	0	0	0	0	3	3	3	3
行事支援	0	0	0	0	2	16	0	0

注 1) 生活支援・・・散歩、話し相手、清掃、洗濯たたみなど

注 2) 技術支援・・・理美容

(9) 運営推進会議

令和 4 年度は、関係機関や地域の方からのご意見をいただき、定期的に開催しました。また、運営推進会議を活用した、外部評価を実施しました。

第3 ケアプランセンター

各ケアプランセンターともに介護保険法に基づく指定居宅介護支援事業所（東が丘、東山は特定事業所加算Ⅲ）として、居宅サービス計画（ケアプラン）の作成等を行うとともに、質の高いケアマネジメントの実施ならびに安定的な事業運営の実施に向け、継続的に知識・技術の向上に取り組みました。

また、地域包括支援センターから依頼を受け、支援困難者の居宅サービス計画及び介護予防サービス支援計画の作成等を行いました。さらに、地域包括支援センターと連携・協力し、地域で暮らす要介護者などの在宅生活の支援を総合的に行いました。

1 令和4年度重点項目の具体的な取組み

事業計画	具体的な取組みと結果
(1) ケアプランセンターについて、利用率の向上、業務拡大などにより事業収益を確保していきます	利用率を向上させることができましたが、サービスの充実、効率化に向けた各センター職員1名増の4名体制とする業務拡大はできませんでした。
(2) 個別の計画は、利用者ニーズを踏まえて作成し、計画に沿ったサービス・支援を行い、生活の質の向上を図ります	利用者が置かれている様々な状況に合わせ「利用者本人による自己決定」を大切にしながら自立支援に資するケアマネジメントを実施しました。また、本人のみならず家族支援の視点も意識しながら対応しました。
(3) 各職種に必要な研修の実施並びに研修を積極的に受講し、専門性の向上を図ります	各職員が各種研修に参加し対人援助職、介護支援専門員としてのスキルをさらに向上させました。また、各所での毎日のミーティングをはじめ、ケース会議、センター会議を通し職員間の連携を図り専門性を高めました。

(表 71) 利用率 (%)

施設別 年度別	東が丘	東山	さんホーム目黒
令和4年度	82.1	80.0	99.5
令和3年度	83.5	72.4	96.2
令和2年度	74.3	65.4	73.7

注) 利用率 (%) = (ケアプラン作成件数 + 予防プラン作成件数 / 2) ÷ 介護支援専門員担当上限数合計 1,404 件

2 第三者評価・利用者アンケート等からの改善結果

(1) 東が丘

改善事項	具体的な取組みと結果
利用者に向き合う時間をさらに確保するため、パソコンシステムの更なる活用が望まれる	各事業所への FAX 文書送信がより効率的できるように、書式と送信方法を工夫しました。支援経過記録、アセスメントシートやサービス担当者会議の記録方法を互いに確認しあって標準化と効率的な記録の方法に努めました。

(2) 東山

改善事項	具体的な取組みと結果
自助、共助の取り組みへの支援を意識する	出来ることは自分でしたいと望む利用者、出来ることは協力したいと望む家族に対して、その能力を引き出し寄り添う支援、介護保

改善事項	具体的な取り組みと結果
自助、共助の取り組みへの支援を意識する	険の他、医療その他の社会保険制度と絡め、ACP（意思決定支援）も意識しつつ多職種と連携し可能な限り住み慣れた地域で暮らし続けたいと望む利用者へ支援を行いました。一方、介護を担う家族が疲弊した時には労い寄り添いながら、解決方法を一緒に考えました。

(3) さんホーム目黒

改善事項	具体的な取り組みと結果
利用者の不安や迷いに寄り添った支援を継続する	訪問先でも過去の相談履歴や介護保険情報などが確認できるように、「すぐろくケアマネ」アプリを搭載した携帯端末とWi-Fiを訪問先へ持参し、迅速にプランの提示等を行い、利用者の不安に寄り添った支援を行いました。

3 居宅介護支援事業

(1) 居宅サービス計画の作成

居宅サービス計画（ケアプラン）作成においては利用者宅を訪問し、利用者及び家族に面接して要望・意見を聞き取り、支援するうえで解決すべき課題の把握及び分析を行い、介護保険法の自立支援の観点に立って作成しました。また、毎日のミーティングでケース報告を丁寧に時間をかけて行い、作成したケアプランが「自立支援」に資する適切なものであるか、運営基準、解釈通知に適合しているかを職員相互で検証しました。

(2) サービス事業者との連絡調整

当該地域における居宅サービス事業の内容を把握するために、事業者連絡会に積極的に参加し、情報収集に努めるとともに、サービスを安定して提供できるように事業者との連絡調整を行いました。特に併設のサービス事業所（通所介護・短期入所生活介護等）とはその利点を活かし、利用者情報の交換を積極的に行いました。

(3) 居宅サービス計画の実施状況把握

居宅サービス計画作成後においても、利用者宅を訪問して課題把握を行い、居宅サービス計画の実施状況把握に努めました。把握した課題について所のミーティングにて検討し、他職員からの助言や意見を活かし改善に努めました。

前年度に引き続き、新型コロナの感染予防のため、訪問から電話に切り替えて課題の把握を行うなど非日常下においても柔軟に対応しました。

(4) サービス担当者会議の開催

居宅サービス計画を効果的なものとするために、必要に応じてサービス担当者会議を開催し、広く利用者・家族及びサービス担当者、関係者から意見を求めました。

前年度に引き続き、新型コロナの感染予防のため、書面にての開催が多くなりました。

(5) サービス提供方法の説明等

制度やサービスの内容については、パンフレット等を活用し分かりやすい説明に努めました。利用者が複数のサービス事業者紹介やサービス事業者等の選定理由の説明を求めることができることを契約書に記載し、利用者に説明しました。

(表 72) ケアプラン作成件数 (要介護のみ)

[東が丘]

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
契約件数		96	95	92	92	92	93	90	92	97	98	98	94	1,129
介護給付実績件数	要介護 1	43	41	42	41	40	38	40	38	42	40	41	42	488
	要介護 2	23	22	20	19	21	20	21	22	20	20	23	20	251
	要介護 3	19	19	18	18	18	16	16	16	18	18	16	15	207
	要介護 4	7	6	5	7	7	7	6	6	6	8	8	7	80
	要介護 5	3	4	7	6	6	6	5	4	4	4	5	4	58
	合計	95	92	92	91	92	87	88	86	90	90	93	88	1,084
	利用率 (%)	90.5	87.6	87.6	86.7	87.6	82.9	83.8	81.9	85.7	85.7	88.6	83.8	86.0
新規契約件数		3	1	1	2	3	4	2	2	6	5	2	0	31
契約終了件数		2	4	2	3	3	5	0	1	4	2	4	23	53
契約終了理由	非該当へ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	要支援へ	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1	4
	施設入所	1	0	1	2	1	2	0	0	1	0	2	1	11
	長期入院	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	2
	死亡	1	1	1	1	1	1	0	0	0	1	2	1	10
	その他	0	2	0	0	1	0	0	1	3	0	0	19	26

[東山]

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
契約件数		90	95	95	98	97	97	99	101	101	98	101	103	1,175
介護給付実績件数	要介護 1	33	33	34	36	37	39	39	40	43	43	42	42	461
	要介護 2	24	24	23	26	23	21	22	22	20	19	22	25	271
	要介護 3	16	15	15	16	15	13	14	15	14	14	14	15	176
	要介護 4	8	9	8	8	7	7	8	7	8	5	6	7	88
	要介護 5	7	8	8	8	9	10	9	9	8	8	10	9	103
	合計	88	89	88	94	91	90	92	93	93	89	94	98	1,099
	利用率 (%)	83.8	84.8	83.8	89.5	86.7	85.7	87.6	88.6	88.6	84.8	89.5	93.3	87.2
新規契約件数		4	5	2	5	3	4	4	4	1	0	6	3	41
契約終了件数		0	2	2	2	4	1	2	1	2	3	1	0	20
契約終了理由	非該当へ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	要支援へ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	施設入所	0	2	2	1	1	0	2	0	1	0	0	0	9
	長期入院	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	死亡	0	0	0	1	0	1	0	0	0	3	1	0	6
	その他	0	0	0	0	2	0	0	1	1	0	0	0	4

[さんホーム目黒]

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
契約件数		103	105	103	101	102	105	107	104	105	110	108	104	1,257	
介護給付実績件数	要介護1	55	52	54	54	56	55	56	52	55	53	51	55	648	
	要介護2	19	17	21	21	23	21	21	25	20	22	18	19	247	
	要介護3	10	11	11	11	10	12	14	15	18	19	15	13	159	
	要介護4	11	16	12	13	16	13	12	11	12	12	11	11	150	
	要介護5	3	6	3	3	4	3	3	3	3	4	2	1	38	
	合計	98	102	101	102	109	104	106	106	106	108	110	97	99	1,242
	利用率(%)	93.3	97.1	96.2	97.1	103.8	99.0	101.0	101.0	102.9	104.8	92.4	94.3	98.6	
新規契約件数		9	6	4	6	4	4	6	1	6	6	3	0	55	
契約終了件数		4	3	6	3	1	4	4	5	1	5	4	1	41	
契約終了理由	非該当へ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	要支援へ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	施設入所	2	1	1	0	0	1	1	2	0	2	1	1	12	
	長期入院	0	1	4	0	0	0	1	0	1	0	1	0	8	
	死亡	2	1	0	1	1	2	1	2	0	1	1	0	12	
	その他	0	0	1	2	0	1	1	1	0	2	1	0	9	

注1) 利用率(%)=プラン作成件数÷介護支援専門員担当上限数合計 105 件

注2) 月遅れ請求の場合は、国保連へ請求した月に計上

4 介護予防支援事業

包括支援センターとの契約に則り、利用者本位の自立した生活が送れるよう支援しました。

内容は居宅介護支援事業と同様です。

(表 73) 予防プラン作成件数 (要支援のみ)

[東が丘]

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
受託件数		11	11	12	11	10	10	11	11	11	11	16	16	141
予防給付実績	要支援1	5	5	5	5	6	6	7	5	8	6	7	7	72
	要支援2	5	5	6	6	5	4	3	3	4	6	9	9	65
	合計	10	10	11	11	11	10	10	8	12	12	16	16	137
	利用率(%)	41.7	41.7	45.8	45.8	45.8	41.7	41.7	33.3	50.0	50.0	66.7	66.7	47.6
新規受託件数		0	0	1	0	1	0	1	0	0	1	5	0	9
受託終了件数		0	0	1	2	0	0	0	0	1	0	0	8	12
受託終了理由	非該当へ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	要介護へ	0	0	1	2	0	0	0	0	1	0	0	0	4
	施設入所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	長期入院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	死亡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	8

〔東山〕

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
受託件数		12	11	10	11	11	10	9	9	10	10	10	10	123
予 防 給 付 実 績	要支援1	5	4	4	5	5	4	4	4	4	4	4	4	51
	要支援2	7	7	6	6	6	6	5	5	6	6	6	6	72
	合計	12	11	10	11	11	10	9	9	10	10	10	10	123
	利用率(%)	50.0	45.8	41.7	45.8	45.8	41.7	37.5	37.5	41.7	41.7	41.7	41.7	42.7
新規受託件数		0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	2
受託終了件数		0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	3
受託 終了 理由	非該当へ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	要介護へ	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	施設入所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	長期入院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	死亡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1

〔さんホーム目黒〕

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
受託件数		39	38	34	32	28	25	23	23	22	21	19	19	323
予 防 給 付 実 績	要支援1	13	13	13	10	8	9	9	8	9	8	8	8	116
	要支援2	25	23	19	18	16	16	13	14	13	13	13	12	195
	合計	38	36	32	28	24	25	22	22	22	21	21	20	311
	利用率(%)	158.3	150.0	133.3	116.7	100.0	104.2	91.7	91.7	91.7	87.5	87.5	83.3	108.0
新規受託件数		0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2
受託終了件数		1	2	2	4	3	2	2	1	1	2	0	1	21
受託 終了 理由	非該当へ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	要介護へ	1	0	0	2	2	1	2	1	0	2	0	0	11
	施設入所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	長期入院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	死亡	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2
	その他	0	1	2	2	1	0	0	0	0	1	0	0	1

注1) 利用率(%)=プラン作成件数÷介護支援専門員担当上限数合計 24件

注2) 月遅れ請求の場合、国保連へ請求した月に計上

5 介護保険認定調査

目黒区や他市区町村との契約に則り、介護保険認定調査を行いました。

(表 74) 介護保険認定調査件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
東が丘	1	1	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	15
東山	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
さんホーム目黒	1	3	2	0	3	2	3	3	3	3	2	3	28

6 運営管理

(1) 会議・委員会

利用者サービス向上と施設運営を円滑に行うため、包括担当部内で必要に応じて各種会議を開催しました。

また、併設する特別養護老人ホームとは、施設環境や防災体制の整備に協同で取り組みました。

(表 75) 各種会議

[東が丘・東山・さんホーム目黒共通]

会議名	内容	開催回数
ケアプランセンター 担当者会議	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアプランセンター事業運営全般の検討・調整 ・重点項目、改善事項についての進捗報告 ・危機管理に関すること ・苦情に関すること ・オンライン開催 	1回/2ヶ月
ケアプランセンター 所長会	<ul style="list-style-type: none"> ・業務の見直し及び評価、連絡調整、情報交換 ・オンライン開催 	1回/2ヶ月
ケアプランセンター 会議	<ul style="list-style-type: none"> ・業務の見直し及び評価、連絡調整、情報交換 	第1・3週
ケース会議	<ul style="list-style-type: none"> ・ケースにかかる課題分析・解決策の検討 ・利用者のニーズに基づくケアプランの作成・検討・評価 	月1回

注1) さんホーム目黒におけるケアプランセンター会議及びケース会議の開催は、適宜での開催。

(2) 研修

職員の資質向上のため、東京都、目黒区その他の関係団体が実施する外部の研修に積極的に参加したほか、部内・センター内でも職場研修を実施しました。またこれらの研修のほか、日常の職務を通してのOJTに努めました。

(表 76-1) 外部研修

研修名	主催者	東が丘	東山	さんホーム 目黒
目黒区主任介護支援専門員連絡会研修	目黒区	2	4	4
目黒区認定調査員現任研修	目黒区	4	0	0
地区介護支援専門員連絡会幹事会研修	包括支援センター	1	1	0
地区高齢者虐待防止研修	包括支援センター	1	1	1
地区認知症地域支援連絡会	包括支援センター	2	1	1
地区多職種研修	包括支援センター	3	1	1
事業者連絡会全体会研修(年5回)	目黒区事業所連絡会	5	5	5
事業者連絡会ケアマネ研(年4回)	目黒区事業者連絡会 ケアマネ分科会	12	12	8
目黒区在宅医療と介護の連携に関する研修	目黒区福祉総合課	3	0	1
介護サービス事業管理者高齢者権利擁護研修	東京都	1	1	0
東京都介護支援専門員更新研修	東京都	1	0	0
東京都入退院連携強化研修	東京都	0	1	0
令和4年度社会福祉事業従事者人権研修	東京都	0	3	0

研修名	主催者	東が丘	東山	さんホーム 目黒
特定事業所合同研修・事例検討会	地区特定事業所	6	3	3
目黒区介護支援専門員現任研修	目黒区介護保険課	3	1	2
目黒区主任介護支援専門員研修	目黒区介護保険課	1	3	1
高次脳機能障害者研修	包括支援センター	1	0	0
目黒区高次脳機能障サポーター研修	目黒区	2	3	0

(表 76-2) 法人研修 (再掲)

研修名	対象	東が丘	東山	さんホーム 目黒
職層研修 中堅研修 (インソース)	対象者	0	1	0
職層研修 新人研修	対象者	0	1	0
職層研修 入社2年目研修 (インソース)	対象者	0	1	0

(表 76-3) 法人包括・施設部内・センター内研修

研修名	講師	東が丘	東山	さんホーム 目黒
対人援助援助職実務者現任研修	外部講師	1	3	2
介護支援専門員現任研修	施設部内講師	3	3	3
人権研修	施設部内講師・ケア プランセンター所長	2	0	1
センター内研修	施設部内講師・ケア プランセンター職員	36	36	0
部内職層研修	施設部内講師	2	0	0

(3) 苦情・要望

(表 77) 苦情・要望の件数

区分	施設別	令和4年度			令和3年度		
		東が丘	東山	さんホーム 目黒	東が丘	東山	さんホーム 目黒
苦情件数		0	0	0	0	0	
要望件数		0	0	0	0	0	

(4) 防災対策

感染症対策は併設する特別養護老人ホームと連携して取り組みました。また、防災対策においても、防災訓練、継走訓練への参加をとおり災害発生時に備えました。

大規模災害発生時に備え、利用者安否確認名簿を作成・更新し、安否確認への備えを行いました。

(5) 実習生・研修生等の受け入れ

(表 78) 実習生等の受入状況

実習名	実習者	東が丘	東山	さんホーム 目黒
介護支援専門員実務研修実習	介護支援専門員実務研修受講者	1	2	0

第4 心身障害者センター

障害に関わる各種相談、デイサービス等の生活支援など、心身障害者に対して総合的なサービスを提供しました。

新型コロナに係る所定の感染予防対策は、年間を通して、徹底して実施しました。

1 令和4年度重点項目の具体的な取り組み

事業計画	具体的な取り組みと結果
(1) 心身障害者センター事業の見直しを行います	個別のショートリハビリを強化したところ、利用者が効果を実感し、リハビリへの目的意識が高まり、積極的にリハビリを行う方が増えるなどの効果がありました。また、新たな工芸素材（レジン）の導入など多様なニーズに対応し活動の充実を図りました。結果として昨年度より利用率を向上させることができました。
(2) 区の出資によって設立された社会福祉法人として、区立施設としての役割を積極的に果たすことを基本に事業運営を行います	新型コロナ対応も含めた健康管理に努めた結果、医療的ケアの利用者を含めて体調不良での長期欠席者はなく、90%を超える利用率を確保しました。また、区の担当者と定期的に情報交換を行い、医療的ケア対応について情報共有し、サービスの充実に努めました。

2 第三者評価・利用者アンケート等からの改善事項

改善事項	具体的な取り組みと結果
施設の考え方や職員の思いなどを情報発信し、家族との信頼関係をさらに高めます	ご家族に対し、生活介護だよりの発行やフォトカードを配付し、利用者の施設での活動の様子を分かりやすくお伝えしました。

3 サービス内容

(1) 障害者総合支援法に基づく事業

① 特定相談支援事業

ア 計画相談支援

相談支援専門員が、障害福祉サービス利用に関するサービス等利用計画の相談、作成等に対応しました。

(表 79-1) 計画相談件数

相談件数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
		186	227	269	272	277	280	302	328	339	286	322	361

(表 79-2) 計画相談内容件数（重複計上）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
居宅介護	52	63	60	74	100	113	116	125	118	117	162	153	1,253
重度訪問介護	4	3	7	9	6	5	9	13	12	4	19	8	99
同行援護	0	0	3	2	0	3	0	3	9	8	4	7	39
行動援護	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
療養介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
生活介護	15	28	32	19	39	24	35	53	42	43	44	50	424
短期入所	22	30	31	41	63	48	48	59	82	76	96	124	720

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
重度障害者等包括支援	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3
グループホーム	38	66	67	76	97	79	101	96	106	88	93	89	996
施設入所支援	10	16	14	9	13	10	11	11	5	6	16	31	152
自立訓練	8	7	10	6	13	13	6	9	10	2	7	3	94
就労移行支援	19	6	12	19	4	11	12	26	50	23	52	39	273
就労継続支援	44	61	82	98	119	110	95	73	103	76	63	88	1,012
就労定着支援	0	2	4	2	6	2	0	6	3	2	4	0	31
自立生活援助	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	123	173	177	166	152	174	224	240	241	204	252	303	2,429
計	337	455	501	521	613	592	657	714	781	649	812	895	7,527

(表 79-3) 計画作成件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者	0	0	1	0	0	3	1	1	0	1	1	1	9
継続契約者	8	9	5	6	4	11	5	3	10	7	6	11	85
計	8	9	6	6	4	14	6	4	10	8	7	12	94

(表 79-4) モニタリング件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者	0	0	0	1	1	1	1	0	0	1	3	1	9
継続契約者	24	25	17	30	24	40	30	18	30	41	32	31	342
計	24	25	17	31	25	41	31	18	30	42	35	32	351

イ 基本相談支援

リハビリテーション科医師、相談支援員等がリハビリやサービス利用に関する相談等に
対応しました。

(表 80-1) 基本相談件数

相談件数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
	108	94	108	130	86	123	111	104	103	92	123	98	1,280

(表 80-2) 基本相談内容件数 (重複計上)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
障害福祉サービス利用	64	41	78	94	67	81	71	65	72	67	85	78	863
地域活動支援センター 利用	48	39	22	24	23	36	45	44	32	30	46	23	412
配食サービス利用	2	20	1	1	7	5	1	5	3	0	5	4	54
福祉機器相談	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2
医学的相談	3	5	3	3	1	3	3	1	2	1	0	2	27
対人関係	1	0	7	4	0	0	5	6	9	0	0	1	33
金銭管理	5	0	7	5	0	1	5	7	9	0	7	5	51
健康管理	5	0	8	7	1	1	6	5	13	6	10	15	77
生活設計	5	0	11	10	9	2	7	7	16	8	14	22	111
その他	19	23	19	37	36	54	54	48	43	34	51	33	451
計	152	128	157	185	144	183	197	188	200	146	218	183	2,081

② 短期入所事業

心身に障害があり、保護者が緊急な事情等で一時的に保護が必要な時や、自立のための生活体験を希望される時、宿泊を伴う介助・支援を行いました。

(表 81) 短期入所利用状況 定員 2 人

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
提供日数		30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
契約者数		19	16	16	19	17	22	21	21	18	13	14	17	
内訳	男	13	11	9	12	11	15	15	13	11	9	8	11	
	女	6	5	7	7	6	7	6	8	7	4	6	6	
延利用者数		67	63	64	62	54	61	52	53	54	42	54	61	687
1日平均利用者数		2.2	2.0	2.1	2.0	1.7	2.0	1.7	1.8	1.7	1.4	1.9	2.0	1.9

③ 生活介護事業

重度の肢体不自由及び重度の知的障害がある利用者に対し、日常生活援助、生産活動、社会参加活動、ストレッチ等の身体活動などを行い、あわせて医療的ケアを要する利用者の受け入れについて、対応の安定に努めました。また、新型コロナの影響により、活動の様子を見学が出来ないご家族とは連絡を密にするとともに、活動の様子を撮影したフォトカードを作成して、ご家族へお知らせしました。

(表 82) 生活介護事業利用状況 定員：21 人

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開所日数		20	19	22	20	22	20	20	20	19	17	19	22	240
契約者数		14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	13	13	
内訳	男	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	3	3	
	女	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	
延利用者数		260	249	265	256	265	263	262	267	249	226	238	251	3,051
1日平均利用者数		13.0	13.1	12.0	12.8	12.0	13.2	13.1	13.4	13.1	13.3	12.5	11.4	12.7

(表 83) 生活介護事業活動内容

グループ	主な活動
ぷらたなす	マットで体操、身体機能・感覚機能に働きかける活動、レクリエーション、散歩など
けやき	体操、織物作業、園芸、レクリエーション、外出など

(表 84) 生活介護事業主な実施行事

月	けやきグループ	ぷらたなすグループ
4	歓迎会、家族懇談会	歓迎会、家族懇談会
	外出（八雲図書館）、園芸、防災訓練	園芸、散歩、防災訓練
5	鯉のぼり会、園芸、散歩	鯉のぼり会、園芸、散歩
	外出（八雲図書館）、バスドライブ	外出（八雲図書館）
6	健康診断、防災訓練、園芸	健康診断、防災訓練、散歩、園芸
	外出（八雲図書館）、バスドライブ	
7	七夕会、家族懇談会、園芸	七夕会、家族懇談会
	あいアイ陸上、バスドライブ	あいアイ陸上、バスドライブ

月	けやきグループ	ぶらたなすグループ
8	園芸、バスドライブ	園芸、バスドライブ、散歩
	スイカ割り、外出（八雲図書館）	スイカ割り
9	外出（八雲図書館）、外出（買い物）	外出（八雲図書館）、バスドライブ
	園芸	
10	一日外出（国立新美術館）	散歩
	買い物（駄菓子屋）、防災訓練	
11	あいアイこまつり	あいアイこまつり
	パーシモンホールアウトリーチプログラム	パーシモンホールアウトリーチプログラム
	買物（近隣スーパー）	買物、散歩、避難訓練
12	クリスマス会、家族懇談会	クリスマス会、家族懇談会
	外出（八雲図書館）	
	買物（近隣スーパー）	
1	新年会、初詣（氷川神社）	新年会、初詣（氷川神社）
2	節分会、外出（八雲図書館）	節分会
3	雛祭り会、外出（八雲図書館）	雛祭り会、バスドライブ
	家族懇談会	家族懇談会
	お花見、終了式	お花見、終了式

注) 新型コロナの感染防止のため、宿泊体験は中止としました。

(表 85) 時間外受入

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用者延数	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1
利用時間数	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	2	0	3

④ 障害者活動訓練事業

ア デイサービスコース

途中で病気や事故等により身体に障害を有することとなった方に対し、生活のリズム作りと心身機能維持を目的として、個別の支援計画を立てて、グループでの運動や趣味・生きがい活動、外出等のサービスを提供しました。また、利用者個々のニーズに応える活動として「個別リハビリテーション」等、全般に満足度向上につながりました。

(表 86) デイサービスコース利用状況

[A コース (月・水・金)] 定員 15 人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開所日数	12	12	13	12	14	11	12	12	11	9	12	14	144
契約者数	16	16	16	16	15	15	14	14	14	14	14	14	
内訳													
男	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	
女	6	6	6	6	5	5	4	4	4	4	4	4	
延利用者数	152	163	183	164	179	137	145	143	122	95	148	173	1,804
1日平均利用者数	12.7	13.6	14.1	13.7	12.8	12.5	12.1	11.9	11.1	10.6	12.3	12.4	12.5

[Bコース(火・木)] 定員15人

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開所日数		8	7	9	8	8	9	8	8	8	8	7	8	96
契約者数		9	9	9	11	11	11	11	11	11	12	12	12	
内訳	男	5	5	5	6	6	6	6	6	6	7	7	7	
	女	4	4	4	5	5	5	5	5	5	5	5	5	
延利用者数		63	44	54	55	59	64	54	59	59	59	59	58	687
1日平均利用者数		7.9	6.3	6.0	6.9	7.4	7.1	6.8	7.4	7.4	7.4	8.4	7.3	7.2

(表 87) デイサービスコース活動内容

コース	主な活動
Aコース (月・水・金)	体操、口の体操、歌、散歩、レクリエーション、趣味活動(組紐、手芸、頭の体操、塗絵、レジン、草履作り、パソコン、ゲーム、カラオケ、映画等)、一日外出、半日外出、季節行事、個別リハビリテーション、個別の言語障害・認知障害への取り組み、個別相談(看護師、心理士、言語聴覚士、理学療法士、作業療法士、栄養士)
Bコース (火・木)	体操、頭の体操、レクリエーション、趣味活動(組紐、手芸、レジン、ゲーム、パソコン、麻雀、映画等)、一日外出、半日外出、季節行事、個別リハビリテーション、個別の言語障害・記憶障害への取り組み、個別相談(看護師、心理士、言語聴覚士、理学療法士、作業療法士、栄養士)

(表 88) デイサービスコース主な実施行事

月	Aコース行事	Bコース行事
4月	オリエンテーション	オリエンテーション
5月	半日外出	半日外出
6月	半日外出、芋掘り	半日外出
7月	七夕会、半日外出	
8月	スイカ割り	スイカ割り
9月		
10月		
11月	あいあいこまつり、一日外出	あいあいこまつり、一日外出 パーシモンホールアウトリーチプログラム
12月		
1月	書き初め	書き初め
2月		
3月	お花見、修了会	お花見、活動見学会、修了会

イ 機能訓練コース

主に脳血管障害、外傷等の中枢神経障害(脊髄損傷含む)の方に対し、機能維持・向上を目的として集団体操等を行いました。また、活動アンケートを行い、利用者個々のニーズを聞き取り、実施につなげました。その結果、利用者から高い満足度を得ることができました。なお、相談窓口を通じて、車椅子等の作製に係る評価や助言等も行いました。

(表 89) 機能訓練コース利用状況

[A コース (月・水・金)] 定員 8 人

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開所日数		12	12	13	12	14	11	12	12	11	9	12	14	144
契約者数		10	10	10	11	11	11	11	11	11	11	12	12	/
内訳	男	6	6	6	6	6	6	7	7	7	7	8	8	
	女	4	4	4	5	5	5	4	4	4	4	4	4	
延利用者数		43	44	52	55	57	47	69	76	61	66	75	93	738
1日平均利用者数		3.6	3.7	4.0	4.6	4.1	4.3	5.8	6.3	5.5	7.3	6.3	6.6	5.1

[B コース (火・木)] 定員 8 人

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開所日数		8	7	9	8	8	9	8	8	8	8	7	8	96
契約者数		10	10	11	11	11	11	10	10	10	10	10	10	/
内訳	男	9	9	10	10	10	10	9	9	9	9	9	9	
	女	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
延利用者数		49	34	50	38	38	45	40	53	43	45	42	47	524
1日平均利用者数		6.1	4.9	5.6	4.8	4.8	5.0	5.0	6.6	5.4	5.6	6.0	5.9	5.5

(表 90) 機能訓練コース活動内容

コース	主な活動
A コース (月・水・金)	はじめての会、体操 (マット、椅子)、創作活動 (組紐、水引、レジン、革細工、絵手紙等)、歩行練習、ストレッチ、ストレッチポール、ホットパック、個別活動計画面談、外出、個別リハビリテーション
B コース (火・木)	はじめての会、体操 (マット、椅子、立位)、個別活動計画面談、外出、個別リハビリテーション、屋外歩行

(表 91) 機能訓練コース主な実施行事

月	A コース行事	B コース行事
4月		外出
5月	交流会	交流会
6月		
7月	交流会	交流会
8月		
9月		
10月	交流会	交流会
11月	あいアイこまつり	あいアイこまつり
12月	クリスマス交流会	クリスマス交流会
1月		
2月		
3月	終了式	活動見学会 終了式

注) 新型コロナの感染拡大防止のため、一日外出、個別外出は中止としました。

⑤ 施設入浴サービス事業

身体に障害のある方で自宅での入浴が困難な方に、施設において機械浴槽または一般浴槽による入浴支援を行いました。また、季節湯を実施しました。

(表 92) 施設入浴サービス事業利用状況

[機械入浴]

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
提供日数		21	22	22	21	23	22	21	22	19	18	20	23	254
契約者数		24	24	23	22	22	22	22	22	22	24	23	23	
内訳	男	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	6	6	
	女	17	17	16	15	15	15	15	15	15	17	17	17	
延利用者数		82	85	85	81	80	91	81	89	75	75	88	99	1,011

[介助入浴]

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
提供日数		21	22	22	21	23	22	21	22	19	18	20	23	254
契約者数		24	24	23	23	22	22	25	25	25	25	25	27	
内訳	男	16	16	15	15	15	15	17	17	17	17	18	18	
	女	8	8	8	8	7	7	8	8	8	8	7	9	
延利用者数		73	81	87	74	82	78	75	93	69	72	74	97	955

(表 93) 季節湯実施状況

内容	期間
菖蒲湯	4月27日～5月3日
ゆず湯	12月12日～12月16日

⑥ 巡回入浴サービス事業

身体に障害のある方で自宅での入浴が困難な方に、自宅において巡回入浴車による入浴支援を行いました。

(表 94) 巡回入浴サービス事業利用状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
提供日数		26	26	26	26	27	26	26	26	25	24	24	27	309
契約者数		12	12	12	12	11	11	10	10	10	10	10	10	
内訳	男	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	
	女	5	5	5	5	4	4	3	3	3	3	3	3	
延利用者数		36	39	35	33	31	38	32	32	27	28	29	34	394

(2) その他法令に基づく事業

① 訪問食事サービス事業

心身に障害があり、一人暮らし等で調理が困難な方に昼食を提供するとともに、安否確認を実施しました。

(表 95) 訪問食事サービス事業利用状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
提供日数		21	22	22	21	23	22	21	22	19	19	20	23	255
契約者数		18	19	18	18	18	17	17	19	19	19	20	20	
内訳	男	12	13	12	12	12	12	12	13	13	13	13	13	
	女	6	6	6	6	6	5	5	6	6	6	7	7	
延利用者数		140	144	149	146	135	123	115	171	138	125	139	176	1,701
1日平均利用者数		6.7	6.5	6.8	7.0	5.9	5.6	5.5	7.8	7.3	6.6	7.0	7.7	6.7

② 心身障害者に関する啓発

心身障害者に関する啓発のための講座や地域との協力事業など各種事業を実施しました。

(表 96) あいアイ講座「ことばの集い」実施状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
実施回数		3	4	4	5	4	4	4	4	4	4	4	5	49
登録者数		9	9	9	9	8	8	7	8	8	8	8	7	98
内訳	男	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	4	59
	女	4	4	4	4	3	3	2	3	3	3	3	3	39
延利用者数		26	31	36	40	23	23	23	27	28	27	25	34	333

(表 97) 心身障害者に関する啓発実施状況

実施日	内容	主催者・講師	参加人数	場所
10月15日	あいアイ講座「失語症 会話パートナー養成 講座」(実技講座)	心身障害者センター NPO 法人和音他	6	心身障害者センター
11月～3月	あいアイ講座「失語症 会話パートナー養成 講座」実習	心身障害者センター 地域当事者団体	3	心身障害者センター 地域当事者団体

③ 心身障害者団体が活動を行う場の提供

団体交流室を開放し、心身障害者団体の活動を支援しました。

④ 会議室等の利用

一般利用、登録団体、区役所等に対し、会議室等の貸し出しを行いました。

4 運営管理

(1) 会議

運営会議を中心に、合理的な施設運営を図るため各担当者会議を設置し、計画的に業務を進めました。

(表 98-1) 障害 4 施設合同会議

会議名	内容	開催回数
部課長会議	障害 4 施設の運営に関する事項の検討・協議	月 1 回

(表 98-2) 施設内会議

会議名	内容	開催回数
運営会議	施設運営全般に関する事項の検討・協議	毎月
安全衛生担当者会議	職員の安全と健康を確保するため、労働安全衛生に関し、産業医の助言を受けて検討実施	年 1 回
給食会議	給食サービスにかかる検討・調整	毎月
医療担当者会議	医行為、医療的ケア等にかかる検討・調整	年 5 回

(2) 委員会

(表 99) 各種委員会

委員会名	内容	開催回数
安全対策委員会	事故及びヒヤリハット事例の分析、再発防止策の検討	年 4 回
食事委員会	食事に関する事項の検討	毎月
虐待防止委員会	利用者の人権擁護対策の検討・実施	毎月

委員会名	内容	開催回数
身体拘束適正化委員会	身体拘束等の適正化に取り組むため、事例の報告・適正化策の検討及び従業者への周知	年4回
防災委員会	施設の防災対策の検討、消防訓練の企画実施	随時
バス委員会	送迎バスコース編成、課題の検討・対応 祝日入浴バスコース編成	毎月
あいアイまつり実行委員会	あいアイまつりの企画・立案・実施	随時

(3) 研修

関係諸機関や団体が実施する研修会、講演会等に積極的に参加し、職員の資質の向上に努めました。また、職場内研修も実施しました。

(表 100-1) 外部研修

研修名	主催者	参加人数
第45回てんかん基礎講座	公益社団法人日本てんかん協会	2
2022年度障害者支援施設等の新型コロナウイルス感染防止対策オンライン研修 「今だからこそ！知りたい！最新の新型コロナウイルス感染症の動向と Know-how」	公益社団法人東京都看護協会	1
第134回摂食・嚥下指導（基礎・実習）講習会	心身障害児総合医療療育センター	1
身体障害者福祉部会従事者会第1回学習会 「今、職場最大の人権テーマ～いじめ・ハラスメント防止」	東京都社会福祉協議会身体障害者福祉部会	1
令和4年度東京都相談支援従事者初任者研修	東京都心身障害者福祉センター	2
令和4年度第1回目黒区基幹相談支援センター研修会「虐待防止研修」	目黒区基幹相談支援センター	1
2022年度障害者支援施設等の新型コロナウイルス感染防止対策オンライン研修 「正しい方法で！新型コロナウイルス感染症防止対策_最前線」	公益社団法人東京都看護協会	1
令和4年度高次脳機能障害者研修会	目黒区西部包括支援センター	2
身体拘束廃止に向けた、リスクマネジメント研修～利用者を守る、職員を守る、身体拘束0の深化へ～	東京都社会福祉協議会身体障害者福祉部会	1
令和4年度強度行動障害支援者養成研修（基礎研修）	公益財団法人東京都福祉保健財団	1
高次脳機能障害実践的アプローチ講習会	東京都高次脳機能障害リハビリテーション講習会実行委員会	2
令和4年度東京都サービス管理責任者更新研修	公益財団法人総合健康推進財団	1
第63回重症障害児（者）医療看護師講習会	心身障害児総合医療療育センター	1
令和4年度第2回講演会「親亡き後の障害者支援」	めぐろ成年後見ネットワーク	1
特定給食管理講習会	目黒区	1
東社協身体障害者福祉部会従事者会 令和4年度オンライン学習会「こころのケガの影響について考える～トラウマインフォームドケア」	東京都社会福祉協議会身体障害者福祉部会	2
第15回目黒区高次脳機能障害者支援セミナー	目黒区高次脳機能障害者支援センター	5
令和4年度居住支援セミナー	目黒区居住支援協議会事務局	1

(表 100-2) 法人研修 (再掲)

研修名	内容	対象	参加人数
指導職 1 級昇格者研修	コーチング研修	指導職 1 級昇格者	2
指導職 2 級昇格者研修	OJT 指導者研修	指導職 2 級昇格者	1
サービス専門職 A 4 年目研修	中堅職員研修	サービス専門職 A 4 年目職員	3
入社 2 年目研修	被考課者研修、ビジネス マナー研修	入社 2 年目職員	2

(表 100-3) 施設内研修

研修名	講師	参加人数
新任職員 OJT 研修	チーフリーダー、担当者	1
衛生研修	DVD 研修 (株式会社サラヤ)	全職員
虐待防止研修	目黒区障害者支援課身体障害者相談係長	全職員

(4) 苦情・要望

苦情受付窓口及び苦情解決責任者を設置し、周知しました。また、随時利用者からの苦情・要望等意見の収集に努めました。

(表 101) 苦情件数

	令和 4 年度	令和 3 年度	令和 2 年度
苦情	1	1	1
要望	0	0	0

(5) 事故防止と事故発生時の緊急対応

安全対策シート・ヒヤリハットシートを活用し、事故やヒヤリの発生時は、翌日朝礼での全体周知とともに、送迎・給食・入浴等の委託業者との情報交換など情報の周知徹底を図り、事故の再発防止に努めました。また、安全対策委員会を通じて、事故の記録を分析し、研修会を実施しました。

(表 102) 事故・ヒヤリハット件数

	令和 4 年度	令和 3 年度	令和 2 年度
事故件数	15	62	54
ヒヤリハット件数	31	6	25

(6) 防災対策

消防計画に基づき、避難、通報、消火等の訓練及び総合訓練を 2 回実施し、その他事業ごとに避難路確認等の防災対策を行いました。また、災害時への対策として、防災用品や備蓄品の整備確認を行いました。

(7) 利用者・家族の声を反映

家族懇談会を 2 回開催し、利用者ご家族との緊密な連携を行いました。また、サービス向上検討委員会を 2 回開催し、サービスの質の向上に努めました。

(8) 地域との交流

あいアイまつりや福祉機器体験など各種イベントを通じて、地域との交流を図りました。

(9) ボランティアの活動

(表 103) 日常活動ボランティアの受け入れ状況

活動内容	人数
1 日外出付き添い、デイサービス活動補助、けやき作業補助	6

(表 104) 学校等団体からのボランティア体験受け入れ実績

体験依頼校等	延人数
田園調布雙葉高等学校	8

(10) 実習生・研修生の受け入れ

(表 105) 実習生等の受け入れ状況

実習依頼校	実習目的	実人員	延日数
日本福祉教育専門学校	社会福祉士実習	1	24
アルファ医療福祉専門学校	社会福祉士実習	2	36
東洋英和女学院大学	保育実習	3	36

(11) 職員の健康管理

職員の健康管理の維持向上に努めるとともに、メンタルヘルスに関しては産業医による個別相談を実施しました。

第5 かみよん工房（就労継続支援B型施設）

障害者総合支援法に基づく指定障害者福祉サービス事業所として、就労の機会等を通じ、生産活動にかかる知識及び能力の向上を目標とした支援を実施しました。

新型コロナに係る所定の感染予防対策は、年間を通して、徹底して実施しました。

1 令和4年度重点項目の具体的な取り組み

事業計画	具体的な取り組みと結果
(1) 受注能力の向上と受注量の向上を図ります	近隣の企業等との「顔の見えるつながり」を意識し、各作業部連携して受注活動や配達を行い、利用者の作業確保と作業意欲の維持、向上につなげました。
(2) 自主生産量の拡大と販路拡大にバランス良く取り組みます	パン販売では、フードロス削減を意識し、販売方法の工夫や製造量の調整を行いました。廃棄するパンはほぼゼロとなり、売上増につながりました。
(3) プログラムの見直しや、グループの再編成などを行い、より一人ひとりの能力に応じたサービス提供に努めます	既存の作業に取り組むことが難しくなりつつある利用者の状態に合わせて、配達や自主生産品作成等の作業を提供しました。また、利用者の高齢化・重度化による身体状況等の変化に対応するため、ドアベルや手すりの設置等を行い、安全確保に向けての環境整備を行いました。
(4) 講演会・講習会・イベントなどの地域の方が参加しやすい行事等を実施し、開かれた施設運営に努めます	新型コロナの影響により、計画していた地域交流を目的とした催し物の開催は見送りましたが、施設の玄関店舗販売に力を入れ、毎日実施することで、地域の方々との交流の拡大につながりました。

2 第三者評価・利用者アンケート等からの改善事項

改善事項	具体的な取り組みと結果
より分かりやすい情報提供に努めます	不満・要望などの意見を施設外の外部機関にも相談できる仕組みについて、家族懇談会及び面談の機会を通じて周知に努めました。

3 サービス内容

(1) 利用者数

(表 106) 利用状況数 定員：40人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開所日数	20	19	22	20	22	20	20	20	19	18	19	22	241
契約者数	35	35	35	35	35	35	35	34	33	33	33	33	
内訳													
男	21	21	21	21	21	21	21	21	20	20	20	20	
女	14	14	14	14	14	14	14	13	13	13	13	13	
延利用者数	635	585	694	598	618	535	578	571	559	516	536	612	7,037
1日平均利用者数	31.8	30.8	31.5	29.9	28.1	26.8	28.9	28.6	29.4	28.7	28.2	27.8	29.2

(表 107) 利用者年齢構成（令和5年3月31日現在）

	～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60歳以上	最低年齢	最高年齢	平均年齢
男	0	1	1	0	2	2	7	1	4	2	23	71	47.1
女	0	2	2	0	4	2	2	0	1	0	21	59	36.8

(2) サービス提供計画

個別支援計画に基づき、作業支援、就労支援及び生活支援を通じて、利用者の作業技術の向上と就労に必要な社会性が身につくように支援しました。

(3) 作業支援

(表 108) 作業活動内容

作業部名	活動内容
食品部	自主生産品としてパン、焼き菓子の製造・販売を行いました。フードロス削減を意識し、販売方法の工夫や製造量の調整を行った結果、廃棄するパンはほぼゼロとなり、収入増につながりました。
企業部	近隣企業との「顔の見えるつながり」を強化するため、利用者とともに、材料の受け取りや配達を行いました。その結果、作業確保と作業意欲の向上及び収入増につながりました。
開発部	目黒区や企業から清掃作業を受託し作業を行いました。公園清掃等の活動でも、感染症対策を徹底したうえで作業を行いました。
自主製品製作	高齢化・重度化する利用者へのプログラムとして、3部連携して、羊毛フェルトのキーホルダー、メモ帳、エコバック等の自主生産品を製作、販売しました。作業工程が増えたことで、利用者の作業確保につながりました。また、玄関店舗で利用者自身がデザインした製品をお客様が選ばれている様子を見て、作業意欲も向上しています。

(表 109) 食品部販売先状況

販売先 / 納品先	販売頻度
かみよん工房店舗販売	毎日 (月～金)
さんまるしえ	委託販売
COHANA	委託販売
区役所販売	週 1 回
パーシモンホール販売	週 1 回
ジャックス販売	年間 10 回
東京都立光明学園販売	年間 7 回
かみよん工房給食	週 1 回
大橋えのき園給食	週 1 回
あいアイ館給食	週 1 回
下目黒福祉工房給食	週 1 回
桑の実中目黒保育園給食	週 1～2 回
ウエルミー上目黒つどいの家給食	週 2 回
目黒若葉寮給食	週 1 回
ダイケンビルサービス焼き菓子納品	月 1 回
第一生命 (祐天寺オフィス) 出張販売	年間 10 回
あいアイ館販売 (デイサービス利用者向け)	年間 3 回
事業団各施設 (職員向け)	不定期
区内他施設地域行事等	不定期
その他個人注文販売	不定期

(表 110) 企業部受注作業受託先

受注先企業名	作業内容
宮川製菓	飴袋シール貼り
マーチフォース	だるまシール貼り、梱包
BuySell Technologies	郵便切手仕分け、集計
Virtuous circle	岩塩の仕分け、梱包
Sasaokaya	商品の仕分け、梱包

(表 111) 開発部清掃作業受託先

受注先企業名	作業内容
目黒区(みどり)と公園課)	上四児童遊園・蛇崩川緑道・東山公園清掃
サッポロ不動産開発	草取り作業

(表 112) 自主生産品（フェルトボール）販売先状況

販売先 / 納品先	販売頻度
かみよん工房店舗販売	毎日（月～金）
さんまるしえ	委託販売
KURUMIRU	委託販売

(表 113) 工賃支給状況

支給月	支給総額	最高額	最低額	平均	人員
4月	543,450	20,350	6,450	15,527	35
5月	494,450	18,750	300	14,127	35
6月	567,300	21,300	1,350	16,685	34
7月	486,500	19,200	750	14,742	33
8月	528,600	20,850	900	16,018	33
9月	465,950	19,050	450	14,120	33
10月	462,900	18,600	4,650	14,932	31
11月	480,800	20,200	450	15,510	31
12月	471,750	19,050	4,500	15,218	31
1月	400,250	14,400	4,200	12,911	31
2月	433,900	15,600	4,650	14,463	30
3月	494,300	19,350	450	15,945	31
調整手当	3,568,741	124,961	7,613	111,523	
計	9,398,891			24,224	388

(4) 就労支援

利用者の障害特性やニーズに応じて、社会人マナー講習等の特別プログラムを実施しました。

(表114) 就労支援実績

内容	利用者数	期間・回数	就労先・実施内容など
就労体験（定期販売）	1	週1回	区役所販売（3月～再開）

(5) 生活支援

身だしなみチェック表を活用し、基本的な生活習慣の確立に向けた支援を行いました。

調理実習や館内清掃活動を通じて家事一般における技術習得を行い、また、社会資源の活用方法や金銭管理について学習する機会を設け、社会性の向上に向けた支援を行いました。

(6) 余暇支援

クラブ活動や外出活動を通じて、趣味活動の充実と社会経験の拡大に向けた支援を行いました。

(表 115) クラブ活動

クラブ名	内容
癒しのお菓子	お菓子作りを楽しむ。
カラオケ	カラオケを楽しむ。
アトリエ	絵を描くことを楽しむ。(画材やガラス窓等)
カメラさんぽ	映画鑑賞や周辺の散歩を楽しむ。

(表 116) 主な行事

月	行事名
4月	家族懇談会 防災訓練
5月	外出行事 (A班: ショートステイ見学、C班: ドンキホーテ 外食)
6月	ハンカチのダイタイ染め (かみよんまつり代替行事) 防災訓練
7月	健康診断 外出行事 (C班: 昼食テイクアウト)
8月	外出行事・調理実習 (A班: ミニ調理、B班: 昼食テイクアウト)
9月	サービス向上検討委員会 (利用者代表のみ) 防災訓練
10月	宿泊体験代替行事 (ランチクルーズ)
11月	外出行事 (A班: 渋谷でランチ購入 B班: 横浜ワールドポーターズ)
12月	外出行事 (C班: 昼食テイクアウト)
1月	新年会 (初詣・工房でのお楽しみ会) 工房内検診 外出行事 (B班: 区役所食堂ランチ C班: 昼食テイクアウト)
2月	サービス向上検討委員会 工房内検診
3月	家族懇談会 外出行事 (B班: 武蔵小杉グランツリー)

(7) 食事サービス

栄養士の指導管理の下に、調理委託業者との連携を図り実施しました。栄養バランスに留意しながら、季節行事食や利用者の希望による選択食をとり入れ、利用者に喜ばれる食事の提供を行いました。

また、利用者を対象にした栄養相談や給食委員会を実施し、利用者の栄養管理と給食サービスの向上に努めました。

(8) 健康管理

利用者の健康に配慮して、年2回の定期健康診断、年2回の体重・体脂肪測定、月1回の精神科医によるカウンセリングを実施しました。

4 運営管理

(1) 会議

施設の決定機関として運営会議を中心に、合理的な施設運営を図るため各担当者会議を設置し、計画的に業務を進めました。

(表 117-1) 障害 4 施設合同会議

会議名	内容	開催回数
部課長会議	障害 4 施設の運営に関する事項の検討・協議	月 1 回

(表 117-2) 施設内会議

会議名	内容	開催回数
総括会議	事業報告、事業計画	年 1 回
運営会議	施設運営	月 1 回
販売戦略会議	受注・販売計画、収支状況確認等	月 1 回
リーダー会議	グループ間協力体制の検討	月 1 回
職員会議	事業全般	週 1 回
ケース会議	個別支援計画	各利用者年 1 回
給食会議	給食サービス全般	年 6 回

(2) 委員会

(表 118) 各種委員会

委員会名	内容	開催回数
サービス向上検討委員会	サービス全般	年 3 回
安全対策委員会	事故ヒヤリハット事例の確認	月 1 回
虐待防止委員会	虐待防止策の検討	年 7 回
給食委員会	給食サービス意見要望の確認	月 1 回

(3) 研修

関係諸機関や団体が実施する研修会、講演会等に積極的に参加し、職員の資質の向上に努めました。また、職場内研修も随時実施しました。

(表 119-1) 外部研修

研修名	主催者	参加人数
東京都強度行動障害支援者養成研修（講師派遣）	東京都福祉保健財団	1

(表 119-2) 法人研修（再掲）

研修名	内容	対象	参加人数
管理職 2 級昇格者研修	段取り研修	関連職員	1

(表 119-3) 施設内研修

研修名	講師	参加人数
異動職員 OJT 研修	グループリーダー他	2
安全対策について	チーフリーダー	10
高齢化・重度化について	職場内研修担当	10
他作業部体験研修	各作業部職員	1
障害者虐待防止研修 「障害者虐待について考えよう 8 適切な個人情報保護について」	相模女子大学准教授	10

(4) 苦情・要望

苦情受付窓口及び苦情解決責任者を設置し、周知しました。また、随時利用者からの苦情・要望等意見の収集に努めました。

(表 120) 苦情件数

	令和4年度	令和3年度	令和2年度
苦情件数	0	0	2
要望件数	0	0	0

(5) 事故防止と事故発生時の緊急対応

安全対策マニュアル等を活用し、サービス提供時における事故防止に努めました。また、安全対策シートやヒヤリハットシートを活用して随時事例検証を行うほか、毎月、安全対策委員会を開催して、事故の再発防止対策に取り組みました。

(表 121) 事故・ヒヤリハット件数

	令和4年度	令和3年度	令和2年度
事故件数	4	24	18
ヒヤリハット件数	1	2	0

(6) 防災対策

消防計画に基づき、年間4回の通報、避難、消火等の訓練及び総合訓練を行いました。

また、防災訓練のうち1回は、大規模災害対策計画の状況別行動マニュアルに沿って実施しました。

(7) 利用者・家族の声を反映

利用者ご家族との緊密な連携を保ち、意見や情報を交換する場として家族懇談会を開催しました。

また、利用者の状況に応じ、個別面談、家庭訪問等を適宜行うとともに、日常的に必要な応じて電話連絡等で情報交換に努めました。

さらに、サービス向上検討委員会を開催し、利用者、家族、施設の代表者が集まり、サービスの質の向上を目的に検討を行いました。

(8) 地域との連携

地元企業からの作業受注、パン製品の販売、目黒区からの公園清掃の受託、これら作業活動を通しての地域とのつながりを継続的に構築しています。

(9) ボランティアの受入れ

コロナ禍での限定的な受入れが続いていたことで、再開のお声がけをしたものの、難しい状況がありました。新規のボランティアを開拓しました。

(表 122) ボランティア活動状況

活動月	内容	人数
10月	宿泊代替行事	1
通年	受注作業検品	0
	自主生産品（羊毛フェルト雑貨）仕上げ	0
合計		1

(10) 実習生、研修生の受け入れ

(表 123) 実習生等の受け入れ状況

実習依頼校等	実習目的	実人員	延日数
明治学院大学	社会福祉士資格取得	1	25
NHK 学園	社会福祉士資格取得	1	11
日本福祉教育専門学校	社会福祉士資格取得	1	25
東洋英和女学院大学	保育士資格取得	1	12

(表 124) 特別支援学校等施設体験生の受入状況

施設体験生依頼元	実習目的	実人員	延日数
都立田園調布特別支援学校 (2 年生)	体験実習	2	10
青島特別支援学校 (3 年生)	体験実習	1	5
目黒区立第十一中学校	職場体験	2	2

(11) 職員の健康管理

職員のメンタル面を含めた健康管理の維持向上に努めるとともに、産業医による個別面談の機会を適宜活用しました。

第6 大橋えのき園

18歳以上の知的障害を有する方に対して、作業活動や生活支援等に関わるサービスを提供し、基本的な生活習慣の確立及び社会生活能力の維持・向上を図る取り組みを実施しました。

新型コロナに係る所定の感染予防対策は、年間を通して、徹底して実施しました。

1 令和4年度重点項目の具体的な取り組み

事業計画	具体的な取り組みと結果
(1) サービス提供や支援の中で、虐待を予防・防止する取り組みを推進します	毎月1回、外部委員を招いて、権利擁護・利用者支援研究会の開催を継続し、個々の利用者支援方法を見直し適切な支援の研究・実践をすすめ、虐待予防に努めました。
(2) 自主生産量の拡大と販路拡大にバランス良く取り組みます	施設前で自主生産品販売を週1回定期的に開催したところ、常連客もでき利用者也販売を楽しむことができました。 また、積極的に地域のお祭りや学園祭で自主生産品販売を行ったことにより、地域の方と販売を通して接する機会が多く持て、売上も増となりました。

2 第三者評価・利用者アンケート等からの改善結果

改善事項	具体的な取り組みと結果
よりわかりやすい情報提供に努めます	利用者、ご家族が抱く不満・要望などの意見を、施設外の外部機関にも相談できる仕組みについて、家族懇談会等を通じて周知に努めました。

3 サービス内容

(1) 生活介護

① 利用者数

(表125) 利用状況 定員：57人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開所日数	20	19	22	20	22	20	20	20	19	18	19	22	241
契約者数	42	42	41	41	41	41	39	39	39	39	39	38	
内訳													
男	32	32	31	31	31	31	30	30	30	30	30	30	
女	10	10	10	10	10	10	9	9	9	9	9	8	
延利用者数	697	651	759	660	708	614	642	534	613	564	579	686	7,707
1日平均利用者数	34.9	34.3	34.5	33.0	32.2	30.7	32.1	26.7	32.3	31.3	30.5	31.2	32.0

(表126) 利用者年齢構成 (令和4年3月31日現在)

	～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60歳以上	最低年齢	最高年齢	平均年齢
男	0	4	4	4	4	6	6	0	2	0	21	58	37.2
女	0	1	1	0	0	2	3	0	1	0	21	59	37.7

② サービス提供計画

個別支援計画に基づき、作業活動及びグループ別活動を通じて、個々の利用者の特性に応じた支援を行いました。

③ プログラム内容

ア 日々の基本的な活動単位となるグループについて、多様化したニーズに応えるため5グループ

プに分けて、各グループの特性に合わせた作業・グループ活動を実施しました。

イ 商品は区内の他の福祉工房、地域のイベント等で販売しました。なお、売上金は利用者全員に一時金として支給しました。

ウ グループ活動では、各利用者の特性を踏まえ柔軟な活動を行いました。

(表 127) 作業・生産活動

作業名	内容
食品	ピクルス、パスタソースの製造を行いました。
紙漉き	ポチ袋、タグなどを作りました。また、材料の牛乳パックの回収作業を通して、地域交流を図りました。
ガラス	箸置き、アクセサリなどを作りました。
美術	絵画を中心に取り組みました。外部専門家と協働で行いました。
書道	月1回、書道の先生との協働で行いました。
音楽・身体表現	月1回、音楽専門家との協働で行いました。
その他	必要に応じて個別の取り組みを行いました。

(表 128) グループ活動

活動名	内容
散歩	体力・脚力に応じたグループ分けにより、個々の利用者に適した運動量を保障し、心身のリフレッシュを図りました。また、安全把握に充分配慮し実施しました。
バスハイク	施設のバスを利用し、近隣の公園等を目的地として、より範囲の広い屋外活動を実施し、心身のリフレッシュを図りました。
体験	近隣のコンビニエンスストアを活用し、お菓子や飲み物を中心とした買物体験を活動として実施するとともに、地域社会との交流を図りました。
カルチャー	四季を感じ自然に親しむ文化的な活動を目指して、園芸、かかし創作などを行いました。
室内運動	風船バレーなど室内で体を動かす取り組みを行い、運動量の確保を図りました。
OT レク	作業療法士と協働で、椅子ストレッチや椅子エアロビなどを行いました。

④ 日常生活動作支援

日常生活習慣の確立や生活動作の維持向上に向けて、食事・排泄・更衣・移動・その他の生活場面において必要な支援を行いました。

⑤ 各種行事

(表 129) 主な実施行事

月	行事名	行事の内容等
5	一日芸術 DAY	時間を区切らず自由に作品制作する
6	スペシャルわくわく外出 (半日外出)	砧公園、六本木ヒルズ、明治神宮、代々木公園、ウエスティンホテル東京
7	三宿保育園との交流会① ふれあい広場	園児による出し物 駒場体育館にて運動交流会
8	一日芸術 DAY 和太鼓交流会①	時間を区切らず自由に作品制作する。 駒場太鼓の会との交流会
10	音楽身体表現発表会	えのき祭代替行事
11	ふれあい広場	駒場体育館にて運動交流会

月	行事名	行事の内容等
12	一日芸術 DAY 一日外出（イクスピアリ）	時間を区切らず自由に作品制作する。 宿泊体験代替行事
1	スペシャルわくわく外出 （半日外出）	砧公園、日比谷公園、皇居外苑、皇居周辺、ウエスティンホテル東京
2	和太鼓交流会②	駒場太鼓の会との交流会
3	ふれあい広場	駒場体育館にて運動交流会

⑥ 食事サービス

栄養バランスに留意して季節感のある食事の提供をし、行事食やメニューのリクエスト等に対応しました。栄養相談は随時行いました。

また、食事委員会を定期的実施し、利用者の状況に応じた食形態・姿勢・補助食器等の検討をしました。

⑦ 健康管理

利用者の健康に配慮して、年2回の定期健康診断、毎月の体重測定、月2回の精神科医によるカウンセリングを実施しました。

⑧ 利用前の事前説明、個人面談

利用の開始にあたり、施設が提供できるサービス内容や利用料金等の重要事項について説明を行い、利用者からの同意を得ました。

また、個別支援計画の作成に伴い、2～3月の期間に施設内又は家庭訪問による個別面談を行いました。

⑨ 利用時間外受入れ

(表 130) 時間外受入れ

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用者延数	0	2	3	0	3	0	1	1	5	7	4	2	28
利用時間数	0	3	3	0	3.5	0	1.5	1.5	7	10	6	3	38.5

(2) 利用時間外活動支援事業（日中一時支援）

障害者通所支援事業終了後における障害者の活動の場を提供するとともに、共働きやひとり親等の障害者世帯の就労を支援することを目的として実施しました。

① 活動支援

本人状況及び要望等を把握し、利用者の意向を踏まえたうえで各種活動を提供しました。

② 日常生活動作支援

日常生活習慣の確立や生活動作の維持向上に向けて、食事・排泄・更衣・移動・その他の必要な支援を行いました。

(表 131) 利用状況 定員：10人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
契約者数	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	240
内訳	男	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
延利用者数	9	12	9	9	25	25	25	21	24	25	24	32	

4 運営管理

(1) 会議

職員相互の理解と協力による施設運営と利用者支援を円滑に行うため、各種会議及び委員会を行いました。

(表 132-1) 障害 4 施設合同会議

会議名	内容	開催回数
部課長会議	障害 4 施設の運営に関する事項の検討・協議	月 1 回

(表 132-2) 施設内会議

会議名	内容	開催回数
運営会議	運営管理、運営方針の検討	月 1 回
職員会議	運営管理、業務全般、各種報告	週 1 回
年度末総括会議	事業報告、事業計画の作成、検討	年 1 回
ケース会議	個別支援計画の確認、報告	各利用者年 2 回以上
グループ会議	個別支援計画の検討、グループ運営	ケース会議時期、随時
リハ担当者会議	リハビリテーション計画の確認	年 6 回
給食会議	給食サービスにかかる検討・調整	年 6 回
バス担当者会議	送迎サービスにかかる検討・調整	月 1 回

(2) 委員会

(表 133) 各種委員会

委員会名	内容	開催回数
安全対策委員会	安全対策全般	月 1 回
権利擁護・利用者支援研究会	利用者支援の向上による虐待防止に関する取り組み、研修	月 1 回
身体拘束廃止委員会	身体拘束廃止に向けた検証	月 1 回
食事委員会	利用者の状況等による環境整備など	年 6 回
各種業務担当会議	各種業務の企画、運営	随時

(3) 研修

関係諸機関や団体が実施する研修会等参加し、また、現状の現場の問題解決に即した実践研修を実施しました。他に事業団内の職層等研修、施設内の新規職員を対象とした OJT 研修や全職員を対象に安全衛生・自己啓発等の研修を実施しました。

(表 134-1) 外部研修

研修名	主催者	参加人数
「続、利用者さんが飲んでいる薬を知ろう」 ～精神・神経に作用する薬を学ぶ～	東京都社会福祉協議会	1
第 45 回てんかん基礎講座	日本てんかん講座	1
高齢・知的障害者の食事とその支援について	東京都社会福祉協議会	1
講義「嚥下調整食学会分類 2021 の実践～対象者の状況に合わせた食形態の調理（手元調理）～」	東社協知的発達障害部会	1

(表 134-2) 法人研修（再掲）

研修名	内容	対象	参加人数
管理職 2 級 3 年目研修	管理職向け研修～マネージャーとしての課題を整理する	管理職 2 級 3 年目職員	1

研修名	内容	対象	参加人数
指導職 2 級昇格者研修	OJT 指導者研修～新人・後輩指導の基本スキル 習得編	指導職 2 級昇格者	1
サービス専門職 A 4 年目研修	中堅社員研修～管理職を補佐し、部の成果を出す	サービス専門職 A 4 年目職員	1
新人職員研修	福祉の理念、事業計画	入社 1 年目職員	1

(表 134-3) 施設内研修

研修名	講師	参加人数
新任職員研修	施設長、サービス管理責任者	2
虐待防止研修～虐待につながる「小さな出来事」を把握して支援を見直そう	鎌倉女子大学准教授	13
続・利用者さんが飲んでる薬を知ろう・精神・神経に作用する	生活支援員（伝達研修）	15
第 45 回てんかん基礎講座	生活支援員（伝達研修）	16
高齢知的障害者の食事とその支援講座	生活支援員（伝達研修）	15
嚥下調整食	生活支援員（伝達研修）	15

(4) 苦情・要望

苦情・要望の窓口を明確にして対応をしました。また、家族との連絡や意見交換のために連絡帳を幅広く活用しました。

(表 135) 苦情件数

	令和 4 年度	令和 3 年度	令和 2 年度
苦情件数	0	6	3
要望件数	0	1	1

(5) 事故防止と事故発生時の緊急対応

安全対策委員会を中心に、安全対策シート・ヒヤリハットシート等にてサービス支援時における利用者の事故防止に努めました。また、事故発生の際は敏速に対応できるように研修を行いました。

(表 136) 事故・ヒヤリハット件数

	令和 4 年度	令和 3 年度	令和 2 年度
事故件数	19	38	42
ヒヤリハット件数	9	23	18

(6) 防災対策

消防計画に基づき、隣接の社会福祉法人愛隣会との総合訓練を 4 回実施しました。

(7) 利用者・家族の声を反映

家族との緊密な連携を保ち、意見や情報を交換する場として家族懇談会を定期的に行いました。また、サービス向上検討委員会を開催し、利用者、家族及び施設の代表者が集まり、サービスの質の向上を目的に検討を行いました。

(8) 地域との交流

新型コロナの影響により、例年実施していた地域交流行事のほとんどが中止となりましたが、駒場かかしプロジェクト実行委員会に感謝のかかしを出展しました。

また、日常活動で買い物体験等を行う中で、近隣商店との関係を深めました。

(9) ボランティアの受入

(表 137) ボランティア活動状況

活動月	内容	人数
9月	一日外出付添い	3
通年	書道指導	1
通年	太極拳・健康体操指導	1
合計		4

(10) 実習生、研修生の受入れ

(表 138) 実習生等の受入状況

実習依頼校等	実習目的	実人員	延日数
日本福祉教育専門学校	社会福祉士実習	1	23
アルファ福祉専門学校	社会福祉士実習	1	1

(表 139) 特別支援学校等施設体験生の受入状況

施設体験生依頼元	目的	実人員	延日数
青島特別支援学校 (3年生)	入所に向けた実習	1	5
田園調布特別支援学校 (3年生)	入所に向けた実習	1	5
港特別支援学校 (3年生)	1日職場体験	1	5
目黒区	入所に向けた実習	1	5

(11) 職員の健康管理

職員の健康管理の維持向上に努めるとともに、メンタルヘルスに関しては産業医による個別相談を実施しました。

第7 下目黒福祉工房（就労継続支援B型施設）

障害者総合支援法に基づく指定障害者福祉サービス事業所として、就労の機会等を通じ、生産活動にかかる知識及び能力の向上を目標とした支援を実施しました。

新型コロナに係る所定の感染予防対策は、年間を通して、徹底して実施しました。

1 令和4年度重点項目の具体的な取り組み

事業計画	具体的な取り組みと結果
(1) 自主生産品の拡大と販路拡大にバランス良く取り組みます	菓子商品は販売見込数に応じて解凍し陳列を行うことで、フードロスの削減へと繋げました。また、印刷物については、受注数の拡大に向け、地域商店街等へ営業活動を行いました。
(2) プログラムの見直しや、グループの再編成などを行い、より一人ひとりの能力に応じたサービス提供に努めます	各活動において利用者の希望と障害状況に応じたグループ編成を行い、個々の能力や適性に応じた活動内容と作業環境を整備してサービス提供を行いました。

2 第三者評価・利用者アンケート等からの改善事項

事業計画	具体的な取り組みと結果
より分かりやすい情報提供に努めます	施設のPR用として活動を紹介する動画作成したほか、行事での様子を毎回写真付きプリントにしてご家族に配付するなど、より分かりやすい情報提供に努めました。

3 サービス内容

(1) 利用者数

(表140) 利用状況数 定員40人

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開所日数		20	19	22	20	22	20	20	17	19	18	19	22	238
契約者数		36	36	36	36	36	36	36	36	36	36	36	36	
内訳	男	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	
	女	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	
延利用者数		683	637	729	665	691	655	631	467	619	602	643	751	7,773
1日平均利用者数		34.2	33.5	33.1	33.3	31.4	32.8	31.6	27.5	32.6	33.4	33.8	34.1	32.7

注1) 11月16～18日は、新型コロナ感染症拡大防止のため臨時休業

(表141) 利用者年齢構成 (令和5年3月31日現在)

	～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60歳以上	最低年齢	最高年齢	平均年齢
男	1	2	3	2	2	3	2	0	2	4	19	75	42.7
女	0	0	1	1	0	3	6	3	0	1	27	60	45.6

(2) サービス提供計画

個別支援計画に基づき、作業支援、就労支援及び生活支援を通じて、利用者の作業技術の向上と就労に必要な社会性への支援を行いました。

(3) 作業支援

(表 142) 作業活動内容

作業部名	活動内容
菓子班	自主生産品として、シフォンケーキ及びマドレーヌ等の製造・販売を行いました。販売見込数に応じて計画的に商品を製造し、販売機会を確保することで売上利益の維持に取り組みました。
革班	自主生産品として、革小物等の製造・販売を行いました。また、新たな作業種の開発で、乾燥野菜を材料にした食品の試作に取り組みました。
印刷班	印刷業として名刺、封筒等の注文を受けて行いました。また、地域商店街等へ営業活動を行い、受注数の拡大に取り組みました。
受注班	企業から軽作業を積極的に受注したほか、新たに高齢者住宅の清掃業務を請け負い、売上利益の向上につなげました。また、工房前販売（工房まるしえ）や他班の配達の仕事に取り組みました。

(表 143) 菓子班販売先状況

販売先 / 納品先	販売頻度
工房前販売（工房まるしえ）	毎日(水曜日除く)
工房前販売（土曜まるしえ）	土曜日(不定期)
さんまるしえ	委託販売
コハナ	委託販売
区役所販売	月1～2回
パーシモンホール販売	月1回
ジャックス販売	月1回
あいアイ館	月1回
アロハクリニック	随時
株式会社アンジェリカ（保育園）	随時
公益財団法人小原白梅育英基金	随時
その他個人注文	不定期

(表 144) 革班販売先状況

販売先 / 納品先	販売頻度
さんまるしえ	委託販売
コハナ	委託販売
株式会社久月	委託販売
その他個人注文	不定期

(表 145) 印刷班受託先

受注先	作業内容
目黒区	めぐろ区報ダイジー版、名刺、封筒など
全国退職校長会	名刺
国立病院機構東京医療センター	カレンダー
城南職業能力開発センター	受講票、修了証
目黒銀座商店街事務局	名刺

受注先	作業内容
学芸大学商店連合会	名刺
目黒区権之助坂商店街振興組合	ショップカード、名刺
目黒区手をつなぐ親の会	名刺
目黒雅叙園	ショップカード
焼肉香港園	ショップカード
八ツ目や にしむら目黒店	ショップカード、商品説明カード、名刺
その他個人注文	名刺、封筒、チケットなど

(表 146) 受注班受託先

受注先企業名	作業内容
株式会社プレス・オールターナティブ	シール貼り、箱詰等
株式会社 C.R.F	組立、袋詰など
プリメーラ株式会社	組立、袋詰など
株式会社ササオカヤ	シール貼り、袋詰めなど
株式会社あそ商事	箱の組立、箱詰めなど
有限会社並川平兵衛	和紙のしわ加工など
目黒区	高齢者住宅清掃

(表 147) 工賃支給状況

月	支払総額	最高額	最低額	平均	人員
4月分	218,600	6,880	1,600	6,072	36
5月分	215,080	6,400	2,000	5,974	36
6月分	220,760	6,880	1,600	6,307	35
7月分	209,240	6,720	1,600	5,812	36
8月分	224,880	6,840	1,600	6,247	36
9月分	210,680	6,400	2,000	5,852	36
10月分	204,520	6,400	1,600	5,681	36
11月分	210,160	6,520	2,000	5,838	36
12月分	212,280	6,480	2,000	5,897	36
1月分	198,280	6,000	1,600	5,507	36
2月分	197,120	6,000	1,600	5,476	36
3月分	226,520	6,800	2,000	6,292	36
調整手当	1,889,808	57,404	15,734	52,495	
計	4,437,928			10,297	431

(4) 就労支援

利用者の障害特性やニーズに応じて、職場見学などを実施しますが、本年度は実績がありませんでした。

(5) 生活支援

生活に身近な園芸や芸術活動などを通じて、その人らしい表現活動を行いました。

(表 148) 生活芸術活動

クラブ名	内容
アート	絵画や音楽などで個性や感性を表現する活動で、作成した作品を展示、出品するなどして、達成感や社会性の醸成を図っています。
園芸	自然を対象とした意識の醸成を図るため、植物を育てる園芸活動を行っています。
自治会	利用者自らが、工房に関係することがらを自ら企画、立案、実行する活動で、地域との交流を深めることなども実施しています。

(6) 余暇支援

クラブや外出活動を通じて、趣味活動の充実と社会経験の拡大に向けた支援を行いました。

また、新型コロナの拡大防止の観点から、宿泊体験とおまつり行事は中止とし、代替行事を実施しました。

(表 149) クラブ活動

クラブ名	内容
カラオケ	カラオケを利用して、各自がリラックスして歌を楽しめる活動
散歩	さまざまな場所に出かけ心身のリラックスを図る
スポーツ	卓球・ボーリング・バッティング等を楽しみながら体を動かす
よりあい	本人の希望・興味・関心のあることを通して充実した時間を過ごす

(表 150) 主な行事

月	行事名
5月	防災訓練
7月	健康診断
9月	防災訓練
12月	防災訓練
1月	一日外出
2月	パントマイムパフォーマンスショー（あすなろまつり代替行事） 一日外出
3月	春のスペシャル給食（宿泊体験代替行事）、防災訓練

(7) 食事サービス

栄養士の指導管理の下、調理委託業者と連携を図り実施しました。栄養バランスに留意しながら、季節行事食や利用者の希望による選択食などの提供を行いました。

(8) 健康管理

利用者の健康に配慮して、定期健康診断の他、月1回の精神科医及び整形外科によるカウンセリングを実施しました。

(9) 送迎サービス

工房バスにて自宅等から工房までの送迎を行いました。

4 運営管理

(1) 会議

施設の決定機関として運営会議を中心に、合理的な施設運営を図るため各担当者会議を設置し、計画的に業務を進めました。

(表 151-1) 障害 4 施設合同会議

会議名	内容	開催回数
部課長会議	障害 4 施設の運営に関する事項の検討・協議	月 1 回

(表 151-2) 施設内会議

会議名	内容	開催回数
総括会議	事業全体、作業活動の総括	年 1 回
運営会議	施設運営	月 1 回
商品開発等会議	工房の商品開発等の計画	随時
職員会議	事業全般	隔週 1 回
ケース会議	個別支援計画	各利用者年 1 回
給食会議	給食サービス全般	隔月
バス担当者会議	バス運行に関する全般	月 1 回

(2) 委員会

(表 152) 各種委員会

委員会名	内容	開催回数
サービス向上委員会	サービス全般	年 5 回
安全対策委員会	事故ヒヤリハット事例の確認	月 1 回
虐待防止委員会	虐待防止対策の確認	月 1 回
身体拘束適正化委員会	身体拘束の問題意識の共有	年 2 回

(3) 研修

関係諸機関や団体が実施する研修会、講演会等に参加し、職員の資質の向上に努めました。
また、職場内研修も随時実施しました。

(表 153-1) 外部研修

研修名	主催者	参加人数
虐待防止・権利擁護研修	東京都社会福祉協議会	1
強度行動障害と医療研修	東京都社会福祉協議会	1
工賃アップセミナー	東京都保健福祉局	2
リーダー研修	東京都社会福祉協議会	1
食品衛生責任者講習会	東京都食品衛生協会	2
特定給食管理講習会	目黒保健所	1
特定給食管理講習会 (防災対応)	目黒保健所	1
高齢・知的障害者の食事と支援	東京都社会福祉協議会	1
続・利用者さんが飲んでいる薬を知ろう	東京都社会福祉協議会	1
支援者のメンタルヘルスの問題と対人サービスのあり方を考える	東京都通所サービス研究会	1

(表 153-2) 法人研修

研修名	内容	対象	参加人数
サービス専門職 A 4 年目研修	中堅職員研修	サービス専門職 A 4 年目	1
指導職 2 級 5 年目研修	組織のタイムマネジメント研修	指導職 2 級 5 年目	1

(表 153-3) 施設内研修

研修名	講師	参加人数
新任職員オリエンテーション、OJT 研修	施設長、チーフリーダー、リーダー他	1
防災研修	大学講師	15
感染症対策研修	大学講師	15
虐待防止研修	大学講師	15

(4) 苦情・要望

苦情受付窓口及び苦情解決責任者を設置し、周知しました。また、随時利用者からの苦情・要望等意見の収集に努めました。

(表 154) 苦情件数

	令和4年度	令和3年度	令和2年度
苦情件数	2	1	3
要望件数	0	0	0

(5) 事故防止と事故発生時の緊急対応

安全対策マニュアル等を活用し、サービス提供時における事故防止に努めました。また、安全対策シートやヒヤリハットシートを活用して随時事例検証を行うほか、毎月、安全対策委員会を開催して、事故の再発防止対策に取り組みました。

(表 155) 事故・ヒヤリハット件数

	令和4年度	令和3年度	令和2年度
事故件数	6	20	17
ヒヤリハット件数	3	2	2

(6) 防災対策

消防計画に基づき、年間4回の通報、避難、消火等の訓練及び総合訓練を行いました。

(7) 利用者・家族等の声を反映

利用者家族等との適切な連携を保ち、意見や情報を交換する場として家族懇談会を開催しました。また、利用者の状況に応じ、個別面談、家庭訪問等を適宜行うとともに、日常的に電話連絡等で情報交換に努めました。サービス向上委員会では利用者代表と意見交換を行いました。

(8) 地域との連携

工房前での販売活動（水曜日除く、土曜日）が定着し、地域における施設の活動の認知度が高まりました。

(9) ボランティアの受入

(表 156) ボランティア活動状況

活動月	内容	人数
随時	印刷班作業活動補助	40
合計		40

(10) 実習生、研修生の受入

(表 157) 実習生等の受入状況

実習依頼校等	実習目的	実人員	延日数
日本体育大学	保育実習	2	20
武蔵野大学	社会福祉士現場実習	2	24

(表 158) 特別支援学校等施設体験生の受入状況

実習依頼校等	実習目的	実人員	延日数
田園調布特別支援学校 (3 年生)	進路検討に向けた実習	6	30
田園調布特別支援学校 (2 年生)	進路検討に向けた実習	1	5

(1 1) 職員の健康管理

職員のメンタル面を含めた健康管理の維持向上に努めるとともに、産業医による個別面談の機会を適宜活用しました。

第8 みどりハイム（母子生活支援施設）

みどりハイムは、児童福祉法に基づく母子生活支援施設として以下の事業を行いました。
 新型コロナに係る所定の感染予防対策は、年間を通して、徹底して実施しました。

1 令和4年度重点項目の具体的な取り組み

事業計画	具体的取り組みと結果
(1) 関係機関と連携した支援の強化を図ります	特に、課題が複雑化している世帯への支援については、世帯の抱える課題に応じて、関係機関（子ども家庭センター、保育園、学校、医療機関、児童相談所、放課後等デイサービス、弁護士等）と連携を図り支援を行いました。 子どもの支援に 関しては、母親も一緒に取り組めるよう配慮しました。
(2) 各職種に必要な研修の実施並びに研修を積極的に受講し、専門性の向上を図ります	職場内研修として、支援力アップ講座（全6回）を開催しました。今年度は、トラウマインフォームドケアについて、事例検討を通して理解を深めました。 スーパーバイザーによる専門研修を年6回実施し、事例検討を通して、支援内容の見直しや振り返りを行うことができました。
(3) サービス提供や支援の中で、虐待を予防・防止する取り組みを推進します	「児童虐待防止対応マニュアル」を基に、人権研修を実施し、施設内で虐待防止の取り組みについて職員間で共有しました。 子どもが意見や要望を伝えられるよう、児童専用の意見箱（子ども意見箱）を設置しました。投函された意見や要望については、投函者と職員とで話し合いを行いました。
(4) 母子生活支援施設の入所者への支援にとどまらず、地域で生活するひとり親家庭への支援を推進します	地域移行支援マニュアルには、退所時に母親のみならず、児童とも面談し、退所後に困った時に、施設に相談してもよいことや連絡先を伝えていくことを盛り込みました。 地域で生活するひとり親家庭への支援については、子どもの居場所・母親の居場所・食支援の3つを企画、実施していることを、地域の関係団体の皆様に紹介することができました。
(5) 地域の町会・自治会と連携し、行事や防災訓練等協力関係作りに努めます	新型コロナの影響により、計画していた活動を行うことができませんでした。
(6) ボランティアの受け入れを組織的に行い、ボランティアを育成し活動を支援します	新型コロナの影響により、学生ボランティアの受け入れを休止しました。

2 第三者評価・利用者アンケート等からの改善結果

改善事項	具体的な取り組みと結果
様々な個別状況に対応できるよう就労支援の見直しを行います	プレ就労支援の一環として、ほっとサロン（日中活動・趣味活動の場）を毎週水曜日の午前中開催しています。

3 母子生活支援施設の支援

利用者個々と自立支援面談を行い、職員と利用者が共同で「自立支援計画」を作成し、それに沿っての自立支援を実施しました。計画作成後は適宜見直し面談もを行い、計画の進捗確認を実施しました。また、退所後も、必要な支援（相談・訪問など）を実施しました。

(表 159) 入退所状況 (各月の末日現在) 定員: 20 世帯

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
入所	1	0	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	4
退所	1	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	3
世帯数 (月末)	12	12	12	12	12	12	12	12	13	13	13	13	148
利用者数 (月末)	33	33	33	33	33	32	32	31	33	33	33	33	392
うち児童数	21	21	21	21	21	20	20	19	20	20	20	20	244
(男)	(9)	(9)	(8)	(8)	(8)	(8)	(8)	(8)	(9)	(9)	(9)	(9)	(102)
(女)	(12)	(12)	(13)	(13)	(13)	(12)	(12)	(11)	(11)	(11)	(11)	(11)	(142)
(幼児)	8	8	7	7	7	7	7	7	8	8	8	8	90
(小学生)	11	11	11	11	11	11	11	10	10	10	10	10	127
(中学生)	1	1	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	15
(高校生)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
(その他)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(1) 相談支援

子育て、健康、就労、そのほか生活全般における様々な相談を受け、必要に応じて支援を行いました。

(2) 子育て支援

① 補助保育

母親の就労時間中や体調不良時等に補助保育を実施しました。また、乳幼児の体調不良時に、母親が外出しなければならない時には病児保育を実施しました。

(表 160) 幼児補助保育・病児保育実施状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
補助保育	48	32	40	14	10	16	30	13	24	34	34	34	329
病児保育	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

② 保育ルーム

乳幼児の交流と家事援助を目的として、週1回程度、夕食準備時間に乳幼児を対象に保育ルームを開催しました。

(3) 児童への支援

下校後及び土曜日の遊び、学習の場として学習室を開放し、職員がともに過ごしました。季節に合わせた行事を実施し、児童同士が協力し合う経験の場、達成感を味わえる場としました。

平日の17時から18時は、学習の時間としました。

また、児童による子ども会議及び夕食会を毎月開催し、施設内での生活などについてみんなで考える機会をつくりました。

さらに、「話意話意の会」(個別面談)を行い、個別の意向や希望の聞き取りを行い、児童自立支援計画書の作成に反映しました。

(4) 生活への支援

緊急時の家庭用品の貸し出し、居室片付け手伝い、不在時の荷物預かりや代引き受け取り、買物の代行、家計管理、諸手続き支援など、個々の状況に応じて支援しました。

また、必要に応じて関係機関及び医療機関と連携、連絡調整を行い支援につなげました。

(5) 健康とところへの支援

月 1 回程度、嘱託医による健康相談を実施しました。利用者健康診断については年 2 回実施しました。(春は外部医療機関、秋は嘱託医)

また、専用の面談室において、心理療法担当職員による心理療法、遊戯療法等を実施しました。

(6) 食支援

エコライフめぐろ推進協会とフードバンク目黒のご協力を得て、利用者・退所者・ひとり親学習支援事業参加児童世帯を対象に、毎週木曜日等に食品、菓子類等を配付する「ミニミニパントリー」を開催したり、日曜日に生鮮食品の配布を行ったりしました。

(7) 就労支援

母親の就労に向け、履歴書、職務経歴書の作成指導、ハローワークの求人情報等の提供及び就労に関しての相談等を実施しました。

ボランティア講師によるパソコン教室を実施しました。(全 5 回、延べ 5 名参加)

(8) 退所後のアフターケア

退所面談の際に退所後の連絡を取ることにについて事前確認の上、アフターケアを実施しました。主に手紙や電話などを利用し、就労や母子の健康、児童の様子などを聞き、相談を受けました。

(表 161) アフターケアの件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
件数	13	18	18	15	11	24	18	27	31	27	36	38	276

(表 162) 主な支援内容及び支援方法

主な支援内容	主な支援方法
[母親への支援] メンタルサポート、病院同行、引っ越し後の整理等、各種生活相談、関係機関調整等	・電話 ・訪問(同行) ・来所
[児童への支援] 学習支援、放課後活動等、行事招待、心理療法、遊戯療法	

(9) みどりハイム便り

毎月 1 回発行し、月間予定や前月の行事等の報告、その他連絡事項の広報に努め、子ども通っている関係機関及び法人内各施設に配布しました。

(10) 利用者懇談会

4 月は予定どおり開催し、利用者と職員はもとより、利用者同士の交流の機会としました。

利用者、職員ともに自由に意見が言えるような雰囲気作りに努めました。10 月は新型コロナウイルスの影響により中止しました。

(11) 合同研修会

株式会社資生堂のライフクオリティービューティー活動(社会貢献活動)の協力を得て、「時短ビューティー&パーソナルカラー講座」を実施しました。

4 各種行事等の実施

年間計画に沿って、対象者ごとの行事を実施しました。

(表 163) 主な実施行事

月	行事名	行事の内容等
4月	進学・進級おめでとう会	小学生以上・キッズクラブ児童対象：林試の森公園
5月	子どもの日行事	未就学児：スライム遊びとレジン工作
6月	お泊まり会	小学生以上：コロナ禍のため中止
7月	七夕飾り	全利用者：七夕飾り
	納涼会	全利用者・退所者：縁日（ゲーム）・お弁当配布
	児童キャンプ	小学生以上・退所児童：コロナ禍のため中止
8月	夏休み児童活動	小学生以上・退所児童・キッズクラブ児童：コロナ禍のため中止
	親子花火会	全利用者：世帯毎に花火会を実施。
9月	地域祭り参加	全利用者：コロナ禍のため中止
10月	秋の児童行事	小学生以上・キッズクラブ児童：コロナ禍のため、室内工作（立体万華鏡）を実施。
	ハロウィン	全利用者・退所者・キッズクラブ児童：仮装・写真撮影コーナー設置
11月	母子遠足	全利用者・退所者：東京ディズニーランド
12月	お楽しみ会	全利用者・退所者：プレゼント配布・写真撮影
	子ども大掃除&忘年会	小学生以上・キッズクラブ児童：学習室の大掃除、ゲーム
1月	餅つき大会	全利用者：コロナ禍のため中止
2月	豆まき	全利用者：鬼打豆の配布
3月	ひなまつり	全利用者：ひなあられの配布
	春の児童行事	小学生以上・キッズクラブ児童対象：衾町公園（自転車遊び）・駒沢公園（公園遊び）

注1) キッズクラブ児童：みどりキッズクラブに参加している児童

注2) 銭湯行事(男子小学生対象)は、新型コロナのため休止しました。

注3) 子ども会議夕食会（小学生以上・キッズ対象）は、全10回実施しました。

5 緊急一時保護（1室）

今年度は2件、延べ19日間の受け入れを実施しました。

(表 164) 緊急一時保護世帯数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
入所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	2
退所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2
月末世帯数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	
延利用日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	2	8	19

6 運営管理

(1) 会議・委員会

職員相互の理解と協力により利用者のニーズに応えるとともに、合理的な施設運営を図る

ための意見交換並びに検討の場として各種会議・委員会を開催しました。

(表 165) 各種会議・委員会

会議名	内容	開催日
運営会議	施設運営方針・事業計画等の進捗管理 施設全体に係るケース検討 自立支援計画・行事等の進捗管理	毎月 1 回
職員会議	運営・業務全般に関する事項の検討、事業計画等の進捗 状況確認、月間予定、経営・運営会議等報告	毎月 4 回
調整会議	ケースの月例報告及び所管との連絡調整	毎月 1 回
利用者支援調整会議	全ケースのケース検討	年 2 回
感染対策会議	感染症発生時の対策を検討・実施、感染予防研修の開催	適宜
人権・苦情解決委員会	苦情・要望の検討・解決、人権研修開催	年 4 回
防災委員会	訓練内容の検討・訓練を実施	年 4 回
事故防止委員会	ヒヤリハットの検討等	年 4 回
研修委員会	施設内外研修の企画・運営	毎月 1 回

(2) 研修

東京都社会福祉協議会、官公署その他の関係団体が実施する研修会に積極的に参加し、職員の資質の向上に努めました。また、平成 22 年度後期から実施している、同一講師によるスーパーバイズを受けました。

(表 166-1) 外部研修

研修名	主催者	参加人数
DV 被害者支援のための基礎知識	東京ウィメンズプラザ	1
新任職員研修会	東京都社会福祉協議会 母子福祉部会	1
関東ブロック母子生活支援施設研究協議会	関東ブロック母子生活支援施設 協議会	1
子どもの心の発達と養育環境	東京都社会福祉協議会 東京都福祉人材センター研修室	1
児童養護施設等の高機能化・多機能化等人材育成研修 リーダー研修 (全 3 回)	東京都社会福祉協議会 東京都福祉人材センター研修室	1
施設長・従事者合同研修会「外国籍世帯の支援について」	東京都社会福祉協議会 母子福祉部会	1
全国母子生活支援施設研究大会	全国母子生活支援施設協議会	1
配偶者暴力が子どもに与える影響と適切な対応	東京ウィメンズプラザ	1
社会的養護を担う児童福祉施設長研修会	全国社会福祉協議会	1
子どもの育ちとアタッチメント	東京都社会福祉協議会	1
子どものサードプレイスを考える	目黒区社会福祉協議会	1
DV・トラウマからの回復支援	東京都ひとり親家庭支援センター はあと	1

(表 166-2) 法人研修

研修名	内容	対象	参加人数
職層研修	新任研修	新入職員	1
職層研修	指導職 2 級 5 年目研修	指導職 5 年目	1

(表 166-3) 施設内研修

研修名	講師	参加人数
スーパービジョン (6回)	立正大学大学院心理学研究科 片岡 玲子 氏	各回 7～8 名
職場内研修 (支援力アップ講座 全6回)	みどりハイム 各職員	各回 6～8 名
防犯研修	防災担当職員	8 名
人権研修	施設長	9 名
システム・セキュリティ研修	システム担当職員	7 名
感染症研修	衛生担当職員	7 名

(3) 苦情・要望

苦情の窓口及び責任者を設置し、申し出があった場合、調査のうえ苦情解決委員会等で検討し、苦情対応規程に基づき対応し、その内容を施設内に掲示することとしています。

苦情処理の手続きについては、利用者へは懇談会及び掲示、職員へは苦情解決委員会にて周知を図りました。

苦情解決第三者委員の活用については、委員の定期訪問と年間苦情情報の報告をしました。

(表 167) 苦情・要望の件数

	令和 4 年度	令和 3 年度	令和 2 年度
苦情件数	0	0	1
処理件数	0	0	1
要望件数	1	0	0

(4) 事故防止と事故発生時の緊急対応

事故防止委員会を中心に、ヒヤリハット等にて支援時における利用者の事故防止に努めました。

(表 168) 事故の件数

	令和 4 年度	令和 3 年度	令和 2 年度
事故件数	2	1	0
ヒヤリハット件数	11	14	9

(5) 個人情報保護

事業団における個人情報保護規程に基づいて個人情報の利用目的を明示し、個人情報を取り扱いました。また、新入所者には個人情報使用の同意を取りました。

個人情報の開示請求について、今年度申請はありませんでした。

(6) 防災・防犯対策

消防計画に基づき、所定の避難、消火等の訓練及び夜間(想定)訓練を毎月実施しました。消防設備点検を 6 か月毎に実施しました。

また、DV 加害者の追跡を想定した防犯訓練を実施しました。

(表 169) 防災訓練実施状況

実施内容	回数
避難訓練	12
消火訓練	12
通報訓練	1
地震訓練	2
継走訓練(メール等)	2
夜間(想定)訓練	4
大規模災害想定訓練	1

(7) ボランティアの受入

パソコン教室開催時に、ボランティア講師を依頼しました。また、放課後の児童活動や学習支援、各種児童行事での、大学生によるボランティアについては、新型コロナ影響により受け入れを中止しました。

(8) 実習生の受け入れ

地域貢献及び福祉人材育成の一環として、各種実習生を受け入れました。

(表 170) 実習生受入状況

実習依頼校	実習目的	実人員	延日数
聖徳幼児教育専門学校	保育士	1	11
日本女子大学	保育士	1	12
こども教育宝仙大学	保育士	1	12
淑徳大学	社会福祉士	1	15
聖徳大学	保育士	1	11
昭和女子大学	社会福祉士	1	23
東京学芸大学	社会福祉士	1	23
羽田幼児教育専門学校	保育士	1	11
品川区社会福祉協議会	社会福祉士	1	15
日本体育大学	保育士	1	11
玉川大学	保育士	1	12
鶴見短期大学	保育士	1	11
有明教育芸術短期大学	保育士	1	11
日本児童教育専門学校	保育士	1	12
明治学院大学	公認心理師	16	1
駒沢大学	介護等体験	3	15

(9) 目黒区ひとり親家庭学習支援事業

地域貢献の一環として、目黒区ひとり親家庭学習支援事業の小学校高学年の会場として、集会室の貸し出しを行いました。令和4年7月から令和5年3月までの間に、全40回実施し、登録児童数は8名でした。

(10) 地域貢献事業

地域のひとり親家庭の児童の放課後支援の場として、「みどりキッズクラブ」を実施しました。開始7年目を迎え、在所児童・キッズクラブ児童の双方にとって有意義な活動となりました。(登録児童数 年間2名)

区内在住の0~2歳児の母親を対象にした、保育付きの「ママのためのヨガ教室」については、新型コロナの影響により中止しました。

(11) 新型コロナと感染症対策

事業全般にわたり、目黒区や保健所の指導の下、新型コロナの感染症予防対策を講じ実施しました。

第9 西部包括支援センター

地域包括支援センターは、介護保険法に基づく包括的支援事業及び指定介護予防支援事業を行っています。

令和4年は、新型コロナの影響はありましたが、感染対策を講じた上で通常どおり業務を継続し、地区における各研修会や懇談会等は対面方式にて開催することができました。

また、窓口や訪問等による各種相談業務等においても、感染対策を行った上で通常どおり実施しました。区が主催する運営連絡会（所長会）及び各研修会等については、オンライン等により例年どおり出席する事ができました。

1 令和4年度重点項目の具体的な取組み

事業計画	具体的取り組みと結果
(1) 区の方針に従って、地域包括支援センターの機能強化に取り組めます	<p>地域のマンション、集合住宅を対象に懇談会を開催し、住宅内での諸問題について意見交換を行ない、地域での見守りと消費者被害防止について注意喚起を促しました。</p> <p>また、アウトリーチ訪問を実施した町会において、町会長、民生児童委員、社会福祉協議会のコミュニティソーシャルワーカー、地域の介護関係者と地域の特徴や課題について情報共有や意見交換を行いました。</p> <p>各種研修会（高次脳機能障害、がん末期の理解と関係者の協働、認知症地域支援連絡会、介護予防講座等）を計画的に対面式で開催しました。</p>
(2) 地域ケア会議の充実に取り組めます	<p>地域ケア個別会議は、提出事例を参考に、「その人が何時までも在宅生活を送るには」との視点で各専門職と検討を行い、自立支援や事例を通じて、地域で不足している資源など地域課題に係る事柄について問題を整理・明確化し、同検討内容を区が主催する地域ケア推進会議にて報告しました。</p>
(3) 誰もが気軽に相談し利用できる地域包括支援センターを目指し、取り組みを継続します	<p>令和4年度から新たに自由が丘住区センターでの出張相談を開催し、地域住民の利便性を図り、当センターの認知度向上に努めました。</p> <p>地域の商店街、マンション集合住宅への訪問も積極的に行うなど、当センターが地域住民にとって身近な相談窓口として認識していただけるよう機能充実と相談機能強化に努めました。</p> <p>関係機関への広報誌の配布、ホームページに取り組んでいる業務内容等の掲載を行うなどPRに努めました。</p>
(4) 各職種に必要な研修の実施並びに研修を積極的に受講し、専門性の向上を図ります	<p>包括担当部研修として、介護支援専門員現任研修、対人援助研修、主任介護支援専門員研修を実施し、専門職の資質向上に努めました。</p> <p>年度を通じて、計画的に都や区が主催する各研修会への参加及び所内研修として人権、個人情報・情報セキュリティ研修を継続実施しました。</p>

2 サービス内容（包括的支援事業）

総合相談支援事業として、高齢者を中心に子どもから障害をもつ方、生活に困窮している方等に対して、介護保険サービスだけではなく様々な形でのサービスを利用していただくため、区の方針及びマニュアルに基づき以下のとおり受付、相談を行いました。

また、窓口まで行くのが遠い高齢者や気軽な相談機会の提供の場として、大岡山西住区センター、東根住区センター及び今年度から新たに自由が丘住区センターを加えて出張相談を実施しました。

感染症対策として、所内相談窓口ではパーテーション設置と所内喚起と手指消毒を徹底し、電話、筆記用具及び机上等の消毒など新型コロナ感染対策を実施し、訪問時の対応においても職員のマスク着用と玄関先での手指消毒を徹底するなど感染予防に努めました。

(1) 総合相談業務

(表 171-1) 相談種別

種別	件数
新規相談	814
継続相談	4,989
口頭相談	1,253
計	7,056

(表 171-2) 相談方法

種別	件数
来所	1,788
電話	4,138
訪問	967
その他	163
計	7,056

(表 171-3) 新規相談者(重複計上)

相談者	件数
本人	269
家族・親族	439
民生委員	27
ケアマネジャー	51
近隣・知人	22
医療機関	49
その他	68
計	925

(表 171-4) 相談内容(重複計上)

大分類	小分類	件数
I 総合相談	介護等の相談	2,976
	施設入所	347
	疾病・医療	1,006
	訪問保健相談	25
	ひとり暮らし相談	320
	経済的問題	100
	家庭関係	322
	住宅	161
	介護保険	2,580
	見守り・安否確認	554
	行政サービス等	85
	実態把握訪問	263
	公的サービス外の案内	42
	日常的な生活相談	271
	認知症に関わる生活相談	167
	ひきこもり	3
その他	112	
	小計	9,334
II 権利擁護	高齢者虐待	145
	消費者被害	47
	成年後見・日常生活自立支援事業	221
	老人福祉法に基づく措置	3
	相続・遺言	41
	その他	87
	小計	544
III 介護予防・日常生活支援総合事業	一般介護予防	105
	予防給付、サービス事業対象	214
	計	10,197

(表 171-5) 出張相談

会場	開催回数
東根住区センター	偶数月第3火曜日午後
大岡山西住区センター	奇数月第3火曜日午後
自由ヶ丘住区センター	奇数月第2水曜日午後

(2) 実態把握業務（アウトリーチ）

民生児童員、近隣住民や各店舗等から「気になる方々」として連絡をいただいたケースについては、当センター職員が自宅訪問を行い、生活課題がある場合には関係所管とも連携し、課題解決に努めました。また、東が丘2丁目、南3丁目及び南3丁目東町会の高齢者世帯等を対象に、事前に訪問する旨の手紙と簡単なアンケートを配布したうえで訪問を行い、実態把握を行いました。その後、各町会の町会長、民生児童委員、コミュニティソーシャルワーカー、実施地区の介護保険事業所の職員等を交え、状況について情報共有と地域課題についての意見交換懇談会を開催しました。

(3) 地域におけるネットワーク構築業務

区内関係機関、団体、店舗等へ訪問にて「包括だより」を配布し、当センターの周知と情報交換を行ない、支援に係る事柄についてスムーズに連携が行えるよう関係づくりに努めました。

目黒消防署地域防災係署員を迎え、地域のマンション、集合住宅住民との懇談会を2回開催しました。16カ所の集合住宅から住民の参加者があり、「災害時への備え、孤立死、認知症、消費者被害など」について懇談を行いました。

独立行政法人東京医療センターの医療相談室と、院内での出張相談会等の定期開催について継続的に話し合いの機会をもち、次年度の活動につながる協議を行うことができました。

(4) 認知症総合支援事業（サポーター養成講座等）

住区センターにおいて、地域住民、介護事業所、金融機関等の関係者を招き、「認知症になっても地域で暮らし続けられるために、地域でできること」をテーマとして勉強会を開催しました。認知症に係る住民も含めた多職種間での啓発活動は今後も継続する予定です。

毎年、恒例である小学校でのサポーター養成講座についても、緑ヶ丘小学校4年生を対象に実施しました。一般区民向けの養成講座も年度末に住区センターにて開催しました。

3 高齢者虐待防止・早期発見等権利擁護事業

目黒区福祉総合課ふくしの相談係、権利擁護センターめぐろ等の関係機関と協力・連携しながら以下の項目に対応しました。高齢者虐待防止等の啓発活動の一環としての地区虐待対応研修会については、地区の介護支援専門員を対象に中根住区センターで開催しました。

(1) 通報及び届け出の受理・確認

(2) 関係機関等との連携・協力

(3) 養護者に対する相談、指導及び助言

(4) 高齢者虐待防止等の啓発

(5) その他(成年後見・任意後見制度、相続、債務整理、遺言、遺族年金手続きなど)

(表 172) 権利擁護事業処理件数

	項目	件数
高齢者虐待	相談・支援シート作成	18
	コアメンバーミーティング、個別ケース会議	30
消費者被害	消費者生活センター	1

項目		件数
成年後見・日常生活自立支援事業	権利擁護センター	12
	区長申し立て	1
老人福祉法上の措置	やむを得ない事由による措置	0
	養護老人ホーム入所措置	0

4 包括的・継続的ケアマネジメント事業

地区の居宅介護支援事業所との連携については、地区幹事を選出し、当センターが主催する各研修への協力と、地区の介護支援専門員を対象とした研修会については幹事が主となり、企画運営を担ってもらい開催することができました。ネットワークに係る事柄について下記のとおり取り組みました。

令和4年度は、区が主催する「ケアプラン質の向上検討会」のケアプラン点検は通常どおり開催され、当センター主任介護支援専門員が点検支援者として参加しました。

区主催のケアマネジャー研修は全てオンライン開催となりました。

医療機関、介護保険事業所、薬局などへの挨拶を行い、連携の強化を主として地域包括ケアシステム構築に向け取り組みました。

- ① 地域包括支援ネットワークの構築
- ② 介護支援専門員に対する個別支援
- ③ 地域ケア個別会議の開催及び区主催する地域ケア推進会議への協力

(表 173-1) 個別支援相談件数 (表 173-2) 個別支援相談方法

相談種別	件数	相談方法	件数
新規相談	11	来所	41
継続相談	180	電話	185
口頭相談	43	訪問	8
計	234	その他	0

(表 173-3) 個別支援相談内容(重複計上)

相談内容	件数
担当ケースの支援方法に関する事	196
介護保険の制度・運用に関する事	18
地域資源に関する事	13
職場・サービスに関する事	1
在宅療養に関する事	3
その他	8
計	239

(表 174) 地区研修会開催状況

開催回数	参加延人数
10	346

5 地域ケア個別会議

新型コロナの感染症対策もあり、当センターが主催する地域ケア個別会議には職員及び事例提供者（地域の居宅介護支援事業所、ケアマネジャー）のみ当センターに集合し、医師など他の検討委員はオンラインにて参加してもらい、「その人が何時までも、そこに住み続けるためには」という視点で個別課題解決、ケアマネジメント質の向上、地域課題の発見に取り組みました。（※事例件数は一回、2事例実施）

また、上記内容を整理し、区が主催する地域ケア推進会議にて報告しました。

(表 175) 地域ケア会議開催件数

会議種別	件数
個別会議	3
推進会議	1

6 介護予防ケアマネジメント

(1) 様々な経路で把握された一般高齢者に対し、示された手順により各事業への参加申し込みを行いました。また、参加状況の確認、終了後のフォローを行いました。

(2) 予防給付及び平成 28 年度から実施された介護予防・日常生活支援総合事業（サービス事業対象者、要支援 1、2 対象）利用者に対し、適正な介護予防ケアマネジメントを提供しました。

今年度も新型コロナの影響があり、予防通所介護をお休みにしてもらいたいと希望する利用者も少数みられました。

(表 176) 短期集中予防サービス参加申込取扱件数(延べ)

短期集中予防サービス	件数
【訪問型・通所型(グループ型・個別型)】	41

(表 177) 介護予防ケアプラン作成件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
総	163	153	148	148	146	148	155	161	170	172	167	166	1,897
予	224	220	218	225	215	215	215	210	206	212	219	227	2,606
委	166	159	155	159	153	156	159	157	154	156	158	153	1,885

注 1) 総＝介護予防・日常生活支援総合事業（第 1 号介護予防支援事業）

注 2) 予＝予防給付（指定介護予防支援事業）

注 3) 委＝委託作成分。（ ）は内数

7 介護保険認定申請の受付等の業務

総合相談業務と連携させて、認定申請等（新規申請、更新申請、区分変更申請）の受付業務を行いました。なお、昨年度に続き保険者である目黒区介護保険課から「新型コロナウイルス感染症に係る臨時的な取扱い」（認定期間延長 R5.3.31 まで）の通知もあり、更新申請の件数が少なくなっています。

8 高齢者の保健福祉サービスの受付等の業務

総合相談業務と連携させて、一人暮らし登録、訪問食事サービス・食事サービス（訪問調査、安否確認を含む）、オムツ現物支給（オムツ代金含む）障害支援に係る受付業務等の受付業務を行いました。

(表 178) 介護保険認定申請・高齢者保健福祉サービスの受付数

分類	申請書の種類	件数
要介護認定	要介護認定申請書	1,802
	介護保険認定申請取下届	37
	要介護保険被保険者証等再交付	0
	介護サービス計画作成のための資料の提供申請書	1,360
	その他（転入継続等）	883

分類	申請書の種類	件数
介護保険給付	居宅サービス計画作成依頼（変更）届出書	485
	小規模多機能・看護小規模多機能サービス計画作成依頼	13
	介護保険住宅改修	1
	介護保険福祉用具購入費支給申請書	0
	高額介護（予防）サービス費支給申請書	0
	福祉用具貸与確認依頼兼確認書	23
	介護保険負担限度額認定申請書	17
	介護保険居宅サービス等利用者負担軽減認定申請書	26
	居宅サービス計画自己作成届出書	10
	介護予防ケアマネジメント依頼(変更)届出書	227
	基本チェックリスト	31
	総合事業 要介護認定申請状況確認票	31
	介護保険負担割合証再交付申請書	25
介護保険資格	介護保険住所地特例適用・変更・終了届	11
	介護保険被保険者証等再交付申請書	21
	介護保険の転送（新規・変更・終了）申請書	22
介護保険苦情	介護保険苦情対応連絡票	0
	介護保険苦情届	1
介護保険計		5,026
高齢福祉	高齢者在宅支援ヘルパー派遣事業利用申請書兼同意書	0
	ねたきり高齢者理美容サービス申請書	111
	ねたきり高齢者等寝具乾燥消毒サービス申請書	5
	高齢者紙おむつ支給申請書	213
	高齢者おむつ代支給申請書	144
	認知症はいかい高齢者等位置情報確認サービス利用申請書	0
	ひとりぐらし等高齢者登録申請書兼登録台帳	237
	目黒区高齢者病院内介助助成金交付申請	12
	電話訪問（さわやかコール）新規・変更申請書	5
	目黒区訪問食事サービス事業利用申請書	71
	目黒区ひとりぐらし高齢者等食事サービス受給申請書	4
	高齢者火災安全機器設置事業利用申請書	2
	非常通報システム利用申請書	47
	高齢者福祉電話貸与申請書	1
	高齢者家具転倒防止器具取付申請書	1
	高齢者自立支援住宅改修給付申請書	0
	特別養護老人ホーム入所申込書	85
	登録内容変更等異動連絡票	14
	目黒区会食サービス事業利用申請書	0
	目黒区栄養改善配食事業利用申請書	0

分類	申請書の種類	件数
福祉総合	高齢者見守り訪問事業申請書等	0
	訪問保健相談申請書	0
	その他の申請書等	1
健康福祉計画	避難行動要支援者名簿登載希望申請書	0
障害者支援	都営交通無料乗車発行申請書兼更新確認等	20
	有料道路障害者割引申請書兼E T C利用申請書等	44
保健福祉サービス計		1,017
合計		6,043

9 保健福祉の総合相談支援の業務

保健福祉に係わる多様な相談への一次的な対応や、複合的な問題を抱えるケースへのトータルな対応を図るため、すべての区民を対象として、次の業務を行いました。

障害福祉、生活福祉、保健、子育て支援及び住まい等については、区の対象別の相談支援体制を前提とし、各所管との連携のもとに実施しました。

(1) 総合案内

パンフレットなどによる一般的な情報提供、相談を受けてのサービス・制度の説明や支援に係る所管窓口の紹介を行いました。

(2) 総合支援

福祉ニーズの多様化・複雑化するケースを踏まえ、「制度の狭間」の課題を解決する観点から対象別に各相談支援機関との連携を強化しつつ、主として高齢者に係るケースの継続的支援を行いました。また、相談者本人が抱える課題のみならず、同居家族・世帯全体が抱える課題の把握に努め、継続支援などについても、関係所管と協働し課題解決に努めました。また、通報による安否確認についても、迅速に「ふくしの相談係」と連携し、緊急対応を行いました。

(3) 地域のネットワーク作り

区の見守りネットワーク協力機関の増を図るため、地区の各店舗等へ訪問にて勧奨を行い、協力店舗数の確保に努めました。

また、多職研修会を通して、地域住民も含めた医療と介護との連携を促進していくための環境・体制作りを行いました。

中根西町会地域連携会議には毎月出席し、情報共有、意見交換を実施し、また、地区内の集合住宅及びマンション管理組合等の方々との懇談会を開催し、地区担当のコミュニティソーシャルワーカーを含め意見交換と情報共有に努めました。

(表 179-1) 総合相談【高齢者以外】支援種別

相談種別	件数
新規相談支援	7
継続相談支援	63
口頭相談支援	155
計	225

(表 179-2) 総合相談の方法

相談方法	件数
来所	57
電話	132
訪問	28
その他	8
合計	225

(表 179-3) 総合相談の新規相談者(重複計上)

相談者	件数
本人	4
家族・親族	1
民生委員	0
ケアマネジャー	1
近隣・知人	0
その他	1
計	7

(表 179-4) 総合相談内容(重複計上)

分類	件数
障害者	85
子供	5
ひとり親家庭・女性	1
経済的相談	28
医療保険年金等	10
健康・医療(母子)	6
しごと	12
住宅	7
消費者被害等	0
見守り・安否確認	24
疾病・医療	63
在宅療養	0
ひきこもり	0
その他	35
計	276

10 在宅療養支援窓口相談

医療ニーズの高い高齢者や重度の要介護者などが、病院から在宅療養への円滑な移行、住み慣れた地域で安心して継続して在宅療養を受け暮らし続けられるよう医療機関と地域の介護事業とも協働し支援を行いました。※コロナ禍にて、院内カンファレンス開催が困難な場合もありましたが、院内の医療ソーシャルワーカーと電話連絡、書面やオンライン会議等で連絡を密に行いました。

認知症相談に対しては「物忘れ連絡票」を適宜、活用し受診、診断が円滑に行えるよう努めました。

(表 180-1) 疾病・医療の相談の内訳(重複計上)

相談支援内容	高齢者	高齢者以外
退院支援Ⅰ－退院カンファレンス関係	36	4
退院支援Ⅱ－他職種・家族に連絡	151	
退院支援Ⅲ－病院関係者との連絡・面会	60	
医療処置	5	0
訪問看護・リハビリ	66	1
緩和ケア・ターミナルケア	10	0
かかりつけ医や訪問診療・往診	167	3
入院支援	68	7
転院、施設入所	20	0
介護者支援、家族親族支援	133	10
通院支援(定期・通院手段・初診同行等)	21	1
セルフケア支援	299	35
その他	120	10
計	1,156	71

(表 180-2) 疾患(重複計上)

疾患種別	高齢者	高齢者以外
がん	127	1
脳血管疾患・神経難病	79	8
内科疾患	273	6
整形外科疾患	153	11
認知症	290	
若年性認知症	9	0
その他精神疾患	89	33
その他・不明	121	12
計	1,141	71

1 1 運営管理

(1) 会議

地域包括支援センター間等で円滑な運営を行うため、区内地域包括支援センターの所長が出席する「5 包括所長会」を以下のとおり開催しました。

区の福祉総合課（地域ケア推進係）主催の地域包括運営連絡会が開催され、5 つのセンターの所長が出席し、運営に係る細かな事柄について検討を行いました。

(表 181-1) 区内包括会議

会議名	内容	開催回数
包括運営連絡会	地域包括支援センター運営に関する検討・調整	月 1 回
5 包括所長会	地域包括支援センター運営に関する検討・調整	月 1 回
住民主体型介護予防推進チーム会議	介護予防事業業務に関する検討・調整	年 3 回
社会福祉士実務者連絡会	総合相談支援業務、権利擁護業務に関する検討・調整	年 4 回
主任ケアマネ実務者連絡会	包括的・継続的ケアマネジメント業務に関する検討・調整	年 5 回

(表 181-2) 所内職種リーダー会議

会議名	内容	開催回数
リーダー会議	センター事業運営全般の進捗状況確認・検討・調整・決定 センター内の危機管理に関すること（危機管理委員会） センター内の苦情に関すること（苦情処理委員会）	月 1 回

(2) 研修

東京都主催の地域包括支援センター職員研修や介護支援専門員研修等、関係団体が実施する各種研修・講演会等を積極的に受講し、職員の資質の向上を図りました。

コロナ感染症対策のために、一部の研修がオンライン開催となりました。

(表 182-1) 外部研修

区分	主な研修名
運営全般	都・地域包括支援センター職員研修（初任者）区・地域包括支援センター職員スキルアップ研修、情報セキュリティ研修、感染症対策研修、ハラスメント研修等
総合相談支援関連	区・健康福祉部合同研修、高齢福祉、精神保健福祉、ひきこもり研修等
介護予防関連	介護予防ケアマネジメントに関する実務者研修、介護予防指導者研修等

区分	主な研修名
権利擁護関連	養護者による高齢者虐待対応研修（基礎・応用）、高齢者虐待対応職員研修、人権研修、ヤングケアラー支援者向け研修等
包括的継続的ケアマネジメント関連	自立支援・重度化防止に向けた主任介護支援専門員研修、目黒区主任介護支援専門員研修、多職種研修、保険者機能強化市町村研修等
認知症関連	都・チームオレンジコーディネーター、認知症対応力向上研修、松沢病院・地域連携を支える人材育成研修、若年性認知症相談支援研修等
在宅療養関連	都・入退院支援研修、区主催オンライン研修、区西南部リハビリテーション研修、医療と介護の多職種研修等
介護支援専門員関連	都・介護支援専門員研修（専門Ⅰ・Ⅱ） 目黒区介護支援専門員研修（現任・主任）

（表 182-2）法人研修（再掲）

研修名	対象	参加人数
指導職研修	指導職 2 級 5～7 年目	2
指導職研修	指導職 1 級 3 年目	1

（表 182-3）内部研修

主な研修内容	講師	対象
個人情報保護研修	主任介護支援専門員	職員全員
情報セキュリティ研修	区提供 DVD	職員全員
人権研修	社会福祉士	職員全員
介護支援専門員現任研修（2 回）	事例検討	包括、ケアプランセンター職員
主任介護支援専門員研修（1 回）	オンライン研修 （東京都福祉保健局介護保険課主催）	包括主任介護支援専門員
対人援助研修（1 回）	外部講師	包括、ケアプランセンター職員

（3）苦情・要望

（表 183）苦情・要望件数

苦情処理	対応等	件数
地域包括支援センター委託業務に関する苦情処理	即時対応	2
	連絡表作成	0
介護保険に関する苦情処理	即時対応	6
	連絡表作成	1

（4）実習生・研修生等の受け入れ

（表 184）実習生の受入状況

実習依頼校等	実習目的	実人員	延日数
東京医療保健大学	看護実習	8	4
武蔵野大学	社会福祉士現場実習	1	29
日本福祉大学	社会福祉士現場実習	1	24

事業報告の附属明細書について

令和4年度事業報告には、社会福祉法施行規則第2条の25第3項に規定する「事業報告に内容を補足する重要な事項」に該当する事項はありません。

令和5年5月

社会福祉法人目黒区社会福祉事業団